

平成 29 年度

事業管理報告書

【様式1】

平成 30 年 5 月

東 大 阪 市

目 次

危機管理室	1
花園ラグビーWC2019 推進室	3
スポーツのまちづくり戦略室	4
市長公室	5
経営企画部	8
財務部	11
人権文化部	12
協働のまちづくり部	24
市民生活部	29
経済部	32
福祉部	54
子どもすこやか部	67
健康部	79
環境部	92
都市整備部	107
土木部	120
建築部	140
消防局	148
経営企画室	156
水道施設部	157
下水道部	159
小中一貫教育推進室	161
教育総務部	162
学校教育部	165
社会教育部	177

◎様式の見方

実施計画事業名	後期基本計画 第4次実施計画事業名を記載しています。
事業概要	事業全体の大まかな内容について記載しています。
平成29年度 目標達成度	指標①、②の達成度に対して得点化（A：4点、B：3点、C：2点、D：1点）し、合計が8～7点＝A、6～5点＝B、4～3点＝C、2点＝Dとして表しています。なお指標が①しかない場合、①の達成度としています。 平成29年度に実施しなかった事業及び未集計事業については、「-」を記載しています。
第4次実施計画体系	第4次実施計画体系に該当する箇所の部・節・取り組みのあらまし番号を記載しています。
指標	第4次実施計画に記載した指標とその説明・計算式を記載しています。
目標	上記の指標について、第4次実施計画に記載した目標を記載しています。
実績	上記の目標についての実績（平成30年5月末現在）を記載しています。未集計事業については「未」と記載しています。
H29達成度	平成29年度目標に対する達成度を記載しています。 平成29年度目標に対する達成度（目標／実績）につき、100％＝A、80～100％未満＝B、50～80％未満＝C、50％未満＝Dとして記載しています。 平成29年度に実施しなかった事業及び未集計事業については、「-」を記載しています。
事業実績(平成29年度)	平成29年度の取り組み内容を記載しています。
改善すべき点	平成29年度に取り組んだ事業に関する課題や問題点を記載しています。
平成30年度に向けた改善策	上記の課題や問題点を具体的にどのように改善していくのかを記載しています。

※実施計画事業中、「市政マニフェストの推進」に位置づけた項目については、「市政マニフェスト（平成29年度実績）」にて進行管理を行っていることから、様式1は作成していません。

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	4

所属	危機管理室
----	-------

実施計画事業名		備蓄物資整備事業				平成29年度 目標達成度		A	
事業概要		避難所での良好な生活環境を提供するため、災害時用の備蓄物資や資機材を整備する。							
指標①		備蓄物資等の更新(学校数)				指標②			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	40校	40校	40校	A	目標②				
実績①	77校	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)		食糧、衛生用品、凝固剤、ウェットティッシュ、手指消毒剤等の備蓄物資について、期限到来に伴う更新を行った。その他、新規に備蓄用授乳服を市備蓄倉庫へ整備した。							
改善すべき点		今年度の備蓄物資の整備は計画通りに実施できたため、来年度以降も更新分や増量すべき品目について必要数整備していく。							
平成30年度に向けた改善策		想定避難所生活者数を前提にした大阪府の備蓄方針に基づき、重要備蓄物資を計画的に整備していく。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	5

所属	危機管理室
----	-------

実施計画事業名		地域版ハザードマップ作成事業				平成29年度 目標達成度		D		
事業概要		地域の防災意識向上のため、地域(校区または自治会)ごとの災害特性に応じた、詳細なハザードマップを作成し、配布する。								
指標①		作成済みの連合校区および地域版ハザードマップ更新の連合校区			指標②					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	15校区	7校区	7校区	D	目標②					
実績①	6校区	-	-		実績②					
事業実績 (平成29年度)		大阪府八尾土木事務所や大阪府寝屋川水系改修公営所と連携して、浸水害や地震火災などに関する座学を実施したのち、地域の避難経路や災害危険箇所などを地図上に落とし込む作業を実施し、まち歩きを通じてその確認を行った地域版ハザードマップの作成及び更新を6校区で行った。								
改善すべき点		作成及び更新した地域版ハザードマップを避難訓練等に活用し、継続して避難経路や災害危険箇所などを確認・検証する。								
平成30年度に向けた改善策		地域における自主防災訓練と地域版ハザードマップを組み合わせた訓練を実施し、効果的な訓練支援に努める。								

平成29年度 事業管理報告書

重点事業

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	12	3

所属	花園ラグビーワールドカップ2019推進室
----	----------------------

実施計画事業名		花園ラグビー場整備事業				平成29年度 目標達成度				A
事業概要		花園ラグビー場をラグビーワールドカップ2019開催会場にふさわしい施設に整備するとともに、開催後もラグビーのみならず、市民がスポーツを通じて充実したプライベートライフを楽しめる施設として、また災害時の避難場所、大阪の新しい観光スポットとして整備を行う。								
指標①		改修工事の進捗				指標②				
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	改修工事	改修工事完了	－	A	目標②					
実績①	改修工事	－	－		実績②					
事業実績 (平成29年度)		観客席の設置や北側スタンドの建設等の工事を実施。ラグビーワールドカップ2019の開催会場にふさわしい会場となるべく平成30年9月の竣工に向け順調に進んでいる。								
改善すべき点		引き続き、改修工事を実施。								
平成30年度に向けた改善策		特になし。								

平成29年度 事業管理報告書

重点事業

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	12	1

所属	スポーツのまちづくり戦略室
----	---------------

実施計画事業名					スポーツまちづくり推進事業					平成29年度 目標達成度	A			
事業概要					スポーツ推進に関する基本的な計画の策定や関西ワールドマスターズゲームズ2021の開催準備など、スポーツを通じたまちづくりを推進する。									
指標①					市民への広報回数							指標②		
指標の説明・計算式										指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度					
目標①	5回	5回	5回	A	目標②									
実績①	18回	-	-		実績②									
事業実績 (平成29年度)					・ 地方スポーツ推進計画の策定に向け、庁内策定委員会を設置。スポーツ関連施策について庁内照会を実施。 ・ ワールドマスターズゲームズ2021関西の開催に向け、ラグビーフットボール競技開催都市として大阪府実行委員会に参画。競技団体等と協働して競技実行要項の概要を作成し、大会組織委員会に提出。 ・ 障害の有無に関わらず共に楽しむことができるスポーツとしてウィルチェアー（車いす）スポーツを推進。市内の駐車場用地を借り受け、ウィルチェアースポーツ広場として整備。専門事業者に委託して運用を開始。 ・ 本市に縁のあるトップアスリートと連携した市のPR等を目的にスポーツみらいアンバサダーを新設。陸上短距離の多田修平選手に第1号を委嘱。 ・ プロスポーツを見る機会を提供してスポーツへの興味を深めるため、プロスポーツ団体と協働。試合への市民招待や優待等を実施。									
改善すべき点					・ 計画の策定に際し、庁内施策の更なる洗い出しと施策体系の整理が必要。 ・ ワールドマスターズゲームズ2021関西自体の認知度が低く、協力者や参加者の獲得に向けた周知広報が必要。 ・ ワールドマスターズゲームズの競技実施準備に際し、競技運営や参加者受入れに係る課題の洗い出しと参加者を市内で滞在させるための対応策が必要。 ・ ウィルチェアースポーツ広場にトイレがないため、対策案の検討が必要。 ・ ウィルチェアースポーツ広場の利用者獲得に向け、事業の認知度向上とそのための取り組みが必要。									
平成30年度に向けた改善策					・ 庁内照会結果を補完するための庁内関係各課に向けたヒアリングを実施。 ・ ワールドマスターズゲームズへの理解拡大に向けた庁内管理職セミナーを実施。 ・ ワールドマスターズゲームズ競技実施を円滑にするためラグビー競技を主管する東大阪市実行委員会を設立。 ・ ウィルチェアースポーツ広場でのイベント実施時等において、仮設トイレの設置の検討。 ・ ウィルチェアースポーツ広場の運営受託事業者による昨年度活動の総括。 ・ ウィルチェアースポーツ推進に係る協力事業者の獲得。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	5	2

所属	広報課
----	-----

実施計画事業名					市政情報番組提供事業					平成29年度 目標達成度	-
事業概要					市民に対し、市政への関心と興味を深めてもらうため、ジェイコムウエストのコミュニティチャンネルで広報番組「虹色ねっとわーく」を提供する。						
指標①		週に数回以上視聴している市民の割合				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	10%	10%	10%	-	目標②						
実績①	-	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		市政情報やまちの話題、市民の市政への関心と参加意識の高揚を促す啓発事業などを取り上げて放映している。 市民にとって、より身近で役立つ広報番組になるように熱中症予防や救命処置など日々の暮らしに役立つ内容を放映した。また、ラグビーワールドカップ2019日本大会の開催も近づいていることもあり、市花園ラグビー場の改修状況や大会に向けたお店(東大阪ショウテンズ)などを放映した。 これにより、ラグビーワールドカップ2019へ機運の醸成を図り、視聴者も大会に期待し、興味がもてるような番組になるよう心がけた。									
改善すべき点		市民がより興味や関心を持ってより多くの方に視聴してもらえるような番組作りに努める。									
平成30年度に向けた改善策		市民がより興味や関心を持ってより多くの方に視聴してもらえるような番組作りに努める。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	5	2

所属	広報課
----	-----

実施計画事業名					市政だより発行事業					平成29年度 目標達成度	—
事業概要					市政に関わるさまざまな情報を掲載した「東大阪市政だより」を月2回(1月のみ1回)発行するとともに、視覚障害のある方を対象に、点字版・録音版市政だよりを発行する。また、小学生のための「子ども市政だより」を年2回発行する。						
指標①					指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	90%	90%	90%	—	目標②						
実績①	—	—	—		実績②						
事業実績 (平成29年度)		市政だよりは、市政情報やまちの話題、市民の市政に対する関心と参加意識の高揚を促す啓発記事などを掲載し、写真やイラストを随所に取り入れ、見やすい紙面づくりに取り組んでいる。各課からの掲載依頼が多く、紙面が圧迫される状態が続いているが、市を盛り上げるような重要なものは写真や図表などを多用して掲載した。平成27年度に設けたラグビーコラムコーナーは内容をさらに充実させながら継続し、市民がラグビーを身近に感じられるよう、またラグビーワールドカップ2019への関心を高められるよう努めた。また、市出身の著名人や市制50周年のイベントなどを多く紹介し、明るい話題を多数届けた。さらに、子育て支援や高齢者福祉など市民に身近な内容を特集化し、表紙には印象的な写真を用いるなど、目を惹く紙面構成を心がけた。6月からはオールカラーとし、より見やすさを追求した。 子ども市政だより「すくらむ」では、市制50周年、市役所のお仕事をとり上げ、自分たちのまちをもっと知ってもらえるような内容にした。また、子どもたちが楽しめるようカラフルな紙面とした。									
改善すべき点		市政だよりについては、文字ばかりの読みづらい紙面にならないよう写真やイラストを多く使用するなどさらに工夫をし、市民に手にとって読んでいただけるようにする。 「すくらむ」でも、子どもたちが東大阪市や社会にさらに関心をもてるような特集として取り上げる。									
平成30年度に向けた改善策		写真やイラストを多く使用するなどさらに工夫をし、文字ばかりの読みづらい紙面にならないようにする。また市民が知りたい情報をタイムリーにわかりやすく伝えられるような特集を組むなど、引き続き手に取ってもらえる紙面づくりに努める。 「すくらむ」でも、子どもたちが東大阪市のことに興味を持ち関心をもてるような紙面を作成し、大人も子どもも楽しく読みながら学べるように努める。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	5	2

所属	広報課
----	-----

実施計画事業名		市ウェブサイト整備事業				平成29年度 目標達成度		C	
事業概要		市政への理解と関心を深めていただくため、市政情報を分かりやすく発信する「市ウェブサイト」の充実を図る。							
指標①		市ウェブサイトページビュー件数				指標②			
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	150万件	150万件	150万件	C	目標②				
実績①	110万件	－	－		実績②				
事業実績 (平成29年度)		自動翻訳で対応していなかったバナー文字についても変換されるように手続きを行ったほか、平成30年3月から子育て支援課と母子保健感染症課が市のウェブサイト(子育て応援ナビ)と連動した子育て応援アプリを運用開始し、これまで以上に活用いただけるようになった。 平成28年10月に市立総合病院が独立法人化し、市のウェブサイトから抜けたことによりアクセス数が減少。							
改善すべき点		市の魅力が伝わる、さらに訪れたいくなるようなウェブサイトになるよう改善に努める。 また、日本国内からはもちろん、海外へも市の魅力をPRできるような改善に努める。							
平成30年度に向けた改善策		アクセス解析を行い、修正が必要である部分を洗い出し、閲覧者が利用しやすく興味をもってもらえるようなサイト作りを心がける。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	3	5

所属	企画室
----	-----

実施計画事業名					結婚支援事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					結婚を希望している人たちへ出会いの場を提供するための婚活イベント等を実施する。						
指標①		イベント等でのカップル成立数				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	8組	12組	15組	A	目標②						
実績①	30組	－	－		実績②						
事業実績 (平成29年度)		平成29年度においては、平成29年10月14日(土)、平成29年12月16日(土)、平成30年3月4日(日)の計3回に渡って婚活イベントを開催し、延べ162名の方に参加いただき、目標を大きく上回る計30組のカップル成立となった。 3回のイベント開催を通じ、アンケート回答者146名のうち、約81%にあたる118名が、「またイベントに参加したい」と回答しており、一定の満足度を得られたものと考えられる。									
改善すべき点		参加者アンケートから、限られた時間の中、1対1で話ができる時間が少なかった、という意見が多くあった。また、マッチング後のカップルがその後の交際をどう発展させたか等についての後追いが不十分であり、その手法については課題がある。									
平成30年度に向けた改善策		イベントの実施にあたり、一回のイベントで行う内容や時間配分を見直すなど、多くの参加者同士が1対1で話せる時間を作ることにより、参加者の満足度を高める。 また、カップル成立後の後追いについては、委託事業者と連携し、継続的かつ効果的な手法を検討する。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	5	1

所属	企画室
----	-----

実施計画事業名		本庁舎窓口再構築事業				平成29年度 目標達成度		D			
事業概要		東大阪版ワンストップサービス構想書に基づき、本庁舎低層階の市民向け窓口を再構築し総合窓口を設置する。									
指標①		総合窓口の開設			指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	開設準備	開設準備	開設	D	目標②						
実績①	スケジュールの見直しに係る検討	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		「東大阪版ワンストップサービス構想書」にて設定した開設スケジュールの見直しに係る検討を行った。									
改善すべき点		特になし。									
平成30年度に向けた改善策		特になし。									

平成29年度 事業管理報告書

重点事業

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	8	2

所属	企画室
----	-----

実施計画事業名				新たな観光まちづくり推進事業				平成29年度 目標達成度		B
事業概要				「ラグビーのまち」「モノづくりのまち」等の本市独自の優位性のある地域資源を有効に活用し、「訪れてよし、住んでよし、稼いでよし」をコンセプトに来訪者や市民が楽しめる新たな観光まちづくりを推進する。						
指標①		着地型観光プログラムの参加者数				指標②				
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	700人	1,200人	1,800人	B	目標②					
実績①	619人	-	-		実績②					
事業実績 (平成29年度)		数値目標に設定している着地型観光プログラムについては、次の6つの取り組みを実施した。 (親子モノづくり体験・端材バイキング、樟徳館等特別公開イベント、ドローン操縦体験、石切周辺プレミアムまち歩き、布施の飲み歩きツアー、モノづくり観光外国人モニターツアー)								
改善すべき点		東大阪らしい確立した着地型観光プログラムが形にできていないため、今後、地域の事業者等の方々と本格的にプログラムをつくり出していく必要がある。 それらをうまくPRして魅力のあって楽しめる資源が豊富な東大阪というイメージを打ち出していき、外国人も体験できるプログラムにしていけることが不可欠である。								
平成30年度に向けた改善策		日本の中でも特徴的で優位性のある資源が存在する本市において、工夫をして東大阪らしさを感じてもらえるような体験型観光プログラムにつくりあげていくことで、外から多くの人を呼び込むことにつなげていく。 そのためにも、観光振興の地域のかじ取り役となる(一社)東大阪ツーリズム振興機構が、地域の方々に働きかけて連携を図りながら東大阪の体験プログラムを取りまとめてプロモーションをおこなって、実際に体験型のイベント等も開催しながら体験者を増やしていくことにつなげていく。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	4

所属	管財室
----	-----

実施計画事業名		公共施設再編整備事業（新旭町庁舎整備事業）					平成29年度 目標達成度		A
事業概要		「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき、老朽化や耐震性に課題のある旭町庁舎を解体し、新旭町庁舎を整備する。							
指標①		各段階の実施			指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	事業者決定	設計・工事	供用開始	A	目標②				
実績①	事業者決定	－	－		実績②				
事業実績 （平成29年度）		事業者と契約を締結し、事業に着手した。							
改善すべき点		特になし							
平成30年度に向けた改善策		特になし							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	6	1

所属	文化国際課
----	-------

実施計画事業名					文化推進事業					平成29年度 目標達成度	B
事業概要					市民が潤いや安らぎ、まちへの愛着を感じるよう、東大阪 市文化芸術振興条例や東大阪市文化政策ビジョンに基づ き、東大阪のさまざまな文化的資源を生かし、総合的に文 化施策を推進する。						
指標①		文化政策ビジョンの進捗状況(文化関連施 策調査における各部局の実施状況)				指標②					
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	90件	95件	100件	B	目標②						
実績①	82件	－	－		実績②						
事業実績 (平成29年度)		「東大阪市文化芸術振興条例」に基づき、東大阪市文化芸術審議会を開催し、本市の文化政策の基本方針である「東大阪市文化政策ビジョン」に基づく文化振興について意見を収集するとともに、政策の推進を図った。 平成29年度は、幅広い年齢層に文化施設に足を運んでもらえるよう「アート・プラネット東大阪」を継続し、文化施設を活用したイベント等を実施して、市の文化の魅力を発信した。									
改善すべき点		・引き続き幅広い年齢層(特に若年層)への文化発信。 ・地域固有の文化資源を通して東大阪市の文化の魅力を総合的にPRするため、他施設や他機関との連携の強化。									
平成30年度に向けた改善策		引き続き若年層に向けた文化発信を行うとともに、本市の文化政策の基本方針である「東大阪市文化政策ビジョン」に基づき文化政策を推進し、文化資源の総合的な発信方法や連携について新たな取り組みを検討し、実施する。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	8	1

所属	文化国際課
----	-------

実施計画事業名				国際情報プラザ事業				平成29年度 目標達成度		B
事業概要				英語、韓国・朝鮮語、中国語での行政相談、案内、翻訳や情報発信を進めるとともに、語学ボランティアの派遣、総合相談会等を実施することで、国際理解、国際協力に関する情報提供や支援を行い、多文化共生社会を推進する。						
指標①		国際情報プラザの多言語相談件数				指標②				
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	800件	810件	820件	B	目標②					
実績①	714件	-	-		実績②					
事業実績 (平成29年度)		・英語、韓国・朝鮮語、中国語、日本語による情報提供・収集及び相談業務 714件 ・語学ボランティア派遣(各部局の依頼に基づき登録ボランティアを派遣する制度) 198件 ・語学ボランティア研修会(入門編・応用編)の実施。参加者 35人 ・外国人のための1日相談サービス 相談件数 45件 ・多文化理解講座「ラグビーを通じて世界を知ろう！」参加者 21人 ・機構業務名等翻訳・筆耕(各部局の依頼に基づき、行政文書やパンフレット等を翻訳する制度) 等								
改善すべき点		・市民ニーズに対応可能な言語数、行政スキルを持ったボランティアの確保。 ・国際情報プラザの事業内容、活動の周知。								
平成30年度に向けた改善策		引き続き、対応可能言語、分野の拡充などに向け、語学ボランティア登録者数を増やすとともに、行政通訳者としてのスキルアップへの支援を行う。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	8	2

所属	文化国際課
----	-------

実施計画事業名				国際化推進事業				平成29年度 目標達成度		A
事業概要				外国籍住民への生活支援やその社会参加を推進するための取り組みを進めるとともに、市民や団体などが行う多文化共生推進事業を支援する。また、外国籍の方だけではなくすべての住民にとって国際化や多文化共生の推進に役立つ機能を持つ、いわゆる国際交流センターの整備へ向けた検討を進める。						
指標①		国際交流および多文化共生推進事業の参加者数				指標②				
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	26,500人	27,000人	27,500人	A	目標②					
実績①	27,509人	-	-		実績②					
事業実績 (平成29年度)		東大阪国際交流フェスティバル参加者 7,000人 盾津ふれあいフェスティバル参加者 2,000人 国際交流協会事業会員 101人 日本語教室参加者数(学習者、ボランティア数合計) 18,408人								
改善すべき点		・外国人住民の多様化するニーズに併せた、きめ細やかな対応。 ・多文化理解の推進に向け、より多くの住民が交流を深めることができるような啓発。								
平成30年度に向けた改善策		特に、日本語教室の運営を担うボランティアの確保に努めながら、引き続き、市民が行う多文化共生推進事業への支援を行う。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	7	4

所属	市史史料室
----	-------

実施計画事業名		市史編さん事業							
事業概要		市の財産である古文書等の史料の調査、整理を進める。 また、市の歴史に興味を持ち郷土愛を高めてもらえるよう、史料等の有効活用を進める。				平成29年度 目標達成度		B	
指標①		古文書のマイクロフィルム化等進捗率				指標②			
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	87%	88%	89%	B	目標②				
実績①	86%	－	－		実績②				
事業実績 (平成29年度)		史料の調査・整理事業としてマイクロフィルム撮影(デジタル化)を進めている。 また、史料等の有効活用として大学等の専門機関との連携を行い、歴史講座やパネル展など新たな取り組みを行い、定員をはるかに上回る応募があった。							
改善すべき点		マイクロフィルム撮影とともに、デジタルカメラによる史料保存を進めることで、調査の進捗と今後の史料の利活用を視野に入れた調査・整理事業を実施していく。 なお、大学等との連携により実施した歴史講座については、市民への周知とともに応募者に対応できる会場設定の工夫を進める必要がある。							
平成30年度に向けた改善策		マイクロフィルム撮影とともに、デジタルカメラによる史料保存を行い、史料の調査・整理の進捗を図る。 歴史講座は、市民ニーズが高いことが確認できたため、平成30年度は市民への周知方法や会場設定など運営面を工夫し、より多くの方々に参加いただけるように取り組む。							

平成29年度 事業管理報告書

重点事業

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	6	3

所属	文化創造館開設準備室
----	------------

実施計画事業名		文化創造館整備事業				平成29年度 目標達成度		A			
事業概要		旧市民会館および旧文化会館の機能を集約し、中核市・東大阪市のシンボルとしてふさわしい、魅力ある文化芸術の創造と発信の拠点として、文化創造館を整備する。									
指標①		文化創造館整備の進捗状況			指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	設計・工事	工事	工事・供用開始	A	目標②						
実績①	設計・工事	－	－		実績②						
事業実績 (平成29年度)		文化創造館の設計を終了し、工事着手した。									
改善すべき点		特になし									
平成30年度に向けた改善策		平成31年9月の文化創造館開館に向け、鋭意進めて行く。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	6	3

所属	文化創造館開設準備室
----	------------

実施計画事業名		文化創造館運営事業				平成29年度 目標達成度		A		
事業概要		新市民会館管理運営基本計画に基づき、「質の高い、多彩な事業」「市民や大学などとの協働の取り組み」「まちがにぎわい、魅力を増す事業」を実施する。								
指標①		プレイベントの実施回数			指標②					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	4回	7回	5回	A	目標②					
実績①	5回	－	－		実績②					
事業実績 (平成29年度)		開館までの機運を高めるとともに、開館後の文化芸術事業のベースをつくるためプレイベントを5回実施した。								
改善すべき点		特になし。								
平成30年度に向けた改善策		平成30年度も引き続き実施していく。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	3	1

所属	男女共同参画課
----	---------

実施計画事業名					男女共同参画プラン推進事業					平成29年度 目標達成度	B			
事業概要					社会のあらゆる分野で男女共同参画を推進するため、各種啓発等により学習の機会を提供するとともに、市民・事業者・教育関係者との協働により男女共同参画社会の実現をめざす。									
指標①					女性の各種審議会への登用促進							指標②		
指標の説明・計算式										指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度					
目標①	37%	38%	39%	B	目標②									
実績①	31%	—	—		実績②									
事業実績 (平成29年度)		審議会等への女性委員の参画比率については、年2回(4月1日・10月1日現在)の調査を実施。各審議会における女性委員の参画促進の意識をより一層高めてもらうため、委員の改選3ヶ月前には、参画推進計画書の提出を求めるとともに、参画率が低い場合は所管課と協議し、女性委員の増員を進められるように働きかけた。												
改善すべき点		女性委員の参画率については、昨年度より改善したものの、目標には達していない。それぞれの審議会で定める委員の要件の中で選任を進めようとしても、推薦元の団体などにおける女性の母数自体が少ないという課題があり、女性人材の発掘などに取り組む必要がある。												
平成30年度に向けた改善策		引き続き、審議会等を所管している所属課について、女性委員の参画率に留意して委員を選出するよう働きかけるとともに、女性人材の発掘について検討をすすめる。												

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	3	1

所属	男女共同参画課
----	---------

実施計画事業名					DV対策事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					DV被害の防止、被害者からの相談対応、安全の確保、心のケアを含めた自立支援などについて、関係機関と連携し総合的に推進する。また、DV被害防止にかかる啓発にも積極的に取り組む。						
指標①		DV相談・DV被害防止啓発にかかる広報紙等掲載回数(市政だより、情報紙HOWなど)				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	6回	6回	6回	A	目標②						
実績①	22回	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		DV被害者支援としては、専門相談窓口での相談対応、安全の確保、心のケアを含めた自立支援に取り組むとともに、多様化するケースに迅速に対応できるようDV対策連絡会議を開催し、関係機関との連携強化に努めた。さらに民間シェルター等に対する補助事業を実施した。また、DV被害防止や専門相談窓口の周知については、市政だよりへの啓発記事掲載やDV相談窓口等を記載したカードを作成し広く配布することなどの取り組みを進めた。									
改善すべき点		相談窓口の一層の周知を図るとともに、DVの相談件数が増加している中で、各関係機関とのより一層の連携を進め、相談者・被害者の支援充実を図る必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		市政だよりやDV相談窓口等を記載したカードで相談先を広報するとともに、DV被害防止の啓発活動に積極的に取り組む。また、各関係機関との連携強化に努める。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	2	1

所属	人権室人権啓発課
----	----------

実施計画事業名					人権啓発促進事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					憲法週間事業、人権週間事業等の人権啓発事業を展開し、誰もがもっている基本的人権を守り、あらゆる差別の解消をめざし、人権意識の高揚を図るため、啓発活動を実施する。						
指標①		イベント参加者の満足度			指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	93%	93%	93%	A	目標②						
実績①	94%	－	－		実績②						
事業実績 (平成29年度)		5月の憲法週間事業(来場者402人)、7月の人権尊重のまちづくり強化月間事業(来場者171人)、12月の人権週間事業(来場者295人)において、講演会等の人権啓発活動を実施。市民人権講座(参加者合計154人)や北朝鮮人権侵害問題啓発活動(来場者190人)やパネル展などを催し、市民が参加しやすい人権啓発・人権教育に取り組んだ。									
改善すべき点		これまでに行ったテーマ以外の人権課題についても、人権啓発活動を行いより一層人権について周知・啓発していく必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		引き続き、あらゆる人権課題について市民に関心を向けてもらえるような人権啓発事業を実施し、市民が人権問題を自らの問題としてとらえ、理解してもらえるような啓発事業を行っていく。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	4	1

所属	人権室人権啓発課
----	----------

実施計画事業名					平和のまちづくりの推進事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					非核「平和都市宣言」の趣旨に基づき、核兵器廃絶、平和推進のため、広く市民が参加できる啓発事業を実施するとともに、平和のつどいをはじめとした各種事業により、平和意識を向上させる。						
指標①		イベント参加者の満足度			指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	88%	88%	88%	A	目標②						
実績①	90%	－	－		実績②						
事業実績 (平成29年度)		7月下旬～8月に「平和のつどい」と称し、平和ミニシアターとして映画「インビクタス ー負けざる者たちー」の上映(参加者40人)、「平和資料展」として企画展示、平和メッセージパネル展示(初日来場者314人)・「原爆体験のおはなし」8月1日 入場者55人・8月3日 入場者50人、平和子どもシアターとして映画「PET・ちいちゃんのかげおくり」の上映(入場者740人)、平和トーク&コンサート(入場者168人)などを実施。平和の大切さを訴えるとともに、平和のために自分たちに何ができるのかを考えてもらうきっかけとしての平和イベントを行った。									
改善すべき点		戦争が終わってから時が経つにつれ、薄まりつつある戦争への意識を、戦争体験のない若い世代にもアピールすることによって、幅広い世代に平和の尊さを訴える必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		幅広い世代に関心を向けてもらうような平和事業を計画し、平和と命の尊さを次代に語り継ぐために若い世代に対してもアピールを行っていく。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	2	2

所属	長瀬・荒本人権文化センター
----	---------------

実施計画事業名					人権文化センター人権啓発交流事業					平成29年度 目標達成度	B
事業概要					人権尊重のまちづくりの観点から、同和問題をはじめ人権課題の解決のための啓発・広報活動を行うとともに、教養・文化事業として各種講座の開催や人権講演会・コンサートといったイベントの実施により住民相互の交流を図る。						
指標①		イベントへの参加率(長瀬)				指標②		イベントへの参加率(荒本)			
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	100%	100%	100%	B	目標②	100%	100%	100%	B		
実績①	91%	—	—		実績②	81%	—	—			
事業実績 (平成29年度)		【長瀬人権文化センター】 ・文化祭参加者150人(定数150人) 太鼓づくり教室参加者25人(定数25人) ・講座参加者1,945人(定数2,648人) 【荒本人権文化センター】 ・イベント人権講演会(あらもと愛ふれあい21) 参加人数275人(定数400人)=68.8% ・ふれあい講座(10教室、通年各20回) 参加人数 124人(定数132人)=93.9%									
改善すべき点		【長瀬人権文化センター】 当館での講座利用者は高年齢層が多く若年層が少ない。 【荒本人権文化センター】 講座への参加者の大半が地域外からであり、相互交流の意味合いが薄れて来ていることから、新規講座の開拓も含め企画運営の見直しを検討をすべき。									
平成30年度に向けた改善策		【長瀬人権文化センター】 実施する講座の時間帯・内容等をさらに充実させていきたい。 【荒本人権文化センター】 過去のアンケート等を検証し、より多くの市民が参加いただける様な、魅力ある講座・イベントの企画運営に努める。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	2	3

所属	長瀬・荒本人権文化センター
----	---------------

実施計画事業名					人権文化センター総合相談事業					平成29年度 目標達成度		B
事業概要					様々な課題を抱える市民に適切な助言・情報提供や弁護士による無料の人権法律相談などによる支援を行う。また関係機関との連携により、住民のニーズを的確に把握し、福祉の向上と自立のための支援を行う。							
指標①		相談件数(長瀬)				指標②		相談件数(荒本)				
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度			
目標①	350件	350件	350件	C	目標②	500件	500件	500件	A			
実績①	275件	-	-		実績②	521件	-	-				
事業実績 (平成29年度)		【長瀬人権文化センター】 人権相談 27件、総合生活相談244件、進路選択支援相談4件 【荒本人権文化センター】 人権相談 19件 総合生活相談 496件 進路選択支援相談 6件										
改善すべき点		【長瀬人権文化センター】 市政だより・当館のコミュニティ紙「長瀬だより」・ホームページ等でPRに努めたが、市営住宅の相談窓口が近鉄住宅管理(株)長瀬出張所へ移行したために相談件数が減少した。 【荒本人権文化センター】 人権文化センターが「身近な相談窓口」として市内住民に広く認識されるよう、広報手段の改善に努める。										
平成30年度に向けた改善策		【長瀬人権文化センター】 さらなる周知に努めたい。 【荒本人権文化センター】 ケース検討会等と通じ、関係機関との連携をより一層強化し、相談体制の充実を図る。 人権文化センター総合相談事業の周知を図る為、市政だより、ホームページやセンターだより等による更なるPRに努める。										

平成29年度 事業管理報告書

重点事業

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	1

所属	市民協働室
----	-------

実施計画事業名		東大阪市版地域分権制度推進事業				平成29年度 目標達成度		C		
事業概要		地方創生をはじめとし、地方独自の取り組みの重要性が増している中、東大阪市においても、地域の特色に応じたまちづくりを推進していく必要がある。そこで東大阪市版地域分権制度を構築・推進し、「住みたいまち、住み続けたいまち東大阪」を実現していく。								
指標①		事業の進捗状況			指標②					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	制度の構築周知	制度の運用	制度の運用	C	目標②					
実績①	制度の検討・構築	—	—		実績②					
事業実績 (平成29年度)		学識経験者や地域活動団体等により構成される東大阪市協働のまちづくり推進審議会を4回開催。制度の検討を行い、平成29年11月に東大阪市版地域分権制度(案)の答申を受け、それをもとに制度設計を進めた。								
改善すべき点		「東大阪市参画と協働による地域まちづくり推進条例」が議会の指摘を受け取り下げに至ったことから、条例および制度について再検討が必要である。								
平成30年度に向けた改善策		条例および制度について再検討するとともに、地域への周知と庁内連携に取り組んでいく。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	2

所属	市民協働室
----	-------

実施計画事業名				地域まちづくり活動助成事業				平成29年度 目標達成度		B
事業概要				魅力ある地域づくりを推進するため、地域資源の活用や地域課題の解決に向けて、市内を活動拠点とする団体が自ら企画・提案し実施する事業に対して助成を行う。						
指標①		助成金を交付した団体の累積数 (平成16年度事業開始)				指標②				
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	248団体	274団体	300団体	B	目標②					
実績①	247団体	-	-		実績②					
事業実績 (平成29年度)		平成29年度は、30件の申請があり、うち26件を採択した。 採択件数の内訳は、スタート支援部門17件、事業チャレンジ部門6件、まちづくりファンド調査研究部門1件、まちづくりファンド助成事業部門2件であった。 また、資金的なサポートだけでなく、助成金広報講座を開催し、市民活動団体に対して技術的なサポートを行った。								
改善すべき点		助成金交付団体が固定化されて来っており、新たに活動を検討している団体に対しての運営相談など、より多角的な支援を行っていく必要がある。								
平成30年度に向けた改善策		助成金交付団だけではなく、助成金の活用を検討している団体へも、地域サポート職員を活用することで、団体の現状や課題などを把握し、多角的な支援を行っていく。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	2

所属	地域コミュニティ支援室
----	-------------

実施計画事業名		自治会集会所整備補助事業				平成29年度 目標達成度		B		
事業概要		地域コミュニティの醸成や活動の広がりをめざし、自治会活動の拠点となる自治会集会所の整備を支援する。								
指標①		集会所設置自治会数			指標②					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	195自治会	197自治会	199自治会	B	目標②					
実績①	193自治会	－	－		実績②					
事業実績 （平成29年度）		平成29年度は、新たな自治会・集会所を2か所設置。								
改善すべき点		特になし。								
平成30年度に向けた改善策		特になし。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	1

所属	NPO・市民活動支援課
----	-------------

実施計画事業名					リージョンセンター公民協働事業					平成29年度 目標達成度	C
事業概要					地域の特性を生かした個性的なまちづくりを推進するため、市民プラザを拠点とした、各リージョンセンター企画運営委員会が実施する公民協働事業に対して助成を行う。						
指標①		リージョンセンター企画運営委員会が実施する各種事業の延べ参加者数					指標②				
指標の説明・計算式							指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	35,000人	35,000人	35,000人	C	目標②						
実績①	23,948人	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		各リージョンセンター企画運営委員会においては、地域の特性を活かしたまちづくりに取り組んだ。各種教室事業やイベントの開催によるリージョンセンターの活性化はもとより、地域資源を活用した個性ある取り組みも行われた。また、各リージョンセンターの広報部会と事業部会の委員がそれぞれ交流する場を設け、様々な意見交換を行った。									
改善すべき点		平成29年度に各リージョンセンター企画運営委員会の広報部会と事業部会の委員がそれぞれ交流する場を1回ずつ設けたが、目に見える効果には至らなかった。									
平成30年度に向けた改善策		平成30年度においても引き続き広報部会や事業部を実施し、さらなるアイデアを出し合うように努め、、他のリージョンセンターの催し等を、委員に視察してもらう事を促し、更なる活性化を図ってもらう。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
1	1	2

所属	NPO・市民活動支援課
----	-------------

実施計画事業名					NPO等活動基盤強化事業					平成29年度 目標達成度	C
事業概要					NPOや市民活動団体に対し、NPOアドバイザーによる相談・助言などの支援やニーズに合わせた研修などを行い、活動基盤の強化を推進する。						
指標①		NPO等からの相談件数				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	200件	250件	300件	C	目標②						
実績①	114件	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		相談実績114件。 NPOアドバイザーによるNPO等に関する運営上の相談に積極的に対応するとともに、その相談を通じて、決算処理に関する事や所轄庁である東大阪市に提出する書類等に関して課題を持っておられる事を把握し、日々の会計書類の基礎や、NPO法人格を取得する事の意味合いに関する事等の講座を実施した。 また、NPOアドバイザー周知のためのチラシを作成し、配布を行った。									
改善すべき点		NPOアドバイザー周知のためのチラシを配布したが、各団体からの相談件数が伸び悩んだことから、どれだけ認識してもらえているかについて把握する必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		NPOアドバイザーの認識度を測り、また能動的な電話、窓口、訪問等によるヒアリング等を実施する事により、法人の活動基盤の強化を行う。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	26	1

所属	消費生活センター
----	----------

実施計画事業名		消費生活相談事業				平成29年度 目標達成度		B	
事業概要		消費生活にかかる相談および苦情に関して、専門相談員 による助言や斡旋により解決を図る。							
指標①		消費生活相談を受けた内、解決した割合				指標②			
指標の 説明・計算式		斡旋で解決した件数/斡旋件数×100				指標の 説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	100%	100%	100%	B	目標②				
実績①	91%	—	—		実績②				
事業実績 (平成29年度)		商品やサービスに関する苦情、問合せ等を受け付け、トラブル解決のための助言、あっせん、情報提供等を実施した。 受付 月曜日～金曜日 時間 午前9時30分～午後4時(ただし祝日及び年末年始を除く)							
改善すべき点		相談件数は高水準で推移し、相談内容が複雑多様化するとともに、1件の相談に要する時間が増加している。							
平成30年度に 向けた改善策		複雑多様化する相談内容に対応する相談員のスキルアップを図るとともに、センターの周知を図り利用を促進 する。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	26	2

所属	消費生活センター
----	----------

実施計画事業名					消費生活啓発事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					消費者被害を未然に防止し、消費者の安全・安心を確保するため、消費者教育や啓発を行う。						
指標①		くらしの緊急情報の市政だよりへの掲載回数				指標②					
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	11回	11回	11回	A	目標②						
実績①	11回	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		●消費生活出張講座の開催 4回 延べ227名参加 ●くらしの情報セミナーの開催 4回 延べ109名参加 ●子ども消費生活体験講座 1回開催 35名参加 ●消費者問題講演会の開催 1回 37名参加 ●暮らしのスクラム全戸回覧 4回 ●くらしの緊急情報の市政だよりへの掲載 11回 ●啓発懸垂幕の掲示 2回 ●悪質商法、振り込め詐欺防止等街頭啓発(布施警察署と合同 3回 河内警察署と合同 2回) ●総合庁舎、市外部施設、地域包括支援センター等に啓発グッズ及び啓発ポスターを配布・掲示 ●ふれあい祭りなどでの啓発、その他市ウェブサイト等を通じて、情報の提供に努めた。 ●高齢者向け消費者問題講座 17回 延べ1,270名参加 ●消費者教育推進講座 22回開催 延べ1,002名参加 ●高齢者見守り講座 1回 200名参加 ●消費者月間街頭啓発 3回 ●消費生活展の開催 1回 ●主要駅での啓発ポスター掲示 1回 ●ヴェルノール・ビジョンで相談事例等を放映									
改善すべき点		消費生活センターの存在をより広く市民に知ってもらい、活用していただくため、引き続き消費生活センターの周知を行うとともに、消費者被害の未然防止を図るため、更なる啓発に努める必要がある。特に悪質商法の被害に遭いやすい高齢者への啓発の強化を図る必要がある。 また、消費者教育推進法の施行に伴い、消費者のライフステージにあった消費者教育を推進する必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		消費生活センターの存在をより広く市民に知ってもらい、活用していただくため、関係機関等とも連携を図りながら、引き続き啓発に努めるとともに、消費者教育の総合的、一体的な推進を行う。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	3

所属	医療保険室保険管理課
----	------------

実施計画事業名					特定健康診査等事業					平成29年度 目標達成度	C
事業概要					特定健康診査・特定保健指導の推進などにより生活習慣病を未然防止・早期発見するとともに、重症化を予防し、生活の質の維持・向上を図る。						
指標①		特定健康診査受診率				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	32.7%	33.9%	35.1%	C	目標②						
実績①	19.8%	—	—		実績②						
事業実績 (平成29年度)		保健センター等のイベントや市政だより・CATV等で啓発を実施。特定健診未受診者の個別性に応じてはがきでの再案内を実施。平成29年度は受診勧奨はがき送付後に、雇用スタッフから対象者に電話をかけ、再度勧奨するコールリコール制度を継続した。受診率の低い壮年期の受診を促進すべく休日にがん検診を含めた集団健診を保健センターで2回実施。協力が得られた8医療機関においても休日に同様の健診を15回実施した。 市政だより11月15日号保存版にて曜日別医療機関を掲載した。治療中の方への特定健診受診勧奨としてチラシを作成し、各医療機関に配布し設置を依頼した。雇用保健師による重複・頻回受診者への訪問指導を実施。対象者37人中8割になる31名に健康相談及び適正受診の指導ができた。 平成27年度に策定したデータヘルス計画に基づき事業を実施した。									
改善すべき点		本市の特定健診受診率は、平成28年度は前年度に比べ0.6%増加しているものの、未だに大阪府平均を下回っており、受診率向上が課題である。引き続き、より効果的な受診勧奨・対象者選定を行う必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		生活習慣病で現在通院・治療中の方への受診勧奨を医療機関と連携し、特定健診受診率の向上を図るとともに、受診結果から必要な対象者への受診勧奨・保健指導等を行い、重症化予防へとつなげていく。 また、糖尿病性腎症重症化予防事業を拡充し透析移行予防のためのプログラムの実施をしている。 第2期東大阪市データヘルス計画は第3期東大阪市特定健康診査等実施計画と一体的に策定していく。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

所属	モノづくり支援室
----	----------

実施計画事業名		産業技術支援センター機器整備事業				平成29年度 目標達成度		B		
事業概要		製品の精度を精密に測定する機器などの整備を行い、企業の利用に供することで、市内製造業の技術力などの向上につなげる。								
指標①		測定機器等の利用件数			指標②					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	2,500件	2,500件	2,500件	B	目標②					
実績①	2,273件	-	-		実績②					
事業実績 (平成29年度)		平成29年度は前年度の利用件数を下回った。理由としては、企業における製品開発等にかかる時間及び人手が不足していることが推察される。機器整備に関しては、利用頻度の高い、CNC三次元測定機を導入した。								
改善すべき点		一部の既存機器が経年劣化し、機器が使用できなくなりつつあるため、利用者のニーズを踏まえ、予算の範囲内で、随時、既存機器を更新する必要がある。								
平成30年度に向けた改善策		利用者のニーズ、機器整備の必要性等を見極めながら、機器の導入・更新を行なっていく。今年度は蛍光X線分析装置を更新する予定である。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

所属	モノづくり支援室
----	----------

実施計画事業名					東大阪デザインプロジェクト事業					平成29年度 目標達成度	C
事業概要					世界的工業デザイナーやクリエイター等との交流を促進することにより、デザインの重要性をPRするとともに、デザインという資源を活かした付加価値の高い製品づくりを促進する。						
指標①		本プロジェクトを通じたデザイナーとのプロジェクト組成数				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	2件	3件	4件	C	目標②						
実績①	1件	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		デザイナーを講師に迎えてセミナーや交流会などを開催し、市内企業とデザイナーとの交流を図った。また、東大阪デザインプロジェクト製品発表の場として国際見本市「LIVING & DESIGN2017」へ出展し、本事業の成果を発信した。(来場者数:7,351人) さらに、公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会(JIDA)によるデザインセミナーを開催し、またJIDA会員のデザイナーによる建築資材関係の製品開発を行った。									
改善すべき点		プロジェクトの組成に繋がるよう、補助金など以外に具体的な取り組みに対する支援を検討する必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		セミナー、交流会のあとに、デザイナーが市内企業の工場を訪問してアドバイス等のフォローをするなど、製品開発に関心のある企業に対してさらなる支援を行う。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

所属	モノづくり支援室
----	----------

実施計画事業名		高付加価値化支援事業				平成29年度 目標達成度		D		
事業概要		市内中小製造業者が単独または2者以上の共同で行う、新たな産業技術の研究や新製品の開発に向けた活動等に対して補助金を交付し、付加価値の高い製品の製造を促進する。								
指標①		補助金活用件数			指標②					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	10件	10件	10件	D	目標②					
実績①	4件	－	－		実績②					
事業実績 (平成29年度)		研究開発事業が3件、産学連携事業が1件の計4件を採択。								
改善すべき点		応募件数が伸び悩んでいる。さらなる周知と公募回数の増加などに加えて活用しやすい制度設計の検討が必要と思われる。								
平成30年度に向けた改善策		更なる周知と公募回数の増加などを実施するとともに、実施主体である公益財団法人東大阪市産業創造勤労者支援機構と平成31年度に向けた制度設計について協議していく。								

平成29年度 事業管理報告書

重点事業

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

所属	モノづくり支援室
----	----------

実施計画事業名					医工連携プロジェクト創出事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					市内モノづくり企業等で構成される研究会で健康・医療分野への参入へ向けたセミナーなどを開催するとともに、付加価値の高い製品の製造や研究開発を促進するため、事業化をめざす案件に助成金を交付する。						
指標①		健康、医療、介護分野における開発ニーズ 案件の情報提供数				指標②					
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	10件	15件	15件	A	目標②						
実績①	39件	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		(1)医工連携研究会(市内企業39社 サポート会員14社) 市内企業の企業規模や意向などを勘案し、「部品・部材の供給」「試作・設計開発支援」「OEM／ODM」を重点領域に設定。モノづくり企業に不足している「法規制のノウハウ」や「医療機器市場のニーズ把握」「販売ネットワーク」を保有している医療機器製販企業との取引関係構築を目指す「製販ドリブン型」の医工連携を実践。 ●「医療機器企業との取引開始を目指すステップアッププログラム」を実施。 本郷展示商談会(下記参照)の開催に向け、医療機器企業へのプレゼンテーション力の向上や展示会での魅せ方など全5回のプログラムを実施。 ●本郷展示商談会を開催 医療機器企業の集積地「メディカルヒルズ本郷」にて、大阪の自治体として初めて本郷展示商談会を開催。 来場者数140名／ブース来訪者数・名刺交換数 468名／引き合い・商談件数 91件 今後、具体的に取引につながる可能性のある案件数 34件 (2)医工連携創出プロジェクト事業助成金 医療・健康・介護分野の研究や製品開発案件に対し、助成金を交付。助成事業件数:4件。 (3)大阪大学大学院医学系研究科及び医学部附属病院との連携推進協定 昨年度に引き続き、大阪大学が設置した「産学連携・クロスイノベーションイニシアティブ」へ自治体として唯一参画。医療現場における課題の情報収集や市内企業の医療分野への参入に役立つネットワークの構築を図った。									
改善すべき点		(課題・問題点) ・医療機器市場は、厳しい法規制や独特な商習慣が存在し、特に新たに参入を目指す企業にとっては、非常に障壁が高い市場であることから、具体的なビジネスにつながるまでには長期間を要する。 ・医療機器の都道府県別の製品出荷額からも、圧倒的な東高西低の状況であり、首都圏を中心とし、関東圏の医療機器企業とのネットワークの構築・強化を図っていく必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		・継続的に医療機器企業とのネットワークを構築・強化していくため、東京で開催される医療機器国際見本市「MedtecJapan2018」への出展や昨年度に引き続き「本郷展示商談会」を開催していく。 ・医工連携研究会の会員企業を中心に新たな企業グループを立ち上げる動きがあり、具体的なビジネス案件を呼び込む受注システムの構築に向け、検証を進める。									

平成29年度 事業管理報告書

重点事業

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	1

所属	モノづくり支援室
----	----------

実施計画事業名					都市ブランド形成事業					平成29年度 目標達成度	C
事業概要					別途実施するモノづくり企業の実態調査結果を分析・追跡調査したうえで、「モノづくりのまち東大阪」の将来像を展望した都市ブランディングを行い、2019年ラグビーワールドカップを絶好の機会と捉え、世界へ「Monodzukuri city higashiosaka」を発信する事業を展開する。						
指標①		アンケート回収率			指標②		海外向けサイトのアクセス数				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	50%	－	－	C	目標②	－	30,000件	40,000件			
実績①	25%	－	－		実績②	－	－	－			
事業実績 (平成29年度)		平成26年度経済センサスデータをもとに全製造事業所(6321)あてにアンケートを実施。有効数のうち25%の回収率。回収したアンケートを近畿大学において分析。分析結果をもとにヒアリングを実施。アンケートの調査結果等に基づき、平成30年度の事業へ反映を実施。 東大阪のまちやモノづくりをイメージして作成した都市フォントや映像を作成。 「モノづくりのまち東大阪」を若者にも広げるためLINEスタンプを作成。									
改善すべき点		追跡のヒアリング調査が一部にとどまっているため、今後も継続してヒアリングを行い、市内企業の意見を聞く必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		アンケート分析結果をもとにヒアリングを行ったが、継続してヒアリングを実施し、今後の施策へ反映していく。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3

所属	モノづくり支援室
----	----------

実施計画事業名		東大阪ブランド推進事業				平成29年度 目標達成度		D		
事業概要		「東大阪ブランド」を本市モノづくり企業のフラッグシップと位置づけ、認定製品の発信を行い、『モノづくりのまち東大阪』の都市イメージ向上を図る。								
指標①		ブランド新規認定製品数			指標②					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	20製品	25製品	30製品	D	目標②					
実績①	6製品	－	－		実績②					
事業実績 (平成29年度)		平成29年11月1日、平成30年3月12日に東大阪ブランド認定審査委員会を開催し、6社6製品を認定した。また、東大阪ブランドについてモノづくり支援室のウェブ上にて発信を行った。また、東大阪ブランド推進機構のウェブも刷新し、継続して発信を行っている。								
改善すべき点		平成29年度に東大阪ブランドの製品認定が、理事長認定から市長が認定するように仕組みが変わった。これに伴い、既存の理事長が認定した製品も市長認定に移行していく作業が必要である。								
平成30年度に向けた改善策		昨年度から制度変更を行ったこともあるので、引続き公募で製品認定を行いつつ、改善点を見極めたい。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	2

所属	モノづくり支援室
----	----------

実施計画事業名				次世代モノづくり啓発事業				平成29年度 目標達成度		B
事業概要				小学校でのモノづくり体験教室の開催や少年少女発明クラブを支援することにより、次代を担う子どもたちのモノづくりに対する興味や関心を高め、将来の産業を担う人材を育成する。						
指標①		モノづくり体験教室参加児童数			指標②		発明クラブ活動への参加率			
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	5,100人	5,100人	5,100人	B	目標②	80%	80%	80%	B	
実績①	5,064人	－	－		実績②	72%	－	－		
事業実績 (平成29年度)		【モノづくり教育支援事業】 のべ75校、178クラス、5,064人が当事業に参加した。 【少年少女発明クラブ】 開催回数26回、のべ564人が参加した。								
改善すべき点		【モノづくり教育支援事業】 材料費の高騰により企業への負担が増えている。 【少年少女発明クラブ】 年度後半になると参加率が低下してしまう。年度を通して高い参加率を維持して参りたい。								
平成30年度に向けた改善策		【モノづくり教育支援事業】 今年度については予算の範囲内で企業への協力を求める。次年度以降については予算の確保に努める。 【少年少女発明クラブ】 年度途中での退会者が出ないよう、1年間を通じて興味を持ってもらえるようなメニュー作りなどに配慮する。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3

所属	モノづくり支援室
----	----------

実施計画事業名				国内外販路拡大事業				平成29年度 目標達成度		A
事業概要				市内製造業者の販路拡大を図るため、国内外における商談や交流の機会を支援する。また、パンフレット冊子およびWEBなどを活用したPR媒体を作成し、海外への情報発信を行う。						
指標①		商談件数				指標②		有効配布部数		
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	100件	100件	100件	A	目標②	1,000部	1,000部	1,000部	A	
実績①	390件	－	－		実績②	1,467部	－	－		
事業実績 (平成29年度)		市内のモノづくり企業に対する国内展示会の出展支援を通じて、390件の商談成約があった。また、海外向けパンフレットについては、日本貿易振興機構(ジェトロ)海外事務所や在大阪領事館等に配布した。さらに、映像や都市フォント、LINEスタンプなど国内外向けのコンテンツを製作した。								
改善すべき点		平成29年度はコンテンツの製作のみであったため、製作したコンテンツの速やかな発信が必要。								
平成30年度に向けた改善策		インターネットを通じて、平成29年度に製作したコンテンツを世界に向け発信し、本市のモノづくりの認知度向上を図る。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3

所属	モノづくり支援室
----	----------

実施計画事業名		技術交流プラザ事業				平成29年度 目標達成度		B	
事業概要		市内製造業者の情報発信・販路開拓を支援するため、製造業検索サイト「東大阪市技術交流プラザ」を運営する。							
指標①		市内企業への問合せ件数				指標②			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	300件	330件	360件	B	目標②				
実績①	277件	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)		(公財)東大阪市産業創造勤労者支援機構の専門コーディネーターが企業訪問時に技術交流プラザの案内を行い未登録企業に対し積極的に登録の呼びかけを行う等、新規登録企業の促進を図ったところ73社から新規申し込みがあった。 1件でも多くの発注案件を呼び込むため、展示会への出展を行った。 サイトリニューアル後、登録企業を対象とした操作説明会を開催した。							
改善すべき点		新規申込みが73社と前年があったが、登録に至った件数は30社であり登録率が低い。 アクセス数が減少傾向にある。							
平成30年度に向けた改善策		企業への積極的な広報 展示会への出展や広告事業による利用者数の増加 企業検索機能の最適化							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	3

所属	モノづくり支援室
----	----------

実施計画事業名					モノづくりワンストップ推進事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					受注拡大サポートや、販路系・技術系コーディネーターによる積極的な企業訪問などにより、企業が抱える課題解決に向けた相談に応じる。						
指標①		企業訪問件数				指標②		マッチング件数			
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	1,200件	1,200件	1,200件	A	目標②	120件	120件	120件	A		
実績①	1,685件	-	-		実績②	160件	-	-			
事業実績 (平成29年度)		今まで一度もコンタクトを取ったことがない小規模企業等を中心に、市の施策の広報などを行う企業訪問相談員を新たに4名配置するなど、技術コーディネーター、販路開拓コーディネーター、企業訪問相談員それぞれが明確なターゲットを設定し、積極的に企業訪問などを実施した。 とりわけ企業訪問相談員においては、計画通り平成29年12月までに約2,300件のファーストアプローチ(訪問や架電)を終え、より個々の企業に応じた支援策の案内など引き続きセカンドコンタクトを進めている。									
改善すべき点		限られたマンパワーの中で、より高いパフォーマンスを発揮するため、各コーディネーターで得た情報の共有や連携を図りながら相談業務を進める必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		引き続き積極的に企業訪問を実施し、現状の把握や課題を抽出に務める。 また、技術コーディネーターや販路開拓コーディネーターについては、高付加価値化促進事業や国内展示会出展支援事業など助成金の活用実績のある企業の伴走サポートに当たるなど、他の事業との連携を意識し、相談業務を進める。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	1

所属	モノづくり支援室
----	----------

実施計画事業名		住工共生のまちづくり事業				平成29年度 目標達成度		A	
事業概要		製造業集積の維持・継承に向けた環境づくりを積極的に推進しつつ、良好な住環境を確保することで、活力あふれる経済活動と快適な生活環境が両立したまちを実現していく。							
指標①		補助金施策の活用実績率			指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	80%	80%	80%	A	目標②				
実績①	80%	－	－		実績②				
事業実績 (平成29年度)		住工共生のまちづくり条例第11条に基づき特にモノづくり企業の集積を維持し、促進することが必要であると認める地区について、水走地区、高井田地区を選定し、両地区内の支援施策について検討を実施した。							
改善すべき点		住工共生にかかる補助金施策について、事業用地継承支援対策補助金など、活用件数が少ないものがある。条例に基づき、施策等の実施状況を公表し、広く市民、モノづくり企業等の意見を求めるものとなっているが、本条例に関する意見が少ない。							
平成30年度に向けた改善策		住工共生のまちづくりの取り組みに関するPRや補助金制度等について環境部や建設局などの関係部局とも連携を取りながら、積極的に行う。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	24	4

所属	モノづくり支援室
----	----------

実施計画事業名					クリエイション・コア東大阪活用促進事業					平成29年度 目標達成度		A
事業概要					クリエイション・コア東大阪がさらに機能を充実させ、モノづくりに関する総合支援センターとなるよう情報交換などを行う。また、各種催しなどについても積極的に広報するとともに、集客活動を支援する。							
指標①		関係機関と実施するセミナーなどへの参加者数			指標②							
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式							
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度			
目標①	50人	80人	150人	A	目標②							
実績①	512人	-	-		実績②							
事業実績 (平成29年度)		企業活動を支えるために金融面での支援や、企業に役立つ情報を関係機関と連携しながらセミナーなどを通じて提供した。 新技術・新商品開発や販路開拓等、地域産業を総合的に支援した。 関係機関と連携し、クリエイターズプラザにおいて、知的財産や海外販路等に関するセミナーを実施した。										
改善すべき点		貸館事業である、クリエイターズプラザの稼働率が技術交流室役20%、研修室で約25%と低い。										
平成30年度に向けた改善策		比較的に昼間午後からの稼働率く、午前及び夜間なら利用しやすいことなど、プラザメールや中小企業だよりによりクリエイターズプラザの周知を行い、利用率の向上を図る。										

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	8	5

所属	商業課
----	-----

実施計画事業名		物産モノづくり魅力発信事業				平成29年度 目標達成度		A	
事業概要		商業者やモノづくり企業等の事業者と連携し、本市ならではの商品・製品の魅力の発信、販売を促進させ、地域産業の活性化につながる支援を行っていく。							
指標①		事業効果があったとする対象店舗、企業の割合				指標②			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	25%	30%	35%	A	目標②				
実績①	50%	—	—		実績②				
事業実績 （平成29年度）		観光協会のアンテナショップにおいて東大阪市にゆかりある商品・製品を取りあつかい、店舗やイベントでの販売やウェブ上での通販などを通じた地元産業の魅力発信に取り組んだ。							
改善すべき点		店舗での販売では数量的にかぎりがあり、商品・製品の魅力発信は不十分である。							
平成30年度に向けた改善策		人の多く集まるイベントや、催事での出店開拓を行うとともに、インターネットを使った通販での発信を進めていく。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	1

所属	商業課
----	-----

実施計画事業名				空き店舗活用促進事業				平成29年度 目標達成度		C
事業概要				商店街の空き店舗を活用して商業・サービス業の開業支援を図るため、開業の際の一部経費の補助やアドバイザーの派遣を行う。						
指標①		空き店舗活用促進事業実施団体数				指標②				
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	4件	4件	4件	C	目標②					
実績①	3件	－	－		実績②					
事業実績 (平成29年度)		空き店舗活用促進事業として商店街へ補助金を交付するとともに中小企業診断士によるアドバイザー派遣も実施した。 ・商店街の魅力を高める店舗：布施駅北部四番街商店街振興組合（継続・飲食店） ・商店街の魅力を高める店舗：布施駅北部四番街商店街振興組合（継続・サービス業） ・商店街の魅力を高める店舗：瓢箪山中央商店街振興組合（継続・物販）								
改善すべき点		商店街の不足業種の解消や魅力のある店舗の開業による商店街のにぎわいを生み出すため、新規創業者や開業予定者への制度周知や申請の手続きの簡略化が求められる。								
平成30年度に向けた改善策		平成30年度は同補助金の補助対象者の条件や申請の手続き等を見直すとともに、より多くの創業者・開業予定者の支援となるよう活用を図る。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	2

所属	商業課
----	-----

実施計画事業名					個店経営者育成セミナー事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					商業者や開業予定者を対象に、魅力ある個店づくりに必要なコンセプト作りや経営・財務・人材育成・販路開拓等の知識を身につける講座を開講するとともに、専門家(アドバイザー)を店舗に派遣する。						
指標①		アドバイザー派遣により実効果があったと回答した割合				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	80%	80%	80%	A	目標②						
実績①	88%	－	－		実績②						
事業実績 (平成29年度)		平成28年度に引き続き中小企業診断士を講師に招いて全10回の講義を実施し、8件のアドバイザー派遣を行った。派遣先の業種は以下のとおり。 米屋(1店舗)×2回、飲食店(2店舗)×各1回、呉服店(1店舗)×1回、調味料ネットショップ販売(1店舗)×1回、美容室(1店舗)×1回、玩具店(1店舗)×1回。 全体的にベテランの商業者を中心に行われた。昨今の客離れや新規顧客獲得、人員不足などの課題に対し、現地に赴き各店舗の現状に応じたアドバイス行い、講義だけでは補えない部分のフォローがなされたと満足度の高い結果となった。									
改善すべき点		新規・若手開業予定者からのアドバイザー派遣の希望がなかったため、できる限り個々の状況を把握し、それぞれに適した情報を提供しフォローしていく必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		特に新規開業予定者にアドバイザー派遣を受けていただくため、セミナーの中で新規創業者の課題をしっかりと掘り起こし、開業前に個々の必要な知識の獲得のためにアドバイザー派遣を受けていただくよう誘導する。									

平成29年度 事業管理報告書

重点事業

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	2

所属	商業課
----	-----

実施計画事業名					商業支援コーディネート事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					意欲ある商業者のグループを想定しながら、新たな商業振興のあり方を試し地域商業の活性化を図る。						
指標①		事業効果があったとする対象店舗の割合				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	20%	25%	30%	A	目標②						
実績①	67%	—	—		実績②						
事業実績 (平成29年度)		平成29年度商業振興コーディネート事業については、ラグビーにちなんだ弁当、菓子を取り扱う商業者を支援対象とした「東大阪ショウテンズ」について冊子改正やPR事業を行った。 ・「東大阪ショウテンズ」冊子改正(新規3店舗の追加) ・チラシ、ポスター等の製作による掲載店舗の広報。									
改善すべき点		ラグビーにちなんだ弁当、菓子を取り扱う商業者の支援については2か年の支援を行い、店舗のPRや「ラグビーのまち」の魅力をPRする取り組みとして一定の成果があった。 今後についても、市内商業者や商業者グループの抱える課題の解決に向けて支援を行う事が求められている。									
平成30年度に向けた改善策		平成30年度については、国や大阪府の政策による訪日外国人観光客数の増加に加えてラグビーワールドカップ2019の開催による外国人観戦者に対する市内商業者による受け入れ体制の向上が課題であるため、訪日外国人(インバウンド)対策のための支援を行う。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	22	4

所属	商業課
----	-----

実施計画事業名					共同施設設置助成事業					平成29年度 目標達成度	C
事業概要					買い物しやすいまちづくり、安全・安心な買い物環境づくり、商店街の魅力づくりのため、商店街などの小売商業者で組織する団体が実施するアーケードや街路灯などの整備に対し、補助金を交付する。						
指標①		助成事業実施団体数			指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	4件	4件	4件	C	目標②						
実績①	3件	-	-		実績②						
事業実績 （平成29年度）		市内小売商業団体3団体に対し、アーケード照明のLED化、老朽化したカラー舗装の改修などの事業へ補助金交付を実施した。									
改善すべき点		商店街等の安心安全な買い物環境の維持が求められる。									
平成30年度に向けた改善策		平成30年度については、引き続き商店街等の安心安全づくりと環境整備推進のため、本事業の周知と有効活用を図る。									

平成29年度 事業管理報告書

重点事業

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	2

所属	労働雇用政策室
----	---------

実施計画事業名					就活応援窓口事業					平成29年度 目標達成度	D				
事業概要					ヴェル・ノール布施に就労支援のための窓口を開設し、就労相談やセミナー等の開催などを通じて、若者や子育て世代の女性などを中心とした方々の就労支援を行う。										
指標①					就活応援窓口による地元企業への就労者数							指標②			
指標の説明・計算式										指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度						
目標①	100人	125人	125人	D	目標②										
実績①	48人	-	-		実績②										
事業実績 (平成29年度)											『就活ファクトリー東大阪』での実績 ※以下ファクトリーと記載 【新規登録者数】683名【就職決定者数】113名(うち市内企業への就職決定者数48名)【相談件数】666回 【セミナー回数】94回【イベント回数】2回(内訳:HW布施との共催1回、東大阪市主催1回←詳細は以下) ※就活応援イベント合同企業説明会「カフェトーク」…合同企業説明会、企業プレゼンテーション、セミナー、適職診断ブース、企業PRコーナー、キャリア相談コーナー等を実施。 (日時)平成30年2月7日(水) 11:00～16:00 (場所)グランフロント大阪 うめきたSHIP2階 (参加企業数)10社 (参加者数)39人(うち19歳以下:2人、20歳代:25人、30歳代10人、40歳代:2人) ○その他特記事項 HW布施との共催で、『JO部活』を合計2回実施。以下概要。 ※『チームで就活』をテーマに仲間とともに就活。HW布施とファクトリー双方でバックアップし、就職に結び付ける。合計2回の【参加者数】は14名。そのうち【就職決定者数】は10名となり、大きな成果があった。				
改善すべき点											(改善すべき点①) 近頃、雇用情勢が好転し、求職者にとって、売り手市場の傾向にある中、モノづくり企業を始めとする市内企業の慢性的に続く深刻な人手不足を解消すること。 (改善すべき点②) ファクトリーは平成29年7月24日(月)のオープンから利用者の数値は右肩上がりに上昇しているが、メインターゲットである学生や卒業後3年以内の方を含む20歳代の若者とりわけ、男性を集客すること。				
平成30年度に向けた改善策											(改善すべき点①) 平成30年度からは市内企業の人材確保を支援するため、新たな取り組みとして、職場見学会を開催することで、就職希望者と人材を求める市内企業からのニーズを各々把握し、マッチングすることで、モノづくり企業を始めとする市内企業への就職に結び付ける支援に取り組む。 (改善すべき点②) 昨年度、20歳代の若者の集客に効果的であった『JO部活』等のイベントを実施したり、広報に関しても、20歳代の若者の集客を意識し、SNS等のツールを活用し、ファクトリー施設の誘導へ繋げていく。 事業をより効果的に実施するために、同じフロアにあるハローワーク布施や隣接する布施子育て支援センター「ゆめっこ」、その他関係機関との連携を一層強化し、若者や女性の市内企業への就労を促進していく。				

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	3

所属	労働雇用政策室
----	---------

実施計画事業名					モノづくり若年者等就業支援事業					平成29年度 目標達成度	C								
事業概要					若年者等に対し、モノづくり企業を中心とした就業の機会を提供する。合同企業説明会・面接会および就職セミナーの開催、就職情報誌の市内全戸配布、技能実習と企業での実習を組み合わせた「モノづくり人材育成塾」の開催等の事業を実施する。														
指標①					モノづくり人材育成塾により就職した人数							指標②					その他の就業支援により就職した人数		
指標の 説明・計算式										指標の 説明・計算式									
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度										
目標①	15人	15人	15人	C	目標②	35人	40人	45人	C										
実績①	11人	-	-		実績②	18人	-	-											
事業実績 (平成29年度)					・モノづくり人材育成塾 技術コース…技専校での基礎的な技術の習得と企業での実習を併せて実施し、モノづくり企業への就職につないだ。 (期間)平成29年10月2日～11月10日 (場所)大阪府立東大阪高等職業技術訓練校、実習受入協力企業 (参加者数) 14人 (就職者数) 11人 ・就活応援フェスティバル…就職必勝セミナーと求人企業・事業所合同説明会を併せて実施した。 (日時)平成29年9月8日 13:00～16:00 (場所)布施駅前市民プラザ「夢広場」 (参加企業数) 26社 (参加者数) 71人 (就職者数) 7人 ・「東大阪スタイル」の発行…モノづくり企業で働く若者や働く人の基礎知識、各所相談窓口等を紹介する冊子を発行し、市内全戸配布するとともに、主要高校、大学、公共施設等に配布した。 (発行日)平成29年8月15日 (発行部数) 202,000部 ・東大阪モノづくり企業合同就職面接会…モノづくり企業に限定した面接会を開催した。 (日時)平成30年2月9日 13:00～16:00 (場所)布施駅前市民プラザ「夢広場」 (参加企業数) 25社 (参加者数) 88人 (就職者数) 11人														
改善すべき点					ここ数年の求職者の売り手市場の中で、参加者数の減少が続いており、そのことにより就職者数も伸び悩んでいる。一方で、市内企業は人手不足に悩んでおり、イベントに参加した者が就職できる確率は高くなっている。このことから、参加者数を増やすことが重要な課題となっている。														
平成30年度に向けた改善策					今後もより積極的なPRに努める。														

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	25	4

所属	労働雇用政策室
----	---------

実施計画事業名					若者自立支援援助事業					平成29年度 目標達成度	D
事業概要					若者の自立のために訪問相談や仕事体験などの取り組みにより、ニート状態の方など、就労が困難な若者等の雇用・就労に向けた支援を行う。						
指標①		サポステ利用者のうち、就職に結びついた人数				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	200人	200人	200人	D	目標②						
実績①	95人	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		○若者自立支援援助事業…国の地域若者サポートステーション事業を受託している若者自立支援機関に、本来の相談業務とは別に、職場実習や各種セミナー、パソコン講座等の事業を委託し実施した。 (相談件数) のべ 2711件 (職場実習・各種セミナー・適性検査・PC講座) のべ 445人 (講演会(サポフェス)) 1回開催 39名 (卒業者向けセミナー) 6回開催 のべ28名 (進路決定) 95人(うち就職95人、その他(起業・自営等)0人)									
改善すべき点		若者自立支援事業については、求職者の売り手市場の中、新規の相談者数が減少し、進路決定数も減少している。総務省統計局の労働力調査で常に60万人台で推移していた若年無業者(ニート)の数が、平成28年度56万人、平成29年度54万人(速報値)と減少傾向にあることから明らかである。ただし、一人当たりの相談件数は増えている。今後も、新規相談者を増やすため積極的な掘り起こしを図る必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		今後も積極的なPRに取り組んでゆくとともに、就労への阻害要因が大きい相談者に対しては、よりきめ細やかな対応を受託事業者に求めて行く。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	23	1

所属	農政課
----	-----

実施計画事業名				農業啓発推進事業				平成29年度 目標達成度		A
事業概要				安全・安心な農産物を消費者に提供するために、大阪エコ農産物の生産を促進するとともに、市民・消費者の地元農業と農産物に対する関心を高めることで、地産地消の推進や農業の担い手の育成を支援する。						
指標①		事業参加者数			指標②					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	1,000人	1,000人	1,000人	A	目標②					
実績①	1,100人	－	－		実績②					
事業実績 （平成29年度）		ファームマイレージ運動の推進により、地場農産物に対する市民・消費者の購買行動に繋げ、大阪エコ農産物生産者数の増加をもたらしている。								
改善すべき点		ファームマイレージ運動の推進により、年々実績が上がっている。今後も実績が上がるように継続していく。								
平成30年度に向けた改善策		より一層、市民・消費者の地元農業と農産物に対する関心と理解を広め・高めることで、農地を守り農業を支えることに繋げていきたい。いも、The米づくりなどの啓発事業に多くの市民が参加できるように周知工夫をしていきたい。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	23	3

所属	農政課
----	-----

実施計画事業名		都市農業活性化農地活用事業					平成29年度 目標達成度			A
事業概要		農業団体や農家が行う農業者の振興・育成・活性化を図る事業、また、大阪エコ農産物の栽培を促進する取り組みに対して支援を行う。								
指標①		大阪エコ農産物栽培面積			指標②					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	1,400a	1,450a	1,500a	A	目標②					
実績①	2,847a	－	－		実績②					
事業実績 (平成29年度)		申請件数86件 補助金交付額31,134,000円								
改善すべき点		H29年度は目標を上回ったが、農家、耕作面積の減少が続いていることから、H30年に向けても実績が維持できるようにしていきたい。								
平成30年度に向けた改善策		農業の振興及び農地保全に繋がる様、都市農業活性化農地活用事業の啓発に努める。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	9	2

所属	福祉企画課
----	-------

実施計画事業名		公共施設再編整備事業(総合福祉センター再整備)							
事業概要		「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき、総合福祉センターに新たな貸し館機能を付加し、高井田老人センターおよび社会福祉協議会が入居する複合施設を再整備する。				平成29年度 目標達成度		A	
指標①		建物の改修			指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	工事完了	-	-	A	目標②				
実績①	工事完了	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)		平成30年3月27日をもって、工事が完了した。							
改善すべき点		-							
平成30年度に向けた改善策		-							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	16	2

所属	福祉企画課
----	-------

実施計画事業名					コミュニティソーシャルワーカー配置事業					平成29年度 目標達成度		B
事業概要					支援の必要な高齢者、障害者、子育て中の親などやその家族と、関係機関や専門的な相談先との間に立つて「つなぎ」の役割を果たすコミュニティソーシャルワーカーを各地域に配置する。							
指標①		個別相談延べ件数			指標②							
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式							
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度			
目標①	56,000件	56,000件	56,000件	B	目標②							
実績①	50,179件	－	－		実績②							
事業実績 (平成29年度)		・東大阪市内に2中学校区に1名の割合で、13名のコミュニティソーシャルワーカーを配置。 ・コミュニティソーシャルワーカー活動内容 相談件数(相談内容種別延べ件数) 50,179件、相談者数 1,227名、アウトリーチ 3,324件 リージョンセンター出張相談 各月1回、連絡会、研究会を各月1回実施 社会福祉協議会の地域担当職員と連携して東・中・西地域で地域福祉ネットワーク推進会議を開催。										
改善すべき点		積極的なアウトリーチによる支援、ネットワークづくりを行う。また、社会福祉協議会の地域担当職員との連携により、定期的にネットワーク推進会議を実施することにより、分野を超えた関係づくりを強化し、複合的な課題をもつ要援護者の支援につなげる。 また、生活困窮者自立支援法の施行や地域包括ケアシステムの構築に伴い、それぞれの実施主体との連携を深め、さらにきめの細かい対応をしていく必要がある。										
平成30年度に向けた改善策		増加する複合多問題ケースへの対応として、社会福祉協議会の地域担当職員との連携や、ネットワーク推進会議といった支援者間同士のネットワークづくりを強化し要援護者が抱える問題に迅速に対応していく必要や、子育て世帯への支援として学校関係者と連携して対応していく必要がある。										

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	16	3

所属	福祉企画課
----	-------

実施計画事業名		小地域ネットワーク活動推進事業				平成29年度 目標達成度		—	
事業概要		地域での見守りや支援が必要な方を対象に、地域住民と関係機関が協働で支え合う取り組みとして、声かけ・見守り活動などの個別援助活動や、ふれあい食事会、いきいきサロンなどのグループ援助活動を実施する。							
指標①		グループ援助活動延べ参加者数				指標②			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	105,000人	105,000人	105,000人	—	目標②				
実績①	未	—	—		実績②				
事業実績 (平成29年度)		29年度事業実績については、現時点で各校区からの報告が揃っていないため、未集計。							
改善すべき点		既ね各リージョン単位で配置している社会福祉協議会の地域担当職員が積極的に各校区の活動に参加し、協力することにより信頼関係を構築し、地域福祉ネットワークの基盤を構築しているが、地域によっては活動に参加する人に偏りがある場合や、活動の継続性等が課題となっている。							
平成30年度に向けた改善策		地域担当職員間での情報共有や、各地域で行われる取り組みに積極的に参加し他地域での取り組み紹介等を行う事で、地域での取り組みが活性化するような提案や仕掛けづくりを行う必要がある。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	20	1

所属	生活福祉室
----	-------

実施計画事業名					生活困窮者支援事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					生活保護に至る前の段階からの早期の支援を行う相談窓口を設置し、就労支援、緊急的な支援、家計再建支援などの事業を一体的に行うことで、生活困窮者の自立を支援する。						
指標①		初回の支援プランに就労または増収を含んだ人の就労または増収率				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	50%	55%	60%	A	目標②						
実績①	59%	—	—		実績②						
事業実績 (平成29年度)		本制度は平成27年度から施行されており、本市では相談体制を直営とし本庁8階に窓口設置した。複合的な問題に対し総合コーディネートすることで関係機関とも連携して相談対応することができた。支援後に保護世帯となる世帯に対しても、各福祉事務所保護課と協議し、繋ぐことで支援の継続性が担保できている。必須事業も任意事業も全ての事業を実施しており、就労支援、弁護士による債務整理相談、家計相談、学習支援等、各種メニューにより生活困窮者の自立支援に取り組むことができた。制度の改正など国の動向を注視して事業に取り組んでいる。									
改善すべき点		就労・増収を含めたプランを立てた件数が143件で、実際に就労・増収できた件数が85件であった。国全体の動向でもあるように失業率は減少しており、すぐに就労できる者は働けるが、何らかの理由で働けない者に対する支援の充実が求められる。 生活再建ができることが事業全体の骨子であり、原点に基づいた支援が必要であるが、職員が兼務などで減少しており、苦しい状態にある。マンパワーの不足を人員配置で求めていくことが必要である。									
平成30年度に向けた改善策		事業の拡充について検討しているが、職員が減員しており、兼務しているものも多いため苦しい状態にある。マンパワーの不足を人員配置で求めていくことが必要である。また、マンパワー不足を事業の効率化などの工夫で補えるように努力する必要がある。制度改正について国の動向を注視し改善策を模索している。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	20	2

所属	生活福祉室
----	-------

実施計画事業名		生活保護の適正実施							
事業概要		生活保護における不正受給・不正請求の防止、医療扶助・介護扶助の適正化に努める。また、生活保護受給者の自立支援、就労支援の取り組みを更に推進する。				平成29年度 目標達成度		B	
指標①		母子世帯・その他世帯の稼働率			指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	40%	40%	40%	B	目標②				
実績①	38%	—	—		実績②				
事業実績 (平成29年度)		医療扶助適正化については、各福祉事務所に配置している医療扶助・介護扶助適正化推進員(嘱託職員)による医療扶助・介護扶助の点検も引き続き実施。また、医療機関等への個別指導などにより返還金を徴収した。また、後発医薬品の使用促進のため、各種取組みを実施し、医療扶助費を削減した。 就労支援においては、職員・専門嘱託員・委託業者が連携し、多様な支援メニューで就労支援を実施している。また、平成28年4月から生活保護受給者等を対象としたハローワーク窓口を東福祉事務所に開設し、中・東地区の就労支援を実施している。							
改善すべき点		医療扶助については、他法の活用や重複・頻回受診、向精神薬の重複など、指導を強化する必要がある。 就労支援については、ケースワーカーは稼働能力の把握に努める必要があるものの、就労支援に関する知識・ノウハウが不足しており、多様な支援メニューを使いこなせていない。							
平成30年度に向けた改善策		レセプトの分析データを基にした指導の強化と重複・頻回受診、向精神薬の重複については、より効果が上がるような運用を構築する必要がある。 就労支援については、生活困窮者自立支援制度における就労支援と一体的に実施することで効率的・効果的な事業展開を構築する必要がある。また、委託業者の就労支援メニューのさらなる活用を図る。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	19	1

所属	障害者支援室 障害施策推進課
----	----------------

実施計画事業名				障害者理解啓発事業				平成29年度 目標達成度		B
事業概要				障害の有無に関わらず、すべての人が互いに尊重し合い 支え合うために、障害のある人に対する正しい理解を深め るとともに、障害者差別解消法施行に基づき差別のない地 域をめざす。						
指標①		ふれあいのつどいの参加者数			指標②					
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	5,000人	5,000人	5,000人	B	目標②					
実績①	4,000人	-	-		実績②					
事業実績 (平成29年度)		平成29年11月18日に東大阪アリーナ・八戸ノ里公園において市内の障害者団体等を中心に構成する実行 委員会方式で「ふれあいのつどい」を開催し、障害に対する理解啓発に取り組んだ。12月の障害者週間に駅 頭(8箇所)で啓発グッズの配布等のキャンペーンを行った。								
改善すべき点		目標である5,000人に向け更によりよいイベントにできるよう検討・改善していく。								
平成30年度に向 けた改善策		今年度も障害者各団体等と連携をより密に行い、啓発活動に取り組み、幅広く障害者理解啓発を行う。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	19	2

所属	障害者支援室 障害施策推進課
----	----------------

実施計画事業名		障害者虐待の防止				平成29年度 目標達成度		A	
事業概要		障害者虐待の未然防止と早期発見に向けて、啓発活動および関係機関との連携を強化し、速やかな支援を行う。							
指標①		市民、関係機関向け講演会、研修会回数				指標②			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	4回	5回	6回	A	目標②				
実績①	6回	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)		H29.5.25・26 障がい者総合支援制度における指定事業者・施設集団指導 H29.8.29 東地域別会議 H29.10.27 事業者説明会 H29.12.16 市民後見人養成講座 H30.3.6 法人向け虐待研修会 H30.3.15 虐待防止講演会							
改善すべき点		平成29年度に虐待通報のあった件数は増加しており、今後も集団指導や会議の機会を捉えて啓発活動を行っていく必要がある。また、法人向けの研修会を企画していく。							
平成30年度に向けた改善策		平成30年度のテーマが「研修の企画、内容の検討」である大阪府虐待ワーキングへ参加する。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	18	1

所属	高齢介護室 高齢介護課
----	-------------

実施計画事業名		地域支え合い体制づくり事業				平成29年度 目標達成度		B	
事業概要		高齢者が住み慣れた地域や自宅でできるだけ生活が続けることができるよう、公的サービスの枠を超えて、地域住民や企業が協働し取り組む「互助」の仕組みづくりを推進し、地域包括ケアシステムを構築する。							
指標①		ワンコインサポート事業における地域安心生活サポーター（援助会員）登録者数				指標②			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	600人	650人	700人	B	目標②				
実績①	573人	-	-		実績②				
事業実績 （平成29年度）		平成29年度実績 援助会員登録者数：573人 利用会員数：985人 利用件数：875件 利用回数：2,157回 （平成30年3月31日現在）							
改善すべき点		平成29年度の援助会員数が、37名増加の573人と目標の600人を達成できなかった。							
平成30年度に向けた改善策		引き続きワンコイン生活サポーター養成の講座を開催し、援助会員を増加を図る。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系					所属 高齢介護室 地域包括ケア推進課				
部	節	取り組みのあらまし							
3	18	1							

実施計画事業名		地域包括支援センターの機能強化				平成29年度 目標達成度		A	
事業概要		地域包括ケアの中核機関である地域包括支援センターが、高齢者の一番身近な相談機関としての役割を果たせるよう、機能強化を進める。							

指標①	地域包括支援センター運営事業による相談件数				指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	36,300件	36,600件	36,900件	A	目標②				
実績①	45,540件	-	-		実績②				

事業実績 (平成29年度)	・地域包括支援センター(市内22カ所)における相談件数 約45,540件(見込み) ・地域包括支援センター運営協議会 3回開催 (学識経験者を含む委員が事業の実施状況の点検や運営改善に必要な点の提示などを行う) ・地域ケア会議(東大阪市包括的支援事業実施要綱第7条に基づき実施) ①個別支援策検討会議 594回開催 (支援困難ケースについて、関係者が集まり支援策を検討するもの。担当の地域包括支援センターが開催、運営する。) ②高齢者生活支援等会議(第2層協議体) 計70回開催 (生活支援等にかかる課題やニーズ、社会資源などに関する情報共有を図るもの。地域包括支援センター担当地域で協議体ごとに開催される。事務局は担当地域の地域包括支援センター。) ③企画運営会議 12回開催 (地域ケア会議全体の運営を話し合うもの。事務局は基幹型地域包括支援センター。) ④機関等代表者会議(第1層協議体) 1回開催 (機関等の代表者が地域ケア会議の活動状況を把握し、機関間の調整を図る。事務局は基幹型地域包括支援センター。)								
改善すべき点	高齢者を取り巻く環境が複雑になってきていることから、支援困難ケースの支援のため今後も関係機関との連携強化が必要となる。総合的・効果的に高齢者の生活を支えられるような地域包括支援センターの機能強化と地域ケア体制づくりの推進が引き続き求められる。また、高齢者生活支援等会議などで抽出された社会資源の見える化や情報共有を進めるとともに、各地域包括支援センターで単位地域ケア会議の開催に向け取り組む必要がある。								
平成30年度に向けた改善策	今後も、より多くの支援の必要な高齢者に信頼される相談窓口となるよう、迅速・確実な相談支援に繋げ、より一層の機能の充実に努める。また、地域の関係機関・団体とのネットワークを強め、地域ケア体制づくりの推進を引き続き行う。								

平成29年度 事業管理報告書

重点事業

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	18	2

所属	高齢介護室 地域包括ケア推進課 健康づくり課
----	---------------------------

実施計画事業名					介護予防・日常生活支援総合事業					平成29年度 目標達成度	C
事業概要					地域で支え合う体制を整えることで、介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な実施による要支援者等への効果的かつ効率的な支援と、高齢者の更なる介護予防を促進する。						
指標①		地域介護予防活動支援・ 介護予防普及啓発事業参加者数			指標②						
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	35,000人	37,500人	40,000人	C	目標②						
実績①	26,429人	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		平成29年度介護予防・日常生活支援総合事業開始に伴い、要支援者の介護予防給付利用者が円滑にサービス事業へ移行できるよう、従来の介護予防基準に準じたサービス、また新たな事業の対象者の多様なニーズと多様な担い手の参入にも対応できるよう、基準を緩和したサービス、地域の支え合いから成るボランティア等が実施するサービス等を創設した。 一般介護予防事業としては、口腔機能向上プログラムとして延べ362人、介護予防活動ボランティアリーダー養成講座として延べ188人(フォローアップ講座含む)、元気にトライ！ステップアップ教室として延べ364人(フォローアップ教室含む)、認知症予防教室として232人が参加。平成29年度より実施した楽らくトライ体操を活用した地域グループづくり事業には、全9コース、延べ604名(見込み)の参加があった。 地域包括支援センター・保健センター・老人センター・老人クラブにおいても介護予防教室やボランティア養成講座(延べ 24, 679人(見込み))を開催。									
改善すべき点		新たに創設したサービスについての事業参入や利用率向上のためより一層地域のニーズや実情の検証や事業の普及啓発が必要である。一般介護予防においては、高齢者の、取り組みたい、という意欲を引き出せるような事業の企画・実施を目指す。また、地域で継続して介護予防に取り組めるような事業の展開を目指す。既存の事業が連続性をもって活用できるよう、関係機関、担当者間の連携を図る。									
平成30年度に向けた改善策		・利用者と担い手への意見聴取、地域のニーズや実情の更なる検証 ・地域の担い手がやりがいを持って取り組めるサービス事業の展開 ・高齢者の、取り組みたい、という意欲を引き出せるような一般介護予防事業の企画・実施 ・地域で継続して介護予防に取り組めるような事業展開 ・事業の各関係機関、担当者間の連携									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	18	4

所属	高齢介護室 地域包括ケア推進課
----	-----------------

実施計画事業名				高齢者虐待防止事業				平成29年度 目標達成度		A	
事業概要				高齢者虐待について市民・関係機関への啓発、相談窓口の周知に努め、高齢者虐待の早期発見とすみやかな支援を行う。 また、認知症高齢者が虐待を受けやすいことから、認知症について理解を広める取り組みを進める。							
指標①		認知症サポーター数				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	27,000人	29,500人	32,000人	A	目標②						
実績①	33,601人	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		虐待疑い事案については、速やかに個別支援策検討会議を実施することが定着し、会議実績回数は増加した。その中で今後の課題・計画・方針を関係機関で共有することによって、目標達成度が明確になり、支援最終の整理が可能となった。虐待防止業務ガイドラインの活用により、関係機関で対応の方法や流れを共有できた。 緊急一時保護の居室(2施設3部屋)を引き続き確保し、対象者の安全確保を円滑に実施できた。 認知症により行方不明になることの対策としての認知症あんしん声かけ訓練を6か所で開催。 認知症サポーター養成講座のフォローアップ研修を実施。 SOSオレンジネットワーク登録者に早期身元確認のツールとなる見守りトライくんシールを配布。									
改善すべき点		虐待事案に適切に対応できる体制の整備。 さらなる関係機関との連携。 認知症サポーター養成講座フォローアップ研修の充実。									
平成30年度に向けた改善策		・虐待疑い事案については、速やかに情報を集約し、アセスメントを実施し高齢者虐待ネットワークにて関係機関と役割分担をし、問題の解決にあたる。また、正確な現状把握に努め進行管理をする。 ・一時保護対象者を精査し入所後の処遇検討が円滑に実施できるよう調整する。 ・認知症あんしん声かけ訓練のさらなる実施を目指す。 ・認知症サポーター養成講座のフォローアップ研修を実施し、サポーターの活動支援を行う。 ・SOSオレンジネットワークシステムの搜索実績の評価と見直し。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	18	4

所属	高齢介護室 地域包括ケア推進課
----	-----------------

実施計画事業名					認知症初期集中支援チーム事業					平成29年度 目標達成度		A
事業概要					認知症が疑われる方や認知症高齢者、その家族に対し、初期の段階で包括的・集中的な支援を行うことで、認知症患者やその家族の自立生活に向けたサポートを行う認知症初期集中支援チームを設置する。							
指標①		チーム設置数			指標②							
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式							
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度			
目標①	1チーム	1チーム	1チーム	A	目標②							
実績①	1チーム	-	-		実績②							
事業実績 (平成29年度)		平成29年7月1日より認知症初期集中支援チームを設置し事業開始しており、平成30年3月末までに35事例対応。地域包括支援センターとの連携により、医療や介護などの支援に繋がっていない認知症の方への早期の支援導入に寄与している。										
改善すべき点		医療や介護などの支援に繋がっていない認知症の方の、早期の把握。事業の周知。										
平成30年度に向けた改善策		認知症の早期から支援につなげるために、市民をはじめ関係機関に広く周知し、対象者の把握に繋げる。										

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	18	5

所属	高齢介護室 給付管理課
----	-------------

実施計画事業名		介護給付適正化事業				平成29年度 目標達成度		B	
事業概要		「第3期および第4期東大阪市介護給付適正化計画重要事業実施計画」に基づき、介護保険サービスの適正給付に努める。							
指標①		「東大阪市介護給付適正化計画重要事業実施計画」の計画目標達成率				指標②			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	100%	100%	100%	B	目標②				
実績①	95%	—	—		実績②				
事業実績 (平成29年度)		重要8事業である、要介護認定の適正化、ケアプランの点検、住宅改修の適正化、福祉用具購入・貸与調査、医療情報との突合、縦覧点検、給付費通知、給付実績の活用 of 事業のうち、要介護認定の適正化と住宅改修の適正化が達成率80%であった。それ以外は計画目標を達成した。							
改善すべき点		十分な職員体制がとれず、目標が一部達成できなかったため、職員体制の強化及び業務の効率化を図りたい。							
平成30年度に向けた改善策		適正化事業に係る職員体制を強化することにより、実施内容の充実を図る。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	2

所属	子ども見守り課
----	---------

実施計画事業名					児童虐待防止事業					平成29年度 目標達成度	B
事業概要					「東大阪市要保護児童対策地域協議会」を組織し、関係機関と連携して支援を行うとともに、要支援児童に関する支援内容を定期的に見直すことにより、児童虐待の再発と未然防止に努める。また子育て講演会の開催等を通じて、虐待防止に関する啓発活動を行う。						
指標①		虐待通告がなされた際の48時間以内に安全確認を行う件数割合				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	100%	100%	100%	B	目標②						
実績①	98%	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		虐待通告が子どもや保護者への支援に繋がることについて、広く周知するために啓発活動を行った。11月の児童虐待防止推進月間において、街頭キャンペーン、オレンジリボンウォーク、子育て講演会、関係機関へのポスター掲示、懸垂幕やのぼりの設置、公用車への啓発マグネットの貼付等を実施し、虐待の早期発見、防止に向けた啓発を行った。 また、虐待通告時のすみやかな安全確認と、要支援家庭への早期支援に努め、通告があつてからの迅速な対応を確保する観点から「48時間以内」の安全確認を目指し、夜間対応も積極的に行い、98%の実績となった。要支援家庭においては家庭訪問や電話・面談などで虐待に移行しないために細やかな支援を行った。									
改善すべき点		・児童虐待通告ダイヤル、通告義務のより一層の周知 ・48時間以内の安全確認を100%に近づける(24時間以内の確認を目指す)									
平成30年度に向けた改善策		・より早い段階での安全確認のためには夜間訪問が欠かせない。複数の職員での訪問が必要になってくるため、組織内の援助体制の見直しを行い、技術向上のための人材育成に努める。 ・子どもの所属する機関との連携をより一層進め、組織間格差を軽減し、早期発見、早期対応に努める。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	2

所属	子ども見守り課
----	---------

実施計画事業名				親子支援プログラム事業				平成29年度 目標達成度		D
事業概要				子育てに困難な要因を抱える保護者や子ども等を対象として、ファンフレンズプログラム、ペアレント・トレーニングおよびコモンセンスペアレンティング教室を開催することにより、養育力や子育てスキルの向上を図り、円滑な子育てを支援する。						
指標①		プログラム受講児童数				指標②				
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	400人	400人	400人	D	目標②					
実績①	0人	-	-		実績②					
事業実績 (平成29年度)		プログラムを実施するファシリテーターについて、133名更新。 日常の保育の中で、ファンフレンズのスキルを生かして実践している。								
改善すべき点		保育士の入れ替わりや認定こども園への移行などにより、例年通りにプログラムを進めていくための体制を整えることができず、プログラムの実施ができなかった。								
平成30年度に向けた改善策		各園の現状や体制を考慮しつつ、実施可能な園から取り組んでいけるよう努めていく。								

平成29年度 事業管理報告書

重点事業

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	3

所属	子ども子育て室 施設指導課
----	---------------

実施計画事業名					民間教育・保育施設整備事業					平成29年度 目標達成度		A
事業概要					子ども・子育て支援事業計画に基づき、幼保連携型認定こども園の施設整備、小規模保育事業の設置、既存保育所の増改築を行うことで、教育・保育の必要量を確保し、待機児童解消および育児環境を整備する。							
指標①		0歳児の新たな受入人数				指標②		1・2歳児の新たな受入人数				
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度			
目標①	18人	54人	6人	A	目標②	104人	129人	14人	A			
実績①	18人	-	-		実績②	104人	-	-				
事業実績 (平成29年度)		平成27年度からスタートした子ども子育て支援新制度の開始に伴い、教育・保育の必要見込み量の確保策として民間幼稚園からの移行による幼保連携型認定こども園および小規模保育事業の施設整備により122名の受け皿拡大を図った。										
改善すべき点		受け皿拡大のための施設整備を希望する法人の確保。										
平成30年度に向けた改善策		民間幼稚園からの幼保連携型認定こども園への移行や小規模保育事業の開設の際に、事業者が応募しやすいよう公募期間を長くする等要件を検討する。										

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	1

所属	子ども子育て室 子育て支援課
----	----------------

実施計画事業名					地域子育て支援センター事業					平成29年度 目標達成度		A
事業概要					子育て支援センターを拠点として、子育て中の親子がいつでも遊べる自由来館、親子教室、育児相談、子育て情報を提供し、地域の子育てネットワークの充実と、市内のどこでも子育て支援サービスが受けられる環境づくりを推進する。							
指標①		子育て支援センターの年間延べ利用者数				指標②						
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度			
目標①	105,000人	105,000人	105,000人	A	目標②							
実績①	127,642人	-	-		実績②							
事業実績 (平成29年度)		子育て中の親子の居場所づくり、仲間づくり、子育てに関する情報を発信する拠点施設として、子育て支援センターの役割は、益々大きくなってきている。 産後すぐからの育児不安や負担感の大きさから0歳児、1歳児を連れた保護者の利用が増えている。その中で丁寧なかかわりを必要とする親子が増え、質的な面での役割も大きくなってきている。 遠くて、支援センターまで出てこれない人たちに、お出かけ保育を提供したり、地域の支援にかかわる機関や支援者のネットワーク構築のために子育て支援地域連携会議を開催している。 平成29年5月に布施子育て支援センターを開設した。商業施設内であり、土、日、祝日も開所しているので、利用者が非常に多い。										
改善すべき点		健全育成の場としての支援センターの役割だけでなく、近年増加しているグレーゾーン(丁寧なかかわりを必要とする親子に対しての支援、支援の場に出てこれない親子への支援等)については、子育てサポーター、保健センターとの連携が不可欠である。										
平成30年度に向けた改善策		関係機関との連携の体制を整備していく。										

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	1

所属	子ども子育て室 子育て支援課
----	----------------

実施計画事業名				地域子育て支援拠点事業				平成29年度 目標達成度		A
事業概要				つどいの広場を開設し、在宅で子育て中の親子が地域で孤立しないよう見守り、子育ての負担感を軽減できる居場所を提供する。また、一時預かり事業を実施し、子育て支援の充実を図る。						
指標①		つどいの広場の年間延べ利用組数				指標②				
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	41,000組	41,000組	41,000組	A	目標②					
実績①	41,000組	－	－		実績②					
事業実績 （平成29年度）		子育て支援の場が少なかったD地域に、平成29年度、新しいつどいの広場が増え、18ヶ所となった。 より身近な場所に気軽に集える場所が増えたことで、0歳1歳の低年齢児を持つ保護者の利用が増えている。								
改善すべき点		市内に18ヶ所のつどいのい広場を開設し、子育て中の親子が身近な場所で、気軽に集える場を提供しているが、より利用者のニーズを把握し、中味の充実を図る。								
平成30年度に向けた改善策		子育て中の親子がより身近に気軽に集え、交流したり、相談できる場の充実を図る。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	3

所属	子ども子育て室 子育て支援課
----	----------------

実施計画事業名		子育て支援情報アプリの配信				平成29年度 目標達成度			
事業概要		市ウェブサイトと連動した、子育て支援にかかる情報(イベント・施設・手続き等)を提供するスマートフォン向けアプリを導入し、在宅の子育て世帯に対して、子育て支援施策の普及を図る。							
指標①		アプリダウンロード数			指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	-	1,500	1,500		目標②				
実績①	-	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)		・プロポーザルにて開発業者を選定し、導入業務を委託。H30年3月より配信を開始した。 ※H30年3月31日時点でのダウンロード数 iOS:842 Android:420 合計:1,262							
改善すべき点		・ダウンロード数を増やすための周知及び広報 ・より一層の機能拡充							
平成30年度に向けた改善策		・周知のため、子育て関連施設等と協議し、ちらしの配布を依頼 ・開発及び保守を依頼している業者と協議し、保守の範囲内での機能強化や追加を検討							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	3

所属	子ども子育て室 子育て支援課
----	----------------

実施計画事業名		出産記念品事業				平成29年度 目標達成度			
事業概要		生まれてきた赤ちゃんのお祝いとして、出産記念品を贈呈する。							
指標①		贈呈率			指標②				
指標の 説明・計算式		贈呈品を渡した数／生まれた赤ちゃんの数			指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	－	－	100%		目標②				
実績①	－	－	－		実績②				
事業実績 (平成29年度)		出産記念品の検討。							
改善すべき点		スケジュール管理を明確にしていく。							
平成30年度に向 けた改善策		・他部局とも連携し、記念品を配布するだけでなく、地域の活性化に繋がる提携等も模索していく。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	3

所属	子ども子育て室 子育て支援課
----	----------------

実施計画事業名		利用者支援事業				平成29年度 目標達成度		D		
事業概要		子育て支援事業の情報提供、また子どもや保護者の相談・助言を行う子育てサポーターを地域住民の身近な場所へ配置することで、子育て世帯の支援を行う。								
指標①		子育てサポーター 配置箇所数			指標②					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	7箇所	7箇所	7箇所	D	目標②					
実績①	3箇所	-	-		実績②					
事業実績 (平成29年度)		・各福祉事務所に子育てサポーターを配置し、情報提供や相談支援を行い、子育て支援に係る施設や事業等の利用につなげることが、一定できている。								
改善すべき点		・より身近な場所で利用できる環境を整備していく。 ・関係機関との更なるネットワークの構築をしていく。								
平成30年度に向けた改善策		・関係機関との連携の体制を整備していく。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	3

所属	子ども子育て室 子育て支援課
----	----------------

実施計画事業名				リフレッシュ型一時預かり保育のお試し券配布事業				平成29年度 目標達成度		C
事業概要				子どもが生まれた世帯に一時預かり保育のお試し券を配布してサービスの利用を促進することで、養育者が育児から離れリフレッシュできる環境を整備する。						
指標①		制度実施の進捗				指標②				
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	制度の構築	制度の構築	運用の開始	C	目標②					
実績①	制度の構築・検討	—	—		実績②					
事業実績 (平成29年度)		・受け皿となる一時預かり事業実施施設の検討								
改善すべき点		・新たな実施施設としては1箇所のみとなっており、更なる拡大が必要								
平成30年度に向けた改善策		・需要量と供給量の把握に努め、実施できる可能性を模索していく								

平成29年度 事業管理報告書

重点事業

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	1

所属	保育室
----	-----

実施計画事業名					地域子育て支援センター整備事業					平成29年度 目標達成度		A
事業概要					F地域およびA地域において、子育てネットワークの中核となる子育て支援センターの整備を推進する。							
指標①		子育て支援センター整備事業の進捗状況					指標②					
指標の説明・計算式							指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度			
目標①	F地域の開設 A地域整備場所の決定	A地域 子育て支援センター設計	A地域 子育て支援センター工事	A	目標②							
実績①	F地域の開設 A地域整備場所の決定	—	—		実績②							
事業実績 (平成29年度)		F地域に布施子育て支援センターを開設した。また、A地域の子育て支援センターの整備場所は、石切保育所跡地を活用することが決定した。										
改善すべき点		特になし										
平成30年度に向けた改善策		特になし										

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	3

所属	保育室
----	-----

実施計画事業名		公共施設再編整備事業（大蓮東小学校跡地整備）							
事業概要		学校規模適正化基本方針により統合となる大蓮東小学校跡地について、幼保連携型認定こども園、公民分館等が入居する複合施設として整備する。				平成29年度 目標達成度		A	
指標①		整備の進捗状況			指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	工事	工事	開設	A	目標②				
実績①	工事	－	－		実績②				
事業実績 （平成29年度）		・公立の就学前教育・保育施設再編整備計画に基づき、（仮称）大蓮こども園にかかる園舎等整備工事を実施 ※工期は、H29. 10. 31～H31. 1. 25（予定）							
改善すべき点		特になし。							
平成30年度に向けた改善策		平成30年度は、新たに（仮称）孔舎衛こども園において本体工事等を行う予定であるが、31年度途中に幼稚園として活用する等関係部局の協力が今後必要となってくる。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	3

所属	保育室
----	-----

実施計画事業名					公立教育・保育施設整備事業					平成29年度 目標達成度		A
事業概要					地域における教育・保育のセーフティネットと在宅での子育て支援施設としての役割を公立の就学前教育・保育施設が果たせるよう、公立の就学前教育・保育施設再編成整備計画に基づき、施設整備を進める。							
指標①		認定こども園の開設数			指標②							
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式							
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度			
目標①	3箇所	3箇所	5箇所	A	目標②							
実績①	3箇所	－	－		実績②							
事業実績 (平成29年度)		公立幼保連携型認定こども園である縄手南こども園及び小阪こども園を開園した。										
改善すべき点		特になし。										
平成30年度に向けた改善策		特になし。										

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	1

所属	地域健康企画課
----	---------

実施計画事業名					健康危機管理対策事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					市民の生命や健康の安全が脅かされる健康危機の発生予防に努めるとともに、発生時への備えとして設備の整備、職員への訓練を実施し、健康危機に向けての管理体制を整える。						
指標①		訓練・研修の実施回数					指標②				
指標の 説明・計算式							指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	2回	2回	2回	A	目標②						
実績①	2回	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		生駒断層帯を震源地とする大地震の発生を想定した「東大阪市総合防災訓練」に保健所は昨年に引き続いて、市内医師会、歯科医師会、薬剤師会とともに参加した。市立東大阪医療センターのDMAT隊や市消防局と初めて合同で訓練に参加するなど、災害時医療を担う市内関係機関間の連携の強化を図ることができた。 新型インフルエンザなどの新興感染症、エボラ出血熱等の再興感染症への対応力を向上させるため、防護服の着脱訓練を行い、感染症発生時における拡大防止に必要な知識及び技術の習得を行った。									
改善すべき点		ラグビーワールドカップの開催を控えた本市では、無差別テロのような不測事態発生への備え及び対応能力を充実させることが急務であるが、そのような訓練を行うことができなかった。感染症や自然災害などの従前の健康危機管理の枠にとらわれない、あらゆる健康危機事象への対応能力を向上させていく必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		不測事態発生に対する対応能力を向上させるための職員研修を実施する。また、医師会や病院等との医療関係機関等との協議を重ね、不測事態発生時に各機関が果たすべき役割の明確化を図っていく。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	14	1

所属	地域健康企画課
----	---------

実施計画事業名		小児初期救急広域運営事業				平成29年度 目標達成度		A	
事業概要		中河内医療圏の3市（東大阪市・八尾市・柏原市）が協力して圏内の協力病院に診療を委託することにより、夜間における小児初期救急時（入院を必要としない軽症者が対象）でも安心して受診できる体制を維持する。							
指標①		小児初期救急診療の実施日数				指標②			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	365日	365日	366日	A	目標②				
実績①	365日	－	－		実績②				
事業実績 （平成29年度）		中河内医療圏（東大阪市、八尾市、柏原市）において、各協力医療機関を八尾市及び東大阪市の休日急病診療所が輪番で診察を行い、全日・夜間の小児救急医療体制を確保した。							
改善すべき点		協力医療機関の追加確保等により、体制の充実が求められる。							
平成30年度に向けた改善策		体制の充実を図れるよう医療機関及び八尾市、柏原市に対して継続した働きかけを行う。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	14	1

所属	地域健康企画課
----	---------

実施計画事業名				休日夜間二次救急診療体制運営事業				平成29年度 目標達成度		A
事業概要				中河内医療圏の3市(東大阪市・八尾市・柏原市)が協力し、休日や夜間における二次救急時(初期救急の医療機関で入院や手術が必要と判断された救急患者等が対象)でも安心して受診できる体制を維持する。						
指標①		二次救急診療の実施日数				指標②				
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	365日	365日	366日	A	目標②					
実績①	365日	-	-		実績②					
事業実績 (平成29年度)		中河内医療圏(東大阪市、八尾市、柏原市)において、内科・外科等を標榜する全14医療機関(市内所在は9)により、365日の休日・夜間における二次救急診療体制を確立した。								
改善すべき点		協力医療機関の追加確保等により、体制の充実が求められる。								
平成30年度に向けた改善策		体制の充実を図れるよう医療機関及び八尾市、柏原市に対して継続した働きかけを行う。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	15	1

所属	食品衛生課
----	-------

実施計画事業名				食品の安全対策の強化				平成29年度 目標達成度		A
事業概要				平成32年4月の食品表示法完全施行に向け、市内の食品等事業者を対象に、変更内容の周知と国が義務化を目標としているHACCPの衛生管理手法の導入に向けて監視指導助言を実施し、食の安全性を確保する。						
指標①		大規模食中毒(患者数50人以上)の発生件数				指標②				
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	0件	0件	0件	A	目標②					
実績①	0件	-	-		実績②					
事業実績 (平成29年度)		本市管内食品関係営業施設延べ4282施設に対して監視指導を行う際に、食品表示に基づく表示及びHACCPの考え方に基づく衛生管理手法の義務化に係る周知指導等を実施。また、本市管内食品関係事業者よりの表示相談・指導を40件実施。								
改善すべき点		食品表示に基づく表示及びHACCPの考え方に基づく衛生管理手法の指導助言やには相当の知識や経験が必要と思われるが、本市においては、経験の少ない食品衛生監視員も多く、食品衛生監視員の研修を含めた資質向上が急務と考えられる。								
平成30年度に向けた改善策		引き続き本市管内食品関係事業者への食品表示に基づく表示及びHACCPの考え方に基づく衛生管理手法の義務化に係る周知指導等を継続するとともに、食品衛生監視員への内部及び外部研修により資質向上を図っていく。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	4

所属	環境薬務課
----	-------

実施計画事業名					感染症媒介蚊対策事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					ラグビーワールドカップ2019の会場である東大阪市花園ラグビー場が位置する花園中央公園等において、感染症の予防と拡大防止に努める。						
指標①		平成27年度感染症媒介蚊生息数と比較した割合				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	90%	70%	50%	A	目標②						
実績①	48%	—	—		実績②						
事業実績 (平成29年度)		「デング熱・チクングニア熱等蚊媒介感染症の対応・対策の手引き 地方公共団体向け」に基づき、花園中央公園等で、人囂法によるデング熱等を媒介する蚊の定期調査を実施した。加えて成虫蚊をさらに増加させないための幼虫対策として化学的防御を実施した。 蚊の捕獲数は平成27年度で1250匹であったのに対して、平成29年度では595匹に減少した。									
改善すべき点		ラグビーワールドカップ2019の開催に備えて、花園中央公園等周辺に多数存在する幼虫発生源をなくすことが重要になる。そのためには、施設管理者や住民等に対するさらなる啓発が必要となる。									
平成30年度に向けた改善策		人囂法は捕集成績に個人差が大きく現れるため、職員間の能力の差をなくすよう手技の向上を図る。また注意しないと感染する恐れがあるため、引き続き個人的防御を入念に実践する。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	2

所属	健康づくり課
----	--------

実施計画事業名					食育推進事業					平成29年度 目標達成度	－
事業概要					ライフステージに応じた食育の取り組みにより、参加者の「食を営む力」や「良い食習慣・適切な食生活」「豊かな人間性」を育み、健康増進、健康寿命の延伸につなげる。また、食育関係団体と情報を共有し、子どもから高齢者まで幅広い食育活動を効果的に実施する。						
指標①					指標②						
食育イベント回数					食育イベント参加者数						
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	1,310回	1,320回	1,330回	－	目標②	64,500人	65,000人	65,500人	－		
実績①	未	－	－		実績②	未	－	－			
事業実績 (平成29年度)		・食育推進ネットワーク会議の実施 2回 16団体 ・食育関係担当者連絡会議 2回 17課 ・食育推進イベント (実施回数・参加人数は集計途中)※5月末頃集計完了予定 ・食育関係担当課推進事業 (実施回数・参加人数は集計途中)※5月末頃集計完了予定 ・食育推進団体事業 (実施回数・参加人数は集計途中)※5月末頃集計完了予定 ・食育連携のための食育情報提供(学校園、高校、つどいの広場など幅広く第3次食育推進計画を配布) ・第3次東大阪市食育推進計画周知のための食育講演会や地域・学校園での講習会での啓発									
改善すべき点		市民が食育に関心を持ってもらえるように第3次東大阪市食育推進計画を周知する方法。学校園をはじめ、各関係団体・機関の食育担当者への周知と連携。									
平成30年度に向けた改善策		・小地域ネットワークなど地域の食の取組や保育園や学校園の子どもをはじめ、保護者や家族に対して、食育関係者と連携して事業を行い、次世代及び高齢者など幅広い世代の食育実践者の増加を図る。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	2

所属	健康づくり課
----	--------

実施計画事業名					健康トライ21啓発事業					平成29年度 目標達成度	B			
事業概要					第2次東大阪市健康増進計画「健康トライ21(第2次)」に基づき、健康に関する情報発信や環境づくりを実施するとともに、市民・関係機関・庁内関係部局で協働し、健康のまちづくりに取り組む。									
指標①					健康トライ21市民連絡会への参加者数							指標②		
指標の 説明・計算式										指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度					
目標①	1,500人	1,550人	1,600人	B	目標②									
実績①	1,367人	-	-		実績②									
事業実績 (平成29年度)					・健康トライ21啓発市民グループ(健康トライ21市民連絡会)の育成及び活動支援。 (市民グループ数:22団体1367人、新たに賛助グループとして加入した市民グループ:1団体23人) ・健康トライ21市民連絡会と協働で、健康増進事業「東大阪健康マイレージ」を新たに実施。(応募者:963人) 東大阪健康マイレージ:健診受診や健康教室参加等の健康づくりでポイントがたまり、抽選等で賞品が当たる事業 ・東大阪市民ふれあい祭り(5月)、希来里ファミリーまつり(8月)、健康フェスタ(11月)、けんこう運動見本市(12月)、各種 イベントにおいて、市民グループと協働で健康づくり啓発活動を実施。 ・各種強化月間・週間(禁煙週間(5月)、肝臓週間(7月)、健康増進普及月間(9月)、がん制圧月間(10月)、女性の健康週間(3月))に啓発活動の強化及び関連健康教室等を実施。 ・生活習慣病の重症化予防事業を実施。 ・既存の保健所保健センター事業の中で啓発を実施。									
改善すべき点					・東大阪健康マイレージ事業を継続するにあたり、より多くの市民が取組めるようにしていく必要がある。 ・健康トライ21市民連絡会に加入する団体の拡大に取組んでおり、健康トライ21の目的や活動内容を知り口コミ等で普及活動に取組む市民が増えるよう、さらなる周知の必要がある。									
平成30年度に向けた改善策					・東大阪健康マイレージについては、周知配布方法の再検討や保険管理課と連携して実施。 ・健康トライ21市民連絡会加入団体の拡大に向けて、様々な機会を活用してPRするとともに保健センターで新たな市民グループの立ち上げを念頭に事業展開を実施。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	3

所属	健康づくり課
----	--------

実施計画事業名					アルコール健康障害対策事業					平成29年度 目標達成度		A
事業概要					アルコール健康障害対策基本法に基づき、専門医療機関や自助グループ等と協働して、アルコール健康障害を有する、もしくはその可能性のある市民に対し、正しいアルコール依存症治療等の知識の習得を支援するとともに、相談体制の整備を行う。							
指標①		自助グループ・専門医療機関・地域関係機関との連携事業の参加人数			指標②							
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式							
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度			
目標①	1,000人	1,050人	1,100人	A	目標②							
実績①	1,124人	-	-		実績②							
事業実績 (平成29年度)		・東大阪市アルコール関連問題会議開催(年11回参加者236名) ・医療従事者対象「日常診療に潜むお酒の問題」講演会開催(1回68名) ・中河内、大阪地区行政、医療及び関係機関スタッフと断酒会との懇談会(1回26名) ・東大阪市ふれあい祭りや市民健康フェスタ等でのアルコール関連問題コーナーの設置による普及啓発及びアルコール飲み方チェック(AUDIT)実施(124名)。 ・大阪府アルコール関連問題啓発フォーラムで啓発ブースを出展し、啓発リーフレット『ひあかもか通信』等配布(1回300名)。 ・急性期医療におけるアルコール関連問題を考える集い(1回39名) ・東大阪断酒会例会(14回247名)、AAミーティング(3回27名) ・精神保健福祉相談(実57名) ・ひあかもか通信第20号「アルコール関連問題関係機関マップ」の作成・配布。消防や警察にも配布先を拡大。 ・アルコール関連問題啓発週間における啓発。										
改善すべき点		・自助グループのメンバーによる「体験談」をより多くの方に届ける工夫が必要である。 ・地域密着の活動だけに留まらず広域的な啓発活動も必要である。										
平成30年度に向けた改善策		・単独の啓発活動だけでなく、他の事業やイベントにも積極的に参画する。 ・大阪府アディクションセンター加盟団体などより幅広い機関と広域に効果的な啓発活動を行う。										

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	3

所属	健康づくり課
----	--------

実施計画事業名					健康増進事業（がん検診）					平成29年度 目標達成度	C
事業概要					「健康増進法」に基づき、概ね40歳以上の市民を対象に各種がん検診を実施し、早期発見・早期治療につなげるとともに、受診率向上のため健保組合等の保険者と連携する等で啓発を行うとともに市民が受診しやすい環境づくりを進める。						
指標①		大腸がん検診受診率				指標②		乳がん検診受診率			
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	19%	20%	21%	C	目標②	26%	27%	28%	C		
実績①	15%	－	－		実績②	20%	－	－			
事業実績 （平成29年度）		・がん検診受診率 胃がん検診13.5% 子宮がん検診22.9% 肺がん検診14.4% 乳がん（マンモグラフィ）検診19.9% 大腸がん検診15.0% ・受診率は胃がん検診・子宮がん検診・乳がん検診はが28年度と比較し減少、肺がん検診・大腸がん検診は上昇。 ・健康教育におけるがん検診の啓発 147回 3949人 ・特定健診（国保）とがん検診のセット検診（休日）：2回 休日の乳がん検診（集団）：2回 ・特定健診（協会けんぽ）と乳がん検診のセット検診：4回 ・胃がん検診（内視鏡検査）を1月から開始									
改善すべき点		・受診率は胃がん検診、子宮がん検診、乳がん検診は28年度と比較し、減少しており、受診率の向上に向けて、啓発や個別勧奨がさらに必要である。 ・関係機関と連携し、特定健診とがん検診の同時受診の機会を増やすと共に、保健センター事業やイベント等の機会を利用して引き続き啓発を行っていく必要がある。 ・より効果的な個別勧奨の工夫を検討する。									
平成30年度に向けた改善策		・平成30年1月から開始した、胃がん検診（内視鏡検査）とあわせて特定健診やがん検診の啓発活動を保健センター事業やふれあいまつり、校区フェスタなど地域のイベント等で実施し、受診率向上を図る。 ・今年度は、大腸がん検診未受診の方の内、罹患率の上昇する年齢層（50, 55, 60, 65歳）と子宮がん検診未受診の方の内、30歳に個別受診勧奨を行ない、受診率向上を図る。 ・特定健診と個別のがん検診のセット検診の機会を増やすよう関係課と連携し、医療機関に働きかける。 ・特定健診（協会けんぽ）と乳がん検診のセット検診を継続し、受診と啓発の機会を増やす。 ・要精検者の受診率の向上に努める。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	13	6

所属	健康づくり課
----	--------

実施計画事業名					自殺予防対策事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					自殺や精神疾患に対する正しい知識の普及により、うつ病の早期発見・治療などに取り組むとともに、自殺危機にある人に気づき、適切な支援機関などへつなぐ「ゲートキーパー」の養成や自殺対策のための地域ネットワークを構築し、総合的な自殺対策を推進する。						
指標①		自殺予防ゲートキーパー養成研修累積修了者数				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	1,600人	1,700人	1,800人	A	目標②						
実績①	1,602人	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		・自殺予防ゲートキーパー養成研修(①市民19名②介護支援専門員46名③福祉関係機関職員47名)(3回合計112名) ・高齢者対象「ストレス」に関するメンタルヘルス研修出前講座(1回19名) ・働く世代対象「ストレスマネジメント」講演会開催(1回47名) ・市民対象「アンガーマネジメント」講演会開催(1回34名) ・市民健康フェスタにおいてストレスチェック実施(124名) ・自殺未遂者相談支援事業(相談実人数35名、相談延件数223件) ・自殺対策予防部会開催(3回) ・自殺予防のための地域ネットワークづくりを目的に市内医師会会員を対象に市内精神科病院見学会開催(1回3名) ・保健所、保健センターでの各教室や地区活動、検診事業におけるメンタルヘルス講話(135回1377人)									
改善すべき点		・今まで以上に自殺予防の知識があるゲートキーパーを増やしていく必要がある。 ・より効果的な自殺予防啓発講演会を開催する必要がある。 ・より地域のニーズに対応した自殺対策計画策定を行うため、これまで以上に幅広い機関等との連携が必要である。									
平成30年度に向けた改善策		・さらなる自殺予防のゲートキーパー養成のため、受講対象者の拡大が必要である。また、他の事業やイベントなど、積極的に機会を見つけてゲートキーパー養成研修を行う。 ・地域自殺実態プロファイルを検証し、対象者や目的を絞り込むことによりより効果的な啓発事業につなげる。 ・自殺対策計画策定に向けた会議に幅広い機関等の参画を求める。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	18	2

所属	高齢介護室 地域包括ケア推進課 健康づくり課
----	---------------------------

実施計画事業名					介護予防・日常生活支援総合事業					平成29年度 目標達成度		C
事業概要					地域で支え合う体制を整えることで、介護予防・日常生活支援総合事業の円滑な実施による要支援者等への効果的かつ効率的な支援と、高齢者の更なる介護予防を促進する。							
指標①		地域介護予防活動支援・介護予防普及啓発事業参加者数				指標②						
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度			
目標①	35,000人	37,500人	40,000人	C	目標②							
実績①	26,429人	-	-		実績②							
事業実績 (平成29年度)		・介護予防事業：①介護予防普及啓発事業207回、5,864人 ②地域介護予防活動支援事業127回、2,616人 ①のおもな実績：認知症予防講演会(215人)、認知症予防のための「健脳エクササイズ」の一般市民向け講習会(119人)、健脳エクササイズサポーター講座(2回54人)、「けんこう運動見本市」(130人。老人センター、基幹型地域包括支援センター、地域包括ケア推進課、保健所保健センター等協働開催。介護予防ボランティアグループ紹介冊子の改訂・配付) ②のおもな実績：「健康トライ21市民連絡会」を保健所において実施し、「健推会」や「きらり講習会」、「きらり役員会」、「トライ応援隊」等の活動を保健センターにて実施。 ・上記とは別に、「高齢者の民間スポーツ施設無料体験事業」の平成30年度の試行について、2施設と協定を締結。										
改善すべき点		・認知症とその予防についての関心が高まるなか、認知症予防講演会や、「健脳エクササイズ」の講習会、普及員支援講座には大きな反響があり、多数の市民が受講した。認知症についての理解を深め、その予防につとめることの必要性について普及啓発するため、引き続き事業を実施していく必要がある。今後も、地域において、または出前講座等で、認知症予防の普及啓発ができる人材を養成していけるよう、講習会や普及員支援講座を開催する予定である。 ・地域の介護予防拠点からの単発依頼が増加してきている。地域で効果的かつ継続的な介護予防活動を実施していけるよう、支援していく必要がある。 ・運動習慣のない高齢者を対象に、民間スポーツ施設無料体験事業を実施する。										
平成30年度に向けた改善策		・地域の介護予防拠点で地域住民が健脳エクササイズを継続していけるよう、前年度受講者を対象に、健脳エクササイズ講習会を実施する。また、新たな受講者も募集する。 ・地域の介護予防拠点からの単発依頼の際には、健康づくりのための運動等を継続できるよう、動機付けや支援をおこなう。 ・運動習慣のない高齢者を対象に、民間スポーツ施設無料体験事業を試行し、その結果をふまえて平成30年秋以降の本格実施をめざす。										

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	2

所属	母子保健・感染症課
----	-----------

実施計画事業名					妊婦健康診査・産後健康診査					平成29年度 目標達成度	B
事業概要					妊婦健康診査や産後健康診査等の費用を助成することで、経済的負担の軽減を図り、安心して妊娠出産ができる環境を整備する。						
指標①		妊婦健康診査受診率				指標②		産後健康診査受診率			
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	100%	100%	100%	B	目標②	100%	100%	100%	B		
実績①	99%	—	—		実績②	94%	—	—			
事業実績 (平成29年度)		平成28年度より妊婦健康診査費用助成額を12万円に拡充し、新たに産後健康診査費用の助成を開始した。妊娠届出時に、専門職による面接や妊婦に対してアンケートを行っており、妊婦の状況を把握し、健やかな出産を迎えるために妊婦健診を受診するように指導している。またポスターやチラシ、ウェブサイトで啓発を行っている。産後健診についても同様に、産後の健康管理や産後うつの早期発見をするため受診の啓発を行っている。									
改善すべき点		妊婦健診については、受診率が高いものの、現状として未受診による飛び込み出産もある。また産後健診の受診率も妊婦健診の受診率ほどではない。									
平成30年度に向けた改善策		未受診のまま出産を迎えることのないよう関係機関と連携をとり、妊娠届出時の面接やアンケート、ポスターやチラシ、ウェブサイトなどを利用し引き続き妊婦健診受診を啓発する。また産後健診についても、産後の健康管理や産後うつの早期発見をするため、同様に啓発していく。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	17	2

所属	母子保健・感染症課
----	-----------

実施計画事業名				産後ケア事業				平成29年度 目標達成度		B
事業概要				市内の産後間もない母子で、家族から家事・育児等の援助がなく、育児や体調に不安のある方を対象に、委託施設において、心身のケアや育児手技の指導等を行う。						
指標①		利用者アンケートにより、育児不安が解消されたと回答した利用者の割合				指標②				
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	100%	100%	100%	B	目標②					
実績①	96%	—	—		実績②					
事業実績 （平成29年度）		29年度は、ショートステイ347泊、デイサービス449日の利用があった。利用者アンケートからも満足度が高いことを確認している。母子が産後ケアを利用することで、心身の回復がはかれ、授乳についてや赤ちゃんへの対応の仕方等を、専門スタッフから教えてもらうことができるため、悩みの解消や育児に自信がもてる等の効果が出ている。								
改善すべき点		本事業の認知度を高め、産後ケア事業を知らない人、事業名は知っているがサービス内容がわからず利用に至らない人がないよう、産後ケアが必要な人がもれなく利用できるよう啓発を行う。								
平成30年度に向けた改善策		産後ケアが必要な人に、もれなく本事業を周知し支援に繋げられるよう、丁寧に啓発を行う。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	15	3

所属	環境衛生検査センター
----	------------

実施計画事業名					環境衛生検査センター機器整備事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					感染症対策、環境調査、食品・環境衛生行政に必要な検査機能・精度を確保するため、分析機器などを計画的に整備する。						
指標①		購入進捗率				指標②					
指標の 説明・計算式		購入台数／予算措置台数×100				指標の 説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	100%	100%	100%	A	目標②						
実績①	100%	—	—		実績②						
事業実績 (平成29年度)		一部検査機器を増設することにより、増加する感染症、食中毒などの検査に迅速に対応する体制作りに努めました。									
改善すべき点		感染症、食中毒の発生しやすい時期などには、検査が集中するため、検査機能が不足する状態にあります。関連検査エリアの拡充をし、効率的に検査を行うための検査環境整備が必要です。又、環境衛生検査センターに整備されている多くの検査機器は、耐用年数を迎えおり、現在の検査機能を維持するため、機器の更新計画を遅延無く実行する必要に迫られています。									
平成30年度に向けた改善策		平成29年度に引き続き、感染症、食中毒の検査に必要な検査機能の拡充を行い、より迅速な検査が出来ることを目指します。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	15	4

所属	斎場管理課
----	-------

実施計画事業名					斎場整備事業					平成29年度 目標達成度	C
事業概要					将来の火葬需要の高まる時期に備え、(仮称)斎場整備推進計画を策定し、老朽化が著しい既存斎場施設の改修・整備等を計画的に進める。						
指標①		(仮称)斎場整備推進計画の進捗状況					指標②				
指標の 説明・計算式							指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	計画の 検討・策定	計画の推進	計画の推進	C	目標②						
実績①	計画の検討	—	—		実績②						
事業実績 (平成29年度)		斎場整備に関する庁内検討委員会の設置を行い、平成29年11月に検討委員会・幹事会の合同開催を行い、斎場整備方針(素案)を検討した。 また、長瀬斎場の整備手法に関することや、既存斎場の在り方・改修整備に関することなどについて、民間事業者からの意見を聴取するサウンディング調査を実施した。									
改善すべき点		長瀬斎場の煙突を平成30年度に解体を行うため、速やかに長瀬斎場の整備内容、整備手法の検討を進める必要がある。また、併せて、既存斎場の在り方についても検討を行い、(仮称)斎場整備方針を策定する必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		当面する課題である長瀬斎場の整備を行うにあたり、どのような整備内容、整備手法が効果的であるかを検討するため、サウンディング調査の追加対話という形で更なる調査を行い、速やかに(仮称)斎場整備方針を策定する必要がある。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	2

所属	環境企画課
----	-------

実施計画事業名				地球温暖化対策推進事業(民生家庭編)							
事業概要				民生家庭部門における温室効果ガス排出量を削減するため、個人住宅用の太陽光発電システムや燃料電池、ホームエネルギーマネジメントシステム、リチウムイオン蓄電池の設置補助を行うとともに、環境家計簿の普及啓発に取り組む。				平成29年度 目標達成度		C	
指標①		温室効果ガス削減量				指標②					
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	980t-CO2	980t-CO2	980t-CO2	C	目標②						
実績①	733t-CO2	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		具体的な削減実績 ・太陽光発電システム: 4.5kw(平均出力/世帯(29年度)) × 1,000kwh(平均発電量/kw) × 155件 × 0.509kg-CO2(関電H28実排出係数)=約355t ・エネファーム: 1028 kg-CO2(平均削減量/台) × 287件=約295t ・HEMS: 3,300 kg-CO2(平均排出量/世帯) × 0.1(省エネ効率) × 35件=約12t ・リチウムイオン蓄電池: 6kwh(平均容量/世帯) × 365日 × 0.509kg-CO2 × 64件=約71t ・環境家計簿: 集計中									
改善すべき点		・環境家計簿については、長年同じ世帯が取り組み続けており、削減効果が減ってきている。また平成28年度からの電力・ガス自由化に伴い、記入方法等の問い合わせが増えてきている。 ・太陽光発電については、売電価格の下落等が原因となり、導入が伸び悩んでいる傾向にあり、補助金申請件数が減少している。1件当たりの削減効果が大きいため、引き続き補助を行うが、太陽光以外の設備に対する補助を拡充するなど、温暖化防止に向けた対策が必要。									
平成30年度に向けた改善策		・東大阪地球温暖化対策地域協議会でも議論いただき、効率的・効果的手法を検証する。また家計簿紙様式には電力・ガス会社を変更した世帯のための記入方法の案内を掲載する。 ・効果の大きい太陽光の補助も行いつつ、他の設備に対する補助の拡充も検証したい。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	3

所属	循環社会推進課
----	---------

実施計画事業名				環境啓発推進事業				平成29年度 目標達成度		B
事業概要				市民を対象に環境全般に係る出前講座を実施するほか、校区自治連合会などを対象にごみ減量・リサイクルなどに係る説明会を開催するなど、関連団体と連携した啓発活動を進める。						
指標①		出前講座、説明会などの開催回数				指標②				
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	99回	105回	111回	B	目標②					
実績①	92回	-	-		実績②					
事業実績 (平成29年度)		・市内の学校園や自治会等を対象に環境教育出前講座を実施した。 幼稚園・保育所 1園1所 80人 市立小学校 39校(47回) 1,880人 ECOポスターコンクール 14校(他 留守家庭1クラブ) 452人 地域フェスティバル 25箇所 25,000人 一般 3団体120人								
改善すべき点		・実施要領に定める講座メニューのうち、特定の講座に依頼が偏っており、実施率が低い講座がある。 ・食品ロスが増加など多様な社会情勢の変化に対して、受講者の需要を満たせるメニューがない。 ・5月、6月に依頼が集中することや、実施できる職員数の減少など、環境部の事業実施体制が不十分になる場合がある。								
平成30年度に向けた改善策		・講座を利用したことがない学校園や団体にあてた個別周知を行い講座利用を促す。 ・食品ロスなど講座メニューを拡充し、多様な実施要望に対応できるよう工夫を行う。 ・環境教育実施にかかるマニュアルの作成など、実施体制の充実を図る。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	3

所属	循環社会推進課
----	---------

実施計画事業名					ごみ減量推進事業					平成29年度 目標達成度	—
事業概要					プラスチック製容器包装やペットボトルの分別収集、古紙類の集団回収の奨励など、ごみの減量とリサイクルを推進することにより循環型社会を構築する。						
指標①		資源化率				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	16.8%	18.0%	19.1%	—	目標②						
実績①	未	—	—		実績②						
事業実績 (平成29年度)		・集団回収量は11,178トンであり、前年度と比較して982トン減少した。集団回収1団体あたりの回収量が大きく減少している。									
改善すべき点		・分別収集の定着化を図るため、分別ルールの周知拡大を進めるとともに自治会未加入世帯などに分別排出を働きかけることで全市的に協力率を向上させる必要がある。 ・事業系廃棄物に含まれる古紙類を資源化するための新たな仕組みを検討する必要がある。 ・現在の収集区分のうち、特に排出ルールが守られない品目について今後の在り方を検討する必要がある。 ・集団回収未実施地域の解消するとともに既存団体の活動活性化を図る必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		・プラスチック製容器包装など分別ルールが分かりにくい品目について、啓発冊子を活用した協力率向上の取り組みを図る。 ・地域自治会との連携を強め、資源やごみの排出状況が悪いポイントのパトロールやチラシなどを用いた戸別啓発等により、これまで以上に地域に密着した取り組みを進める。 ・集団回収未実施地域への働きかけ、雑がみ回収を推進する。 ・キャラバン回収(小型家電、蛍光灯、乾電池など)の積極的な実施。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
3	16	5

所属	環境事業課
----	-------

実施計画事業名					ふれあい収集事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					ごみ出しが困難な高齢者または障害のある人の在宅生活を支援するため、個別訪問による家庭ごみの収集や在宅医療廃棄物の収集を実施する。						
指標①		ふれあい収集および在宅医療廃棄物収集の新規申請受付件数				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	30件	35件	40件	A	目標②						
実績①	141件	－	－		実績②						
事業実績 (平成29年度)		・平成30年3月末現在、ふれあい収集実施件数は141件であった。									
改善すべき点		・特になし。									
平成30年度に向けた改善策		・昨年度から関係部局と連携して啓発を行ったが、更なる実施件数の増加を目的とした啓発を強化する必要があると考える。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	1

所属	環境事業課
----	-------

実施計画事業名					(仮称)環境センター整備事業					平成29年度 目標達成度		-
事業概要		4つの環境事業所および美化推進課を1つの施設に統合し、ごみの収集や資源化の拠点として(仮称)環境センターの整備を進める。										
指標①		整備の進捗				指標②						
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度			
目標①	-	事前調査実施	入札告示等	-	目標②							
実績①	-	-	-		実績②							
事業実績 (平成29年度)		・事業予算が計上されなかったため、実績なし。										
改善すべき点		・特になし。										
平成30年度に向けた改善策		・平成27年度に策定したセンター基本計画から規模を縮小した計画見直し業務を実施する。										

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	4

所属	環境事業課
----	-------

実施計画事業名		清掃車両整備事業				平成29年度 目標達成度		A			
事業概要		家庭ごみ、資源化物、不法投棄されたごみ等の収集・運搬作業の円滑化を図るため、清掃車両を計画的に更新する。									
指標①		更新車両台数			指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	7台	5台	5台	A	目標②						
実績①	7台	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		・更新を予定していた全ての車両について、更新を行った。									
改善すべき点		・特になし。									
平成30年度に向けた改善策		・特になし。									

平成29年度 事業管理報告書

重点事業

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	4

所属	美化推進課
----	-------

実施計画事業名					「みんなで美しく住みよいまちをつくる条例」の推進					平成29年度 目標達成度	C
事業概要					まちの美化と安全確保を図るため、歩行者に対して喫煙マナーの向上やまちの美化を働きかけ、「美しく住みよいまち東大阪」づくりに努める。						
指標①		禁煙マークタイル設置箇所数			指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	2箇所	2箇所	2箇所	C	目標②						
実績①	1箇所	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		・衣摺加美北駅前に「歩きたばこ禁止でっせ！」のマークタイルを設置した。									
改善すべき点		・既に布施駅、小阪駅、瓢箪山駅の周辺、さらに東花園駅前とスクラムロードにマークタイルを設置し、歩きたばこの禁止を啓発しているが、さらにこの設置箇所を増やしていく必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		・平成30年度中に俊徳駅前広場にマークタイルの設置予定。喫煙マナーの向上やまちの美化のため、さらにマークタイルの設置箇所を増やしていく。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	4

所属	美化推進課
----	-------

実施計画事業名					空き地対策推進事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					所有者や管理者が適正な管理をすべき空き地について、 市民等から管理不全の通報があった場合、所有者を調べ、 所有者に適正な管理を指導する。						
指標①		空き地の苦情処理解消率					指標②				
指標の 説明・計算式							指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	85%	90%	95%	A	目標②						
実績①	87%	－	－		実績②						
事業実績 (平成29年度)		・空き地の苦情 取扱件数 71件 解決件数 62件									
改善すべき点		・管理不全の空き地に、解決に至らない空き地もある中、その対応につき検討する必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		・空き地の管理は所有者の責任であり、生活環境保全のためにも、管理不全の空き地所有者に対しては、今後徹底してその是正を指導していくとともに、関係部局等にも協力を働きかけていく。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	6

所属	公害対策課
----	-------

実施計画事業名		公害対策事業（工場・事業場の規制指導）				平成29年度 目標達成度		B			
事業概要		市民の生活環境を保全するため、公害関係法令に基づき、工場・事業場へ規制や指導を行うとともに公害苦情処理や啓発により、公害の防止に努める。									
指標①		苦情解決率			指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	80%	80%	80%	B	目標②						
実績①	72%	－	－		実績②						
事業実績 （平成29年度）		苦情件数：314件（大気汚染73件、水質汚濁10件、土壌汚染0件、騒音139件、低周波0件、振動40件、地盤沈下0件、悪臭52件、その他0件） 解決件数：225件（大気汚染63件、水質汚濁4件、土壌汚染0件、騒音98件、低周波0件、振動27件、地盤沈下0件、悪臭33件、その他0件）									
改善すべき点		・特になし									
平成30年度に向けた改善策		・特になし									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	5

所属	東大阪都市清掃施設組合
----	-------------

実施計画事業名		清掃運搬施設等(運搬車両)整備事業					平成29年度 目標達成度		-
事業概要		焼却工場などに搬入されるごみを選別し、中間処理を円滑にするための重機などを更新する。							
指標①		計画進捗率			指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	-	100%	100%	-	目標②				
実績①	-	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)		平成29年度 実績無し ホイールローダ 8台 パワーショベル 1台 フォークリフト 4台 高所作業車 1台							
改善すべき点		特になし。							
平成30年度に向けた改善策		特になし。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	5

所属	東大阪都市清掃施設組合
----	-------------

実施計画事業名		基幹的整備工事				平成29年度 目標達成度		A			
事業概要		一般廃棄物の焼却を円滑かつ継続的に行うため、焼却施設を整備する。									
指標①		計画進捗率			指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	100%	100%	100%	A	目標②						
実績①	100%	—	—		実績②						
事業実績 (平成29年度)		○1号ボイラー第1・2旗形北側水管更新工事(H29. 5. 12～H29. 7. 31) ○2号ボイラー第1・2旗形南側水管更新工事(H29. 9. 15～H29. 11. 30) ○煙突基幹的整備工事(H29. 7. 4～H29. 12. 25) ○ボイラー水試料採取装置更新工事(H29. 9. 25～H29. 11. 30) ○上水高架タンク更新工事(H29. 9. 8～H29. 11. 17) ○排水処理設備塩酸貯槽更新工事(H29. 12. 1～H30. 3. 30) ○電灯分電盤内屋外照明用機器更新工事(H30. 1. 15～H30. 3. 30)									
改善すべき点		特になし。									
平成30年度に向けた改善策		特になし。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	5

所属	東大阪都市清掃施設組合
----	-------------

実施計画事業名		第三工場および破砕工場解体事業				平成29年度 目標達成度		A	
事業概要		第五工場竣工に伴い、不要となる第三工場の一部および破砕工場を解体する。							
指標①		計画の進捗				指標②			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	解体工事調査および設計等	解体工事	－	A	目標②				
実績①	解体工事調査および設計等	－	－		実績②				
事業実績 （平成29年度）		○第三工場閉鎖工事に係る設計業務 ○粗大ごみ破砕工場解体施工監理業務 ○粗大ごみ破砕工場解体整備工事 ○粗大ごみ破砕工場解体整備付帯工事及びその他工事							
改善すべき点		特になし。							
平成30年度に向けた改善策		特になし。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	32	5

所属	東大阪都市清掃施設組合
----	-------------

実施計画事業名		第六工場建設事業				平成29年度 目標達成度		A			
事業概要		第四工場の建替事業として、処理能力350t/日の焼却工場を建設する。									
指標①		計画進捗率			指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	100%	100%	100%	A	目標②						
実績①	100%	—	—		実績②						
事業実績 (平成29年度)		○第六工場配置可能性検討調査業務 ○第四工場精密機能検査業務 ○各種委員会報酬									
改善すべき点		特になし。									
平成30年度に向けた改善策		特になし。									

平成29年度 事業管理報告書

重点事業

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	28	1

所属	都市計画室
----	-------

実施計画事業名		立地適正化計画の策定(コンパクトシティ形成推進事業)				平成29年度 目標達成度		A	
事業概要		都市構造を分析し、職住近接と公共交通を連動させた、新たな土地利用の方向性を検討し、人口減少・高齢化社会に対応したコンパクトなまちづくりを推進するため、立地適正化計画を策定する。							
指標①		検討委員会および協議会等の開催回数				指標②			
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	3回	1回	－	A	目標②				
実績①	3回	－	－		実績②				
事業実績 (平成29年度)		東大阪市立地適正化計画の素案策定に向け、庁内の検討会を3回行った。							
改善すべき点		東大阪市立地適正化計画の最終案策定に向け、庁内の検討会を行う。							
平成30年度に向けた改善策		平成30年度は、地元説明会やパブリックコメントを行い、市民に対して素案の周知を行った上で、最終案の策定に向け庁内の検討会を行う。							

平成29年度 事業管理報告書

重点事業

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	28	1

所属	都市計画室
----	-------

実施計画事業名					良好な市街地形成推進事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					人口減少、住工共生、建物密集地など様々な課題を解決するため、都市計画制度を活用するとともに、土地利用の更新を促進させる施策等を展開する事により、安全で快適なまちづくりをめざす。						
指標①		地区計画および特別用途地区等指定箇所数			指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	1地区	1地区	1地区	A	目標②						
実績①	2地区	－	－		実績②						
事業実績 (平成29年度)		住工共生に向けた取組みとして、平成29年4月1日付けで、高井田中一丁目地区において、工場の集積と工場と住宅が調和して共存するまちづくりをめざし地区計画を策定した。また、水走・川田地区では、工場の集積と魅力的な工業機能の保全を図るため、特別用途地区(工業保全地区)を策定した。									
改善すべき点		住工共生に向けた取組みを今後も継続して検討する。									
平成30年度に向けた改善策		高井田中一丁目地区の地区計画と水走・川田地区の特別用途地区(工業保全地区)をモデルケースとして、その他の地区においても、地区の現状にあった住工共生のまちづくりをめざす。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	1

所属	みどり景観課
----	--------

実施計画事業名		駅前等公共施設緑化事業				平成29年度 目標達成度		C	
事業概要		誰もが花と緑に触れ合えるよう、駅前や公共施設などの緑化を推進する。							
指標①		整備箇所数			指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	2箇所	2箇所	2箇所	C	目標②				
実績①	1箇所	－	－		実績②				
事業実績 (平成29年度)		八戸ノ里駅南側フラワーポールの老朽化に伴い、10基撤去し、7基を再設置した。							
改善すべき点		過去に設置した大型プランターの老朽化が進んでいる。引き続き緑化施設の更新、増設を行っていく。							
平成30年度に向けた改善策		引き続き緑化施設の更新、増設を行っていく。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	2

所属	みどり景観課
----	--------

実施計画事業名					(仮称)緑化センター整備事業					平成29年度 目標達成度	C
事業概要					市民協働での緑化活動の推進や、市民に幅広く緑化に関する情報発信や情報交換ができる場として、(仮称)緑化センターを整備する。						
指標①		(仮称)緑化センター整備の進捗状況				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	工事	開設	－	C	目標②						
実績①	工事	－	－		実績②						
事業実績 (平成29年度)		植物育成管理広場の造成工事やインフラ整備、温室2棟の整備を行った。									
改善すべき点		平成29年度は(仮称)緑化センターの本体工事にはとにかかれず、植物育成管理広場の整備にとどまった。									
平成30年度に向けた改善策		都市公園法の改正も踏まえて、市民が集い有効活用できるような施設となるよう検討していく。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	3

所属	みどり景観課
----	--------

実施計画事業名		森林ボランティア育成事業				平成29年度 目標達成度		C	
事業概要		生駒山系の森林について市民等による森林整備や利活用を推進するため講座を実施し、森林整備や利活用を行う人材の確保と森林保全に関する啓発を図る。							
指標①		参加者数				指標②			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	80人	360人	360人	C	目標②				
実績①	50人	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)		森林ボランティア入門講座を計7回実施した。							
改善すべき点		より魅力的な講座内容を検討する等、より多くの方に参加していただく工夫が必要。							
平成30年度に向けた改善策		より魅力的な講座になるよう講座内容の見直しを実施する。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	30	3

所属	みどり景観課
----	--------

実施計画事業名		景観形成調査事業							
事業概要		景観条例に基づき景観形成重点地区候補の選定や指定のための調査を実施する。また、景観重要建造物および景観重要樹木の指定をめざすため、維持・改修等に対する助成制度を導入する。				平成29年度 目標達成度		A	
指標①		景観形成重点地区				指標②			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	地区指定に向けた啓発	地区指定に向けた啓発	地区を指定	A	目標②				
実績①	地区指定に向けた啓発	—	—		実績②				
事業実績 （平成29年度）		景観形成重点地区や景観重要建造物、景観重要樹木の指定に向け市民の方を対象にした広報、講演、アンケートを実施した。							
改善すべき点		景観形成重点地区候補の選定が出来ていない。 景観重要建造物、景観重要樹木の指定にあたり、対象物件に対する支援をおこなうための制度の確立が出来ていない。							
平成30年度に向けた改善策		東大阪市地域研究助成金事業を活用した地区指定の候補地調査と候補地における景観方針についての研究を実施する予定。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	1

所属	公共交通課
----	-------

実施計画事業名		大阪外環状線鉄道事業				平成29年度 目標達成度		B			
事業概要		広域鉄道ネットワークの形成による交通利便性の向上のため、おおさか東線を新大阪駅まで延伸する。									
指標①		事業進捗率			指標②						
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	90%	100%	－	B	目標②						
実績①	89%	－	－		実績②						
事業実績 (平成29年度)		平成31年春の開業を目指し、放出～新大阪間の軌道新設工事および駅舎の建築工事等を実施した。									
改善すべき点		特になし。									
平成30年度に向けた改善策		特になし。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	1

所属	公共交通課
----	-------

実施計画事業名		大阪外環状線新駅設置事業				平成29年度 目標達成度		B			
事業概要		市民の利便性の確保や地域の発展を目的とし、JR長瀬駅から新加美駅の駅間に新駅を設置する。									
指標①		事業進捗率			指標②						
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	100%	－	－	B	目標②						
実績①	99%	－	－		実績②						
事業実績 (平成29年度)		新加美～JR長瀬間新駅の駅舎工事を実施し、平成30年3月17日に開業した。									
改善すべき点		特になし。									
平成30年度に向 けた改善策		特になし。									

平成29年度 事業管理報告書

重点事業

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	1

所属	公共交通課
----	-------

実施計画事業名		大阪モノレール南伸事業							
事業概要		大阪モノレール南伸の早期事業着手に向けて、大阪府等の関係機関と協議を進める。また、駅前広場や乗継施設の整備などを含めたまちづくりについて検討を進める。				平成29年度 目標達成度		B	
指標①		モノレールの南伸の事業認可				指標②			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	駅前広場、乗継施設等の検討、都市・地域総合交通戦略の検討	本体事業および駅前広場等の都市計画決定、都市・地域総合交通戦略の検討	都市・地域総合交通戦略の策定	B	目標②				
実績①	駅前広場、乗継施設等の検討、都市・地域総合交通戦略の検討の実施	—	—		実績②				
事業実績（平成29年度）		大阪モノレール南伸の早期事業着手に向けて、駅前広場・乗継施設等の予備設計および東大阪市総合交通戦略策定の検討を実施した。							
改善すべき点		特になし。							
平成30年度に向けた改善策		特になし。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	28	2

所属	市街地整備課
----	--------

実施計画事業名		東大阪新都心(長田・荒本地区)のさらなる活性化の推進				平成29年度 目標達成度		A	
事業概要		大阪府や関係機関との連携を強化し、大阪モノレール南伸の動向を注視しながら、さらなる活性化のための検討や流通業務団地・地区の見直し等に向けた協議調整を行う。							
指標①		大阪府や流通業務団地事業者等との協議回数			指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	2回	2回	4回	A	目標②				
実績①	3回	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)		団地関係者及び大阪府と協議を実施した。							
改善すべき点		流通業務団地の見直しに向けての課題及び考え方について大阪府と協議を進めていく							
平成30年度に向けた改善策		関係者と協議を実施する。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	28	2

所属	市街地整備課
----	--------

実施計画事業名		布施駅前再開発ビルおよび周辺地域の活性化を促進				平成29年度 目標達成度		A	
事業概要		近鉄布施駅、布施駅前北口交通広場前の利便性に優れた再開発ビルを商業テナントや公共公益施設等としての集客拠点として利活用し、布施周辺の活性化をめざす。							
指標①		東大阪再開発株式会社との意見交換会の開催回数			指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	4回	4回	4回	A	目標②				
実績①	4回	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)		平成28年度 of ハローワーク開設に続き、平成29年度子育て支援センターの公共公益施設の開設に伴い、再開発ビルへの集客を更に高めるよう再開発(株)と協議を実施した。							
改善すべき点		特になし。							
平成30年度に向けた改善策		更なる集客を高め、布施周辺の活性化の寄与に向けて、市関係部局及び再開発(株)とともに検討、促進を実施する。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	2

所属	公園管理課
----	-------

実施計画事業名				公園緑化推進事業				平成29年度 目標達成度		A
事業概要				公園の緑化推進を図るために、公園愛護会、自治会と協議しつつ、各公園の状況に応じて、高木および花木の植栽を行う。						
指標①		植栽本数			指標②					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	500本	500本	500本	A	目標②					
実績①	992本	－	－		実績②					
事業実績 （平成29年度）		菱江北公園ヒラドツツジ300本、角田西公園シダレザクラ1本、市役所本庁跡公園カイヅカイブキ3本、若江本町第2公園ヒラドツツジ15本、大池公園ヒラドツツジ10本、上石切第2公園コクチナシ80本、八戸の里公園コクチナシ470本、花園東町公園サツキツツジ45本、善根寺第2公園キンモクセイ5本、ヒラドツツジ24本、柏田東第1公園ヒラドツツジ39本を12月～3月に植栽した。								
改善すべき点		特になし。								
平成30年度に向けた改善策		特になし。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	29	2

所属	公園整備課
----	-------

実施計画事業名					公園整備事業					平成29年度 目標達成度	B
事業概要					子供や高齢者が安全に利用でき、安心してすごせる街区公園、近隣公園の整備を行う。また、スポーツやレクリエーションの拠点となり、災害時には広域避難地としての防災機能も併せ持つ総合公園として、花園中央公園の整備を推進する。 ・花園中央公園整備事業 ・布施公園整備事業 ・新池島南公園整備事業 ・都市公園バリアフリー化事業 ・都市公園長寿命化対策支援事業						
指標①		公園の開設率(都市計画公園開設面積/計画面積)				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	77.9%	78.7%	82.8%	B	目標②						
実績①	77.5%	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		○花園中央公園整備事業・花園中央公園RWC 関連整備事業 用地買収2件 ○都市公園バリアフリー化事業 川俣公園・長田中公園・花園東町公園・実施設計									
改善すべき点		○花園中央公園の用地買収は大阪枚岡奈良線沿いを先行し、その後南側住宅地に着手する予定であるが、公園整備の完成には相当の費用と期間が必要である。また、ラビー場用地についても多額の費用を要する。 ○小学校区に最低1都市計画公園の開設を目指しており、早期に整備する必要があるが、公園整備における用地取得には多大な費用を要する。									
平成30年度に向けた改善策		○花園中央公園は引き続き用地買収事業を進め、より一層の国費要望に努める。 ○開設された都市計画公園の無い小学校区については、国の交付金制度等を模索しながら整備を進めていく。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	道路管理室
----	-------

実施計画事業名		道路ストック点検調査事業					平成29年度 目標達成度			A
事業概要		経年劣化による老朽化等が進行している道路ストック(道路構造物)を点検調査することで、計画的かつ予防保全的な修繕を実施し、道路ストック(道路構造物)の長寿命化を図り、安心安全な街づくりを推進する。(1)橋梁点検調査(2)道路照明灯調査(3)路面陥没調査								
指標①		橋梁の調査数				指標②		道路照明灯の調査数		
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	62橋	86橋	70橋	A	目標②	0基	675基	675基		
実績①	133橋	-	-		実績②	-	-	-		
事業実績 (平成29年度)		133橋の定期点検を実施。交付金の補正予算があったことから、平成30年度の点検予定の橋梁についても点検を行うことができた。								
改善すべき点		特になし。								
平成30年度に向けた改善策		特になし。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	道路管理室
----	-------

実施計画事業名		放置自転車追放推進事業					平成29年度 目標達成度		A
事業概要		駅前の放置自転車を追放し、歩行者などの安全および良好な景観を確保するため、啓発、指導および撤去を実施する。							
指標①		駅周辺の放置自転車台数			指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	1,100台以下	1,100台以下	1,100台以下	A	目標②				
実績①	636台	－	－		実績②				
事業実績 (平成29年度)		駅周辺の良好な生活環境の形成を図るため、放置禁止区域内に放置されている自転車等の撤去を実施した。							
改善すべき点		啓発指導活動の強化により、放置自転車のさらなる減少を図る。							
平成30年度に向けた改善策		現在の施策を継続して実施し、目標達成の継続を目指す。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	道路管理室
----	-------

実施計画事業名		自転車マナー向上等啓発事業				平成29年度 目標達成度		A		
事業概要		関係機関や市民との協働により「自転車マナーデー」等の啓発活動を実施し、交通ルールの遵守とマナーの向上を図る。								
指標①		「自転車マナーデー」の街頭キャンペーン実施回数			指標②					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	36回以上	36回以上	36回以上	A	目標②					
実績①	40回	－	－		実績②					
事業実績 (平成29年度)		「自転車マナーデー」の街頭キャンペーンを40回実施した。								
改善すべき点		キャンペーン実施場所の拡大。								
平成30年度に向けた改善策		駅周辺の自治会に負担が集中するため、関係者の理解を得つつ、啓発を継続していく。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	道路管理室
----	-------

実施計画事業名				違法駐車等防止事業				平成29年度 目標達成度		B
事業概要				「東大阪市違法駐車等の防止に関する条例」に基づき、重点区域である布施駅周辺を中心に、違法駐車等防止のための助言・啓発活動を行うとともに、流通業務地区内道路等の主として大型車の駐車対策を検討・実施する。						
指標①		違法駐車等の減少率(対平成9年度比)				指標②				
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	90%以上	90%以上	90%以上	B	目標②					
実績①	88%				実績②					
事業実績 (平成29年度)		布施駅周辺における違法駐車等を減らして安全・快適な生活環境につなげるため、違法駐車等の防止とその啓発の活動を実施し、違法駐車等減少効果を維持した。								
改善すべき点		啓発活動の周知により、効果の向上を図っていく								
平成30年度に向けた改善策		活動効果が上がるよう、土日以外における啓発活動を展開する。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	道路管理室
----	-------

実施計画事業名				交通安全運動推進事業				平成29年度 目標達成度		B
事業概要				「自転車マナーデー」を中心に、交通安全啓発に取り組む。特に、交通事故の原因となる迷惑駐車の追放、幼稚園・小中学生、高齢者に対する交通安全指導等を関係機関とも連携して実施する。						
指標①		交通事故発生件数			指標②					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	2,600件以下	2,600件以下	2,600件以下	B	目標②					
実績①	2,130件以下				実績②					
事業実績 (平成29年度)		学校関係合計172回(幼稚園及び保育所43回、小学校101回、中学校等28回)の交通安全教室を実施した。このうち中学校3校においてスクアード・ストレート方式(スタントマンによる交通事故疑似体験)を取り入れることで内容の充実を図り、交通安全意識の向上とともに交通事故件数減少の結果を得た。								
改善すべき点		スクアード・ストレート方式(スタントマンによる交通事故疑似体験)による交通安全教室を、より多く近隣住民にも周知することにより、効果的な啓発が図れるよう工夫したい。								
平成30年度に向けた改善策		スクアード・ストレート方式による交通安全教室を確実に実施してその周知を図り、市民の交通安全意識の一層の向上につなげたい。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	道路建設室
----	-------

実施計画事業名					橋梁修繕補強事業					平成29年度 目標達成度	C
事業概要					橋梁長寿命化修繕計画に基づき計画的に橋梁の修繕工事を実施すると共に、重要な橋梁について順次耐震補強を実施し、安全で安心な道路環境の確保を図る。						
指標①		整備進捗率				指標②					
指標の 説明・計算式		整備橋梁数/年度別計画橋梁数×100				指標の 説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	100%	100%	100%	C	目標②						
実績①	50%	—	—		実績②						
事業実績 (平成29年度)		橋梁長寿命化修繕計画に位置付けられた重要な橋梁のうち3橋の修繕補強工事を実施した。									
改善すべき点		市内に架かる橋梁の多くは老朽化し修繕工事が必要であるが、実施に必要な財源確保が最大の課題となっている。									
平成30年度に向けた改善策		国からの交付金を確保できるよう引き続き要望を実施していく。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	道路建設室
----	-------

実施計画事業名		市内一円道路改良事業				平成29年度 目標達成度		A	
事業概要		市が管理する道路の整備・改良を行う事で、交通の安全と円滑化や、市民生活の利便性・安全性・快適性の向上を図る。							
指標①		整備進捗率			指標②				
指標の説明・計算式		整備路線数/年度別計画路線数×100			指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②				
実績①	100%	—	—		実績②				
事業実績 (平成29年度)		市が管理する道路のうち2路線の道路改良工事を実施した。							
改善すべき点		特になし。							
平成30年度に向けた改善策		特になし							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	道路建設室
----	-------

実施計画事業名		市内一円側溝整備事業				平成29年度 目標達成度		A	
事業概要		認定道路等における路面排水機能の改善や道路幅員の有効利用を図るため、市内一円の側溝整備を実施し、生活環境の改善を図る。							
指標①		整備進捗率			指標②				
指標の説明・計算式		整備延長/年度別計画延長×100			指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②				
実績①	100%	—	—		実績②				
事業実績 (平成29年度)		市が管理する道路のうち延長175mの側溝整備工事を実施した。							
改善すべき点		特になし。							
平成30年度に向けた改善策		特になし。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	道路建設室
----	-------

実施計画事業名		東花園駅前広場および周辺道路整備事業				平成29年度 目標達成度		A	
事業概要		「ラグビーワールドカップ2019開催に向けて、近鉄東花園駅から花園中央公園までのアクセスルートの再整備を図る。							
指標①		進捗率			指標②				
指標の 説明・計算式		整備済み延長/計画整備総延長×100			指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	72%	85%	100%	A	目標②				
実績①	72%	－	－		実績②				
事業実績 (平成29年度)		東花園駅前交通広場(市道東花園駅前広場線)と市道東花園駅前線(延長220m)の道路改良工事を実施した。							
改善すべき点		特になし。							
平成30年度に向けた改善策		特になし。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	道路建設室
----	-------

実施計画事業名		市内一円舗装事業				平成29年度 目標達成度		A			
事業概要		市が管理する道路について破損した舗装箇所や老朽化した舗装の整備を行うことで、快適で安全な交通の確保や沿道住民の住環境の保全を図る。									
指標①		執行予算額／当該年度予算額×100				指標②					
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	100%	100%	100%	A	目標②						
実績①	100%	－	－		実績②						
事業実績 (平成29年度)		平成29年度舗装整備件数 63件 平成29年度舗装整備面積 42,748.0m2									
改善すべき点		特になし。									
平成30年度に向けた改善策		特になし。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	道路建設室
----	-------

実施計画事業名		私道舗装事業				平成29年度 目標達成度		C	
事業概要		私道の舗装整備を促進し、市民の良好な生活環境の確保を図る。							
指標①		執行予算額／当該年度予算額×100				指標②			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	100%	100%	100%	C	目標②				
実績①	79%	—	—		実績②				
事業実績 (平成29年度)		平成29年度舗装整備件数 21件 平成29年度舗装整備面積 4,276.1m2							
改善すべき点		私道舗装の助成制度について周知を図る。							
平成30年度に向けた改善策		私道舗装の助成制度について周知を図る。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	道路建設室
----	-------

実施計画事業名				交通安全施設整備事業(交通安全特別交付金)				平成29年度 目標達成度		A
事業概要				市内道路利用者の安全と円滑な利用を促進するため、交通事故の危険性が高い交差点等を中心に交通安全施設の整備やバリアフリー化の工事を行い、安全で円滑な道路の整備を図る。						
指標①		市内で発生した交通事故における人身事故件数の対前年度比				指標②				
指標の説明・計算式		当該年度人身事故件数/前年度人身事故件数				指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	1以下	1以下	1以下	A	目標②					
実績①	1	-	-		実績②					
事業実績 (平成29年度)		道路照明灯や道路反射鏡等の交通安全施設の設置や歩道端部の段差解消等のバリアフリー化の工事を実施した。								
改善すべき点		既存の交通安全施設の更新や補修に事業費を充てる必要があり、新規の安全対策やバリアフリー化の進捗が図れない。								
平成30年度に向けた改善策		費用対効果の高い対策を優先的に実施し、事業費内での効率的な安全対策の実施を図る。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	3

所属	道路建設室
----	-------

実施計画事業名					JR徳庵駅東側エレベーター設置事業					平成29年度 目標達成度		D
事業概要					JR徳庵駅東側連絡通路にエレベーターを設置し、バリアフリー化を図る。							
指標①		進捗率				指標②						
指標の 説明・計算式		実施済み事業費/全体計画事業費×100				指標の 説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度			
目標①	7%	16%	25%	D	目標②							
実績①	0%	—	—		実績②							
事業実績 (平成29年度)		事業進捗課題のひとつであった支障物件が、地元自治会により移転した。また、連絡通路の法定点検を実施した。										
改善すべき点		特になし。										
平成30年度に向けた改善策		関係者等と引き続き協議し、着実な事業進捗を図る。										

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	1

所属	街路整備室
----	-------

実施計画事業名		近鉄奈良線連続立体交差事業（府受託事業）				平成29年度 目標達成度		B	
事業概要		事業主体である大阪府より委託を受け、踏切の交通渋滞の解消や事故防止および分断された地域の一体的な整備と活性化を図る。							
指標①		用地取得進捗率			指標②				
指標の 説明・計算式		累計用地取得面積/全用地取得必要面積			指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	97.4%	100.0%	－	B	目標②				
実績①	96.3%	－	－		実績②				
事業実績 （平成29年度）		今年度は、用地買収ができなかった。用地買収に向けた物件調査を行った。							
改善すべき点		早期の用地買収に努める。							
平成30年度に向 けた改善策		事業区域内の各権利者の理解・協力のもと、早期に用地買収できるように努める。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	街路整備室
----	-------

実施計画事業名		街路整備事業				平成29年度 目標達成度		B	
事業概要		本市総合計画および社会資本整備総合計画に基づき、都市計画道路および都市計画駅前広場の整備を図る。							
指標①		実施中事業の進捗率				指標②			
指標の 説明・計算式		整備実績事業/計画整備事業費				指標の 説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	74.8%	75.7%	76.3%	B	目標②				
実績①	74.6%	—	—		実績②				
事業実績 （平成29年度）		都市計画道路俊徳道駅前広場の用地買収を実施した。俊徳道駅前広場、衣摺駅前広場及び太平寺上小阪線の一部築造工事を完了した。また、小阪稲田線の一部道路築造工事も着手している。							
改善すべき点		国からの交付金の配分が非常に厳しい状況であるため、事業費の確保と事業区域内の各権利者の理解・協力が必要である。							
平成30年度に向けた改善策		用地の買収については、公共用地先行取得事業特別会計を活用する。平成30年度は俊徳道駅前広場及び衣摺駅前広場を実施し、完成させる。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	街路整備室
----	-------

実施計画事業名					街路整備事業(大阪瓢箪山線(中央環状線～恩智川)・八尾枚方線)					平成29年度 目標達成度		B	
事業概要					大阪瓢箪山線(大阪中央環状線から恩智川まで)を大阪外環状線まで延長する。(事業に係る用地取得事務などを大阪府より受託)								
指標①		用地取得進捗率				指標②							
指標の説明・計算式		累計用地取得面積/全用地取得必要面積				指標の説明・計算式							
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度				
目標①	100%	—	—	B	目標②								
実績①	99.9%	—	—		実績②								
事業実績 (平成29年度)		用地買収が進捗しなかった。											
改善すべき点		早期の用地買収に努める。											
平成30年度に向けた改善策		事業区域内の各権利者の理解・協力のもと、早期に用地買収できるように努める。											

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	31	2

所属	街路整備室
----	-------

実施計画事業名		街路整備事業(大阪瓢箪山線(恩智川～外環))				平成29年度 目標達成度		-		
事業概要		大阪瓢箪山線(大阪中央環状線から恩智川まで)を大阪外環状線まで延長する。(事業に係る用地取得事務などを大阪府より受託)								
指標①		用地取得進捗率			指標②					
指標の説明・計算式		累計用地取得面積/全用地取得必要面積			指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	0%	6.1%	18.2%	-	目標②					
実績①	-	-	-		実績②					
事業実績 (平成29年度)		地元、地権者の説明会を開催。								
改善すべき点		国からの交付金の配分が非常に厳しい状況であるため事業費の確保が必要である。								
平成30年度に向けた改善策		国からの交付金の配分をもらえるように、大阪府に要望する。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	23	4

所属	河川課
----	-----

実施計画事業名		六郷水路改修事業				平成29年度 目標達成度		—		
事業概要		農業用水路の機能回復および浸水被害防止のため、計画的な改修を行う。								
指標①		水路整備延長			指標②					
指標の説明・計算式		整備延長÷総延長1,800m			指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	0%	10%	20%	—	目標②					
実績①	—	—	—		実績②					
事業実績 (平成29年度)		総延長1,800mの測量調査を実施。								
改善すべき点		特になし。								
平成30年度に向けた改善策		特になし。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	5

所属	河川課
----	-----

実施計画事業名		都市基盤河川改修事業(大川)					平成29年度 目標達成度		A
事業概要		河川改修を進め、治水対策の充実を図る。							
指標①		整備延長			指標②				
指標の 説明・計算式		整備延長÷総延長1,740m			指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	63%	69%	74%	A	目標②				
実績①	64%	—	—		実績②				
事業実績 (平成29年度)		用地買収 528.16㎡ 物件補償 0件 改修工事 L=120m							
改善すべき点		特になし。							
平成30年度に向 けた改善策		地価の下落等により買収交渉が難航するため、所有者との交渉回数を増やし成立を図る。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	5

所属	河川課
----	-----

実施計画事業名					貯留浸透事業					平成29年度 目標達成度		A
事業概要					流域対応貯留施設を整備し、浸水被害の軽減を図る。							
指標①		整備箇所数				指標②						
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度			
目標①	1箇所	-	-	A	目標②							
実績①	1箇所	-	-		実績②							
事業実績 (平成29年度)		岩田西小学校の整備工事を実施。										
改善すべき点		特になし。										
平成30年度に向 けた改善策		事業の実施なし。										

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	30	1

所属	住宅政策室
----	-------

実施計画事業名					市営住宅整備事業					平成29年度 目標達成度	B
事業概要					老朽化した市営住宅について、東大阪市公営住宅等長寿命化計画に基づき、集約建替え等により安全性を確保する。						
指標①		市営住宅戸数に占める耐火住宅の割合				指標②					
指標の説明・計算式		耐火住宅/市営住宅数×100				指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	87.91%	86.99%	89.31%	B	目標②						
実績①	84.97%	—	—		実績②						
事業実績 (平成29年度)		・市営意岐部住宅の売却を行った。(24戸) ・木造市営住宅である桂川住宅の一部除却(3戸)を行った。 ・上小阪東住宅建替事業のPFI事業者の選定を行い、事業契約を締結した。									
改善すべき点		・耐震性に課題がある簡易耐火住宅や耐用年限を経過した木造住宅が多数存在しており建替えを進める必要がある。 ・計画期間内において建替えとした住宅については、財政状況、地域事情や入居者の状況等を踏まえながら、計画的な建替えを推進する。建替えの際に余剰戸数が発生した場合には、その他の老朽化した市営住宅に居住している世帯を優先的に移転させるなど、住み替えを支援する。									
平成30年度に向けた改善策		・市営楠根住宅の売却を行う。 ・上小阪東住宅建替事業の建設を行う。 ・東大阪市公営住宅等長寿命化計画の中間見直しを行う。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	30	3

所属	住宅政策室
----	-------

実施計画事業名		密集住宅市街地総合整備事業				平成29年度 目標達成度		B		
事業概要		老朽木造賃貸住宅が密集している若江・岩田・瓜生堂地区において、防災道路の整備を行うとともに、老朽木造賃貸住宅の除却や建物の不燃化を促進することで、防災性の向上および安全・快適なまちづくりをめざす。								
指標①		防災道路用地買収面積/事業用地面積 (%)			指標②					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	51.00%	66.15%	74.23%	B	目標②					
実績①	50.09%	—	—		実績②					
事業実績 (平成29年度)		・防災道路買収301.02㎡及び道路整備を行った。 ・老朽木造賃貸住宅22棟103戸の除却補助を実施した。								
改善すべき点		・密集事業に基づく防災道路拡幅整備は、都市計画道路事業等の同じ事業手法ではなく任意事業のため、地権者への地道な協力依頼が必要である。 ・防災道路拡幅路線において建替を実施直前に把握するケースがあり、事前把握の為に、地権者等との接触及び関係部局との連携の強化が必要である。								
平成30年度に向けた改善策		・防災道路整備を推進するため、地権者へ引き続き協力依頼を行っていく。 ・建築指導室との連携を図ることにより、建替計画の事前把握を行う。 ・老朽木造賃貸住宅除却補助要綱を活用し、老朽木造賃貸住宅の削減を推進していく。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	30	1

所属	住宅改良室
----	-------

実施計画事業名		住宅改良事業				平成29年度 目標達成度		C			
事業概要		老朽化した市営住宅について、東大阪市公営住宅等長寿命化計画に基づき、集約建替え等により安全性を確保する。									
指標①		空家一般補修戸数			指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	52戸	72戸	72戸	C	目標②						
実績①	40戸	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		・東大阪市公営住宅長寿命化計画に基づく第2期事業計画であるB棟建替工事を着手した。 ・一般空家補修工事では北蛇草18戸、荒本22戸を補修工事を行った。									
改善すべき点		・北蛇草、荒本住宅は築後年数が経ち、住棟の老朽化が著しく補修する整備項目が多様となりコストが高まっている。									
平成30年度に向けた改善策		・補修項目の精査を行い、コスト面の削減につなげると共に、東大阪市公営住宅長寿命化計画に伴う事業計画の見直し検討を行う。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	30	3

所属	住宅改良室
----	-------

実施計画事業名				まちづくり基本構想推進経費				平成29年度 目標達成度		A
事業概要				平成16年3月に策定された長瀬および荒本地域まちづくり基本構想の実現に向け、住民と協働してまちづくりを推進する。						
指標①		まちづくり推進会議およびワークショップ実行委員会開催回数				指標②				
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	15回	15回	15回	A	目標②					
実績①	16回	－	－		実績②					
事業実績 （平成29年度）		北蛇草・荒本住宅B棟建替工事の完成後の住宅移転に関する意見交換。 長瀬斎場煙突改修に伴う意見交換。								
改善すべき点		北蛇草・荒本住宅B棟建替工事を進め、移転対象棟の住民の動向を把握し、B棟及び他の住棟に迅速に移転が出来るように住民に働きかける。								
平成30年度に向けた改善策		地元の意見を取入れつつ、北蛇草・荒本地域のまちづくりの実現に向け市営住宅の事業計画を進めて行く。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	5

所属	開発指導課
----	-------

実施計画事業名		宅地耐震化推進事業				平成29年度 目標達成度				
事業概要		地震時に地すべり崩壊から被害を受ける可能性のある大規模盛土造成地の現地踏査(第1. 5次スクリーニング)を行うための周知・啓発活動に努める。								
指標①		周知・啓発の実施状況			指標②					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	—	説明の準備	啓発活動の実施		目標②					
実績①	—	—	—		実績②					
事業実績 (平成29年度)		—								
改善すべき点		—								
平成30年度に向けた改善策		府下の状況を注視しながら進めていく。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	30	2

所属	指導監察課
----	-------

実施計画事業名					震災対策推進事業					平成29年度 目標達成度	D
事業概要					市民の生命と財産を保護するため、住宅・建築物の耐震診断、改修を計画的かつ総合的に推進する。						
指標①		耐震改修補助制度を活用した住宅の戸数(戸)				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	35戸	35戸	35戸	D	目標②						
実績①	15戸	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		平成29年度は全戸回覧を4回行い、平成22年度から継続の最大100万円の設計・改修補助を継続した結果、実績は、木造住宅の耐震診断補助及び耐震診断員派遣は合計113戸、耐震改修設計補助は15戸、耐震改修工事補助は15戸、除却工事補助は22戸となった。市政だよりの特集記事の掲載や全戸回覧、また市役所や各自治会に訪問しての耐震診断・改修セミナー等の周知・啓発活動を行った。									
改善すべき点		耐震診断から耐震設計及び改修工事への移行が進まなかった。(診断113戸→設計15戸→改修15戸)									
平成30年度に向けた改善策		耐震診断から改修工事へと繋がるように、啓発に努める									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	4

所属	建築営繕室・施設所管課
----	-------------

実施計画事業名					市有建築物耐震化の進捗管理と推進					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					東大阪市市有建築物耐震化整備計画に基づき、市有建築物耐震化の適切な進捗管理を行うとともに、推進を図る。						
指標①		計画期間内(平成37年度まで)に耐震化を図る特定建築物16棟				指標②		計画期間内(平成37年度まで)に耐震化を図る準防災関連施設10棟			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標① H28からの累計	4棟	7棟	8棟	A	目標② H28からの累計	3棟	5棟	7棟	A		
実績①	4棟	-	-		実績②	3棟	-	-			
事業実績 (平成29年度)		【特定建築物の耐震化】2棟 ・教育センター(旧永和小学校)・東大阪准看護学院 【準防災関連施設の耐震化】3棟 ・縄手公民分館・若江公民分館・意岐部公民分館 ※参考(平成28年度実績)2棟 ○特定建築物の耐震化(東体育館+旧市民会館(解体))									
改善すべき点		特になし(計画通り事業進捗中)									
平成30年度に向けた改善策		特になし(計画通り事業進捗予定) ○特定建築物3棟+準防災関連施設2棟の耐震補強工事実施予定									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	30	3

所属	空家対策課
----	-------

実施計画事業名					空き家対策推進事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					『空家等対策の推進に関する特別措置法』に基づき、空き家の所有者の特定、維持管理の指導、利活用に向けて民間企業、団体等への周知啓発を実施する。						
指標①		周知啓発			指標②		除却補助制度を活用した特定空き家等の戸数(戸)				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	周知啓発	周知啓発	周知啓発	A	目標②	—	5戸	5戸			
実績①	セミナー等開催	—	—		実績②	—	—	—			
事業実績 (平成29年度)		・空き家所有者及び今後実家等を所有することになる方を対象に、弁護士による空き家の相続セミナー及び宅地建物取引士及び司法書士による賃貸・売却・登記等に関する個別相談会を開催した。 ・また、近隣の空き家の件で相談を受けていただく可能性のある自治会役員の方を対象に、民事上でできる空き家対策セミナーを開催した。 ・また、施設に入所する高齢者等を対象として、空き家の所有実態及び今後の活用意向についてアンケート調査を実施することで、高齢者等の空き家所有者のニーズを把握するとともに、今後必要となる施策の展開について、検討を行った。									
改善すべき点		・すでに空き家になっていたり、所有者が亡くなられて相続人が決まっていない場合には、建物の劣化や草木の繁茂などにより、第三者が被害を受ける可能性が出てくるため、所有者には、空き家になる前にその将来について考えていただく必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		・空き家所有者だけでなく、住宅所有者全員に空き家が周辺環境に及ぼす影響について周知を行うことで、空き家の適正管理に向けた啓発を行う。 ・すでに管理不全な状態で危険と判断される空き家については、早急に解体してもらえるよう、平成30年度に創設する解体補助制度の利用を推進する。 ・また今後は、大学や地域、宅建協会や司法書士会等の士業等と連携して、空き家の利活用の方策について検討を行う。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 総務課
----	---------

実施計画事業名		消防署建替事業				平成29年度 目標達成度		A			
事業概要		老朽化が進む西消防署を現地で建替え、防災活動拠点としての機能の向上を図り、大規模震災などの有事に備える。									
指標①		整備の進捗状況			指標②						
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	完了	－	－	A	目標②						
実績①	完了	－	－		実績②						
事業実績 (平成29年度)		・平成26年度から開始した建設工事が計画通りに進み、平成29年7月に新庁舎の運用を開始。									
改善すべき点		・特になし。									
平成30年度に向けた改善策		・平成29年度に事業が完了。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 総務課
----	---------

実施計画事業名					消防団屯所整備事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					地域防災力として重要な役割を担っている消防団員の活動拠点である消防団屯所のうち、老朽化している屯所を整備する。						
指標①		整備の進捗状況			指標②						
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	施工・完了	－	－	A	目標②						
実績①	施工・完了	－	－		実績②						
事業実績 (平成29年度)		・消防団の防災活動拠点である1分団3号車(布市)及び6分団3号車(中新開)の屯所が完成。									
改善すべき点		・消防団屯所を建築するにあたり、地元自治会の要望等を事前に聴取し、理解と協力を得る必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		・地域防災力として重要な役割を果たす消防団員の活動拠点について、市民の安全・安心の向上に向けて、消防団屯所を整備していくよう努めていく。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 総務課
----	---------

実施計画事業名					消防団車両整備事業					平成29年度 目標達成度	A			
事業概要					地域防災力として重要な役割を担っている消防団の現場活動車両について、その性能を維持向上するため、更新・整備していく。									
指標①					整備台数							指標②		
指標の説明・計算式										指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度					
目標①	1台	1台	1台	A	目標②									
実績①	1台	-	-		実績②									
事業実績 (平成29年度)					・3分団3号車(出雲井)の車両更新を行った。									
改善すべき点					・耐用年数期限を大きく経過している車両が多数あり、災害時に支障をきたさぬよう更新整備していく必要がある。									
平成30年度に向けた改善策					・耐用年数を考慮し、計画的に更新整備していく。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 人事教養課
----	-----------

実施計画事業名				救急救命士養成・高度化事業				平成29年度 目標達成度		A
事業概要				今後も需要の増加が見込まれ、高度化し続ける救急業務に対応するため、高度な知識と技術をもった救急救命士を計画的に養成する。						
指標①		高度医療行為認定救急救命士乗車率			指標②					
指標の説明・計算式		乗車認定救急救命士数/目標認定救急救命士乗車数×100			指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	37%	48%	58%	A	目標②					
実績①	40%	—	—		実績②					
事業実績 (平成29年度)		・ 救急救命士養成者数 1名 【内訳】 大阪市消防局高度専門教育訓練センター								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 警備課
----	---------

実施計画事業名		消防車両整備事業				平成29年度 目標達成度		-		
事業概要		火災、救急救助、化学災害、自然災害などの事案に対応するため、各種の消防車両について、計画的に車両を導入・更新整備する。								
指標①		車両整備台数			指標②					
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	-	3台	2台	-	目標②					
実績①	-	-	-		実績②					
事業実績 (平成29年度)		・更新整備なし。								
改善すべき点		・耐用年数を経過している消防車両が多数あり、各種災害対応に支障をきたさぬよう更新整備が必要である。								
平成30年度に向けた改善策		・これまでと同様、耐用年数を考慮し、計画的に更新整備していく。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 警備課
----	---------

実施計画事業名		林野火災用可搬ポンプ整備事業				平成29年度 目標達成度		-	
事業概要		林野火災に備え、老朽化の進む林野火災ポンプについて整備を行う。							
指標①		整備台数			指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	-	1台	1台	-	目標②				
実績①	-	-	-		実績②				
事業実績 (平成29年度)		・更新整備なし。							
改善すべき点		・エンジン及びポンプの老朽化が進行しており、メーカーによる修繕も困難になってきているため、計画的な更新整備が必要である。							
平成30年度に向けた改善策		・現有資機材の維持管理に努めるとともに、林野火災に備え、計画的に更新整備するよう努めていく。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 警備課
----	---------

実施計画事業名		高規格救急車整備事業				平成29年度 目標達成度		A	
事業概要		年々増加する救急需要に対応するため、高規格救急車の計画的な更新整備を行う。							
指標①		整備台数			指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	2台	1台	－	A	目標②				
実績①	2台	－	－		実績②				
事業実績 (平成29年度)		・高規格救急車2台更新 東消防署 四条分署 中消防署 本署							
改善すべき点		・増加している救急需要に対応するため、今後も計画的に更新整備する必要がある。							
平成30年度に向けた改善策		・これまでと同様、耐用年数を考慮し、更新整備していく。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	3

所属	消防局 通信指令室
----	-----------

実施計画事業名		高機能消防指令センター整備事業					平成29年度 目標達成度		A
事業概要		近年の大規模化、多様化する様々な災害から市民生活の安全安心を確保するため、現在の通信環境に適応した高機能消防指令センターを整備し、消防力を強化する。							
指標①		整備の進捗状況			指標②				
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	システムの構築	運用開始	－	A	目標②				
実績①	システム完了	－	－		実績②				
事業実績 (平成29年度)		・平成30年4月に新高機能消防指令センターの整備を完了し、運用を開始している。							
改善すべき点		・新高機能消防指令センターの新機能のさらなる有効活用に努め、出動指令の迅速化を図る。							
平成30年度に向けた改善策		・各種情報共有により災害への迅速な対応を行い消防力強化に努める。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	33	4

所属	上下水道局経営企画室
----	------------

実施計画事業名		上下水道庁舎整備事業				平成29年度 目標達成度		D			
事業概要		上下水道局同一庁舎の実現に向け、整備を進める。									
指標①		同一庁舎の実現			指標②						
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	建設工事の着工	建設工事の実施	建設工事の完工 同一庁舎の実現	D	目標②						
実績①	見直し検討	－	－		実績②						
事業実績 (平成29年度)		建設工事実施に向けた見直しの検討に着手した。									
改善すべき点		関係機関等との協議・調整が十分に行えていなかった。									
平成30年度に 向けた改善策		関係機関等との協議・調整を十分に行い、建設工事実施に向けた見直しの方向性の検証をおこなう。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	33	1

所属	上下水道局水道施設部施設整備課
----	-----------------

実施計画事業名					第三次水道施設整備事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					山間部の送配水機能の強化を中心とする基幹施設(浄水施設、配水施設)を整備し、浄水処理の安定化、地震等災害に対する安全性の向上を図る。						
指標①		配水池の耐震化率				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	45.5%	－	－	A	目標②						
実績①	45.5%	－	－		実績②						
事業実績 (平成29年度)		平成27年度に完成予定であった五条低区配水池更新工事は、仮設工(土留柱列杭の施工)において、想定以上の硬質地盤出現により施工が難航し、対策・工法の変更などに不測の期間を要し、平成29年度まで工事を延期した。 平成29年度の事業実績としては変更した計画に沿って、工事を着実に進め完了することが出来た。 配水池の耐震化率 (耐震対策の施された配水池有効容量 48,930㎡ / 配水池等有効容量 107,434㎡) × 100 = 45.5%									
改善すべき点		特になし									
平成30年度に向けた改善策		工事完了のため、改善策はなし。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	33	1

所属	上下水道局施設整備課
----	------------

実施計画事業名		第四次水道施設整備事業				平成29年度 目標達成度		A	
事業概要		山間部の送配水機能のシステム強化を実施すると共に、平区配水機能の強化を推進する基幹施設を耐震整備し、地震等災害に対応する安全性の確保・向上や老朽化施設の更新を図る。							
指標①		配水池の耐震化率				指標②			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	45.5%	45.5%	48.7%	A	目標②				
実績①	45.5%	—	—		実績②				
事業実績 (平成29年度)		平成29年度の事業実績としては、平成28年度から着手した上小阪配水場にかかる工事を進めた。また、石切特別高区配水池更新工事を完了させた。 配水池の耐震化率 (耐震対策の施された配水池有効容量 48,930㎡ / 配水池等有効容量 107,434㎡) × 100 = 45.5%							
改善すべき点		特になし							
平成30年度に向けた改善策		上小阪配水場にかかる工事については、平成31年度竣工を目指して着実に工事を進めていく。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	27	1

所属	下水道計画総務室
----	----------

実施計画事業名				雨水増補管事業				平成29年度 目標達成度		A
事業概要				既設の下水管で流しきれない雨水に対応するための雨水増補管を整備し、浸水被害の軽減を図る。						
指標①		整備率				指標②				
指標の 説明・計算式		整備延長／計画延長				指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	88.9%	91.0%	91.0%	A	目標②					
実績①	90.4%	－	－		実績②					
事業実績 （平成29年度）		新岸田堂幹線 【平成29年度末延長】 24,753m								
改善すべき点		増補管事業は大規模工事となる為、設計・積算に非常に時間がかかる。 また、事前調整内容の変更が生じると、設計変更にも多大な時間を要する。								
平成30年度に 向けた改善策		修正ができるだけ出ないよう調整を的確に行い、早期の事業発注に努める。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
5	33	1

所属	下水道計画総務室
----	----------

実施計画事業名		下水道施設再構築事業				平成29年度 目標達成度		A	
事業概要		老朽化した下水管やポンプ場施設の更新および耐震化を行い、下水道施設の機能維持を図る。							
指標①		管きょ改築延長(第4次実施計画期間内累計)				指標②			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	2.0km	4.0km	5.5km	A	目標②				
実績①	2.2km	—	—		実績②				
事業実績 (平成29年度)		平成29年度下水道管きょ改築実績 管径: φ 250mm～φ 2,100mm 延長: 約2.2km							
改善すべき点		既設下水管内には下水が流れていること、他企業の埋設物、交通状況、取付管の状況等を把握し、経済性、施工性から工法を検討する必要がある。							
平成30年度に向けた改善策		仮排水や、通水しながら施工できる工法の検討、他企業との調整を早期に行い、適切な工法選定を行う。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	1

所属	小中一貫教育推進室
----	-----------

実施計画事業名					一貫教育推進事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					小・中学校段階の教員が一貫した「めざす子ども像」を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育をめざす。						
指標①		小6の中学校への登校の年間実施日数 (平均)				指標②					
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	5日	10日	15日	A	目標②						
実績①	5日	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		・全中学校区において、概ね年度当初に計画していた予定日数を実施。 ・成果として、「中学校への進学に不安を覚える児童が減少した」・「上級生が下級生の手本となろうとする意識が高まった」・「小・中学校で共通する取組みが増えた」・「小・中学校の教職員で協力して指導にあたる意識が高まった」等さまざまな効果が上がっている。									
改善すべき点		・中学校登校時の授業時間割の調整、授業内容の設定、給食の提供及び通学路の安全確保など									
平成30年度に向けた改善策		・施設面の整備を進める。また、中学校登校時の授業実施体制を調整し、その向上を図る。 ・給食の提供については、関係課と連携し対応していく。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	施設整備課
----	-------

実施計画事業名					幼稚園施設耐震化事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					公立の就学前教育・保育施設再編整備計画(平成29年中 間見直しの結果)を踏まえ、幼稚園園舎の耐震化工事を実施する。						
指標①		耐震化実施率(実施園数/実施予定園数× 100)				指標②					
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	50%	50%	100%	A	目標②						
実績①	50%	—	—		実績②						
事業実績 (平成29年度)		・石切幼稚園(1園舎)、枚岡幼稚園(1園舎)の耐震補強工事を実施。									
改善すべき点		・「公立の就学前教育・保育施設整備計画(平成27年5月)」に基づき、園舎の耐震化を進めているが、平成29年度に中間見直しが実施され、耐震性の確保が必要な若江幼稚園及び英田幼稚園については、「存続」と決定された。 しかし、若江幼稚園及び英田幼稚園の園舎は、築50年以上経過する木造園舎であり、基本的には建替えによる耐震化が必要であると考えられる。また、幼稚園ニーズは減少傾向であることから、園舎の建替えには今後のニーズの推移を踏まえた検討が必要であるため、平成32年度に予定されている「公立の就学前教育・保育施設整備計画」の改定状況を見守る。									
平成30年度に向けた改善策		・今後の幼稚園ニーズの推移を検証しながら、園舎の耐震化を検討する。									

平成29年度 事業管理報告書

重点事業

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	施設整備課
----	-------

実施計画事業名		小学校普通教室への空調整備事業				平成29年度 目標達成度		—	
事業概要		暑さ対策を含む良好な学習環境づくりのため、小学校普通教室に空調設備を整備する。							
指標①		小学校普通教室の空調整備実施率				指標②			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	0%	0%	100%	—	目標②				
実績①	—	—	—		実績②				
事業実績 (平成29年度)		・小学校普通教室への空調設備の設置について、PFI等導入可能性調査を行い、「PFI方式の導入が最適」との結果になった。その調査結果を受け、公共施設マネジメント推進会議においてPFI方式の導入を決定した。							
改善すべき点		・特になし。							
平成30年度に向けた改善策		・平成31年3月の事業契約締結及び平成31年9月の供用開始に向け、PFI法に基づき事業者の選定を進めていく。							

平成29年度 事業管理報告書

重点事業

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	1

所属	学校給食課
----	-------

実施計画事業名					中学校給食の実施					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					成長期における中学生の健全な心身の育成や食育の観点から、平成34年度までに、全中学校への「完全給食」「全員喫食」の給食実施をめざす。						
指標①		中学校給食の導入校数			指標②		配膳室の整備状況				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	-	-	2校		目標②	設計	工事、設計	工事、設計	A		
実績①	-	-	-		実績②	設計	-	-			
事業実績 (平成29年度)		・池島中学校・縄手南中学校2校の配膳室の設計業務を行った。									
改善すべき点		・配膳室については校舎内での整備を基本とし、施設整備課と共に各小学校と協議を進めてきたが、空き教室が無いなどの理由でプレハブ設置が不可避となった場合、既存不適格等を是正する工事が発生する。プレハブ設置に加えその工事費用も必要となることから、引き続き配膳室校舎内収容に向け、調整を進める。また、「デリバリー選択制」の給食を導入している大阪府下各市で、「全員喫食」の議論が再燃する可能性があるなかで、本市がいかに早く、民間調理業者の13,000食を確保するのが大きな課題である。									
平成30年度に向けた改善策		・既存教室を活用する形が、理想的であるが、学校規模が様々ある中、支援学級や少人数学級、小中一貫教育など学校運営を最大限尊重し、空き教室がないと判断された学校については、プレハブ配膳室を建設する予定である。民間調理業者の確保については今年度に平成31年度32年度開始分の選定を行い、平成32年度に平成33年度、平成34年度開始分の選定を行う。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	1

所属	学校教育推進室
----	---------

実施計画事業名		学びのトライアル事業							
事業概要		学校園が総体として、組織的な学力向上に取り組み、家庭教育に対しても積極的な啓発を行うことを通して、経済的・文化的格差に起因する学力格差の縮小を目指します。				平成29年度 目標達成度		A	
指標①		全国学力調査等の正答率分布グラフによる低学力層の減少(チャレンジテスト中2：34点以下平均)（H28 27.9%）			指標②		児童生徒の保護者による本事業に対する評価 (H28 79.9%)		
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	28%	前年度より減少	前年度より減少	A	目標②	80%	前年度より増加	前年度より増加	B
実績①	21%	－	－		実績②	79%	－	－	
事業実績 (平成29年度)		・各校で学力向上支援コーディネーターを中心に、組織的な取組みを継続して進めている。学力向上テーマ「子どもが自ら学ぶための『環境』『習慣』『授業』づくり」を継承しながら、各中学校区としての「学びのスタンダード」を確立させ、学習指導や生活指導、家庭学習をすすめた。 ・「東大阪市教育フォーラム」では、一貫教育をテーマに実践報告及び講演会を行い、本市がめざす小中一貫教育の意義について、広く市民に広める機会とした。 ・「トライアルスクール推進事業」では、授業公開や研究発表会を通して発表校の取組を本市全体に広め、本市全体の学校教育充実につとめた。 ・中学校普通教室に電子黒板を設置するとともに、活用促進に向けた研修を実施した。 ・「標準学力調査」を実施し、児童の学習状況を把握し、授業改善につとめた。							
改善すべき点		・主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善。 ・各小学校における標準学力調査の効果的な活用。 ・小学校普通教室への電子黒板設置と、その活用。							
平成30年度に向けた改善策		・学力向上支援コーディネーター連絡協議会における内容の工夫(先進校の実践報告及び視察)。 ・結果分析だけでなく、児童の課題解決に向けた工夫・改善策の周知。 ・小学校電子黒板設置や設置後の活用研修実施。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	1

所属	学校教育推進室
----	---------

実施計画事業名					英語教育推進事業					平成29年度 目標達成度	B
事業概要					グローバル化する社会に対応し、国際共通語としての英語を使って自分の考えや意見を伝え、相手の意見や考えを受け止めることのできる子どもを育成する。						
指標①		本市学習状況調査における項目で積極的に英語でコミュニケーションをとると回答した生徒の割合(中3)				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	80%	前年度より増加	前年度より増加	B	目標②						
実績①	70%	—	—		実績②						
事業実績 (平成29年度)		・ALT(外国語指導講師)は、小学校5年生から中学校3年生において、週1時間配置し、ALTとのチームティーチングを実施した。幼稚園については、週に半日配置した。 ・移動英語村、夏休み英語村を開催した。移動英語村には28小学校・10中学校が、夏休み英語村には約20名の児童生徒が参加した。小グループでALTとコミュニケーション活動を行うことで、学んだり慣れ親しんだりした英語表現を活用することができ、児童生徒の自己効力感や学習意欲の向上につながった。 ・「東大阪市中生英語暗唱大会」や「英語まつり」などの英語行事を中学生を対象に実施した。各ALTが事前に生徒の発音指導等を行い、指導を受けた生徒が舞台上で日ごろの学習の成果を発表した。また、習熟度別指導による指導方法の工夫改善も行なった。									
改善すべき点		◆小学校 ・教員の授業力向上と英語力向上 ・ICTを活用した授業に向けた環境整備 ・小学校低学年の英語教育のあり方 ◆中学校 ・教員の授業力の向上 ・スピーキングテストの作成及びその評価方法									
平成30年度に向けた改善策		◆小学校 ・教員の授業力向上と英語力向上に向け、教育センターとの連携を図るとともに、ALTの放課後の活用をすすめる。 ・英語教材 DREAM(大阪府教育庁)の研究を行い、平成31年度の導入をめざす。 ◆中学校 ・加配教員(中学校英語コーディネーター)と市教委が連携し先行的に実施。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	1

所属	学校教育推進室
----	---------

実施計画事業名					日新高等学校短期語学研修事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					特色ある学校づくりの一環として生徒の国際感覚、英語力の向上を図るため、短期交換留学を実施する。						
指標①		留学経験が語学力の向上等、役に立ったと判断された生徒の割合（留学経験が役立った生徒数÷留学派遣生徒数×100）				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	100%	100%	100%	A	目標②						
実績①	100%	—	—		実績②						
事業実績 （平成29年度）		・生徒6名と教員1名をニュージーランドに語学研修として派遣した。 ・現地高校生との交流やホームステイを通じて、英語能力の向上と国際感覚を養った。 ・帰国後、日新高や市立中学校生徒に報告会を実施した。									
改善すべき点		・短期留学前から留学準備として英語学習に励み、帰国後ももっと英語でコミュニケーションがとれるようにと学習に励み短期留学が動機づけになった。しかし、飛行機の乗り継ぎ待ち時間が長いと、結果として滞在期間が短くなっている。									
平成30年度に向けた改善策		・一層内容の充実したプログラムとするため日程の見直しをはかる。 ・短期留学をきっかけとした現地校との交流拡大をめざす。 ・市内中学生に日新高校英語科の魅力としてアピールし、入学希望者の増加につなげる。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	学校教育推進室
----	---------

実施計画事業名					いじめ防止対策事業					平成29年度 目標達成度	B								
事業概要					いじめ防止対策推進法に基づき、いじめの防止や重大事態等に対応する機関を設置し、専門家の派遣等、適切な対応を行う。また、スクールソーシャルワーカーを活用し、子どもや家庭、学校園を支援する。														
指標①					いじめ、不登校、虐待、問題行動等の支援 ケース数							指標②					認知したいじめ事象のうち対応した割合		
指標の 説明・計算式										指標の 説明・計算式									
	H29		H30		H31		H29達成度			H29		H30		H31		H29達成度			
目標①	900件		900件		900件		C		目標②	100%		100%		100%		A			
実績①	562件		-		-				実績②	100%		-		-					
事業実績 (平成29年度)		・平成29年度は、7小学校にスクールソーシャルワーカーを拠点校配置し、年間540回(拠点校活用490回、派遣活用 50回)の活用を行った。中学校区いじめ・長期欠席・不登校対策ブロック会議やケース会議にスクールソーシャルワーカーが参加し、福祉的視点を持って学校支援を行った。 ・すべての学校に対して、2ヶ月に1度「いじめ状況調査」を実施し、きめ細やかな状況把握と早期発見・早期対応を推進した。																	
改善すべき点		・平成29年度は11名のスクールソーシャルワーカーで対応したが、虐待・不登校、福祉的な支援が必要な子ども・家庭の対応が増加している現状がある。こうした現状の中、全中学校ブロックにスクールソーシャルワーカーを拠点校配置することで、全ての学校園が園児・児童・生徒・保護者へ対しての支援をより一層充実させることができると考えている。																	
平成30年度に向けた改善策		・いじめ問題専門委員会サポートチームによる学校支援の充実や、平成30年は9名のスクールソーシャルワーカーを採用し、7小学校への拠点校配置と、ケース会議への派遣を行う。その際、福祉の専門的な知識と技術により、子どもが抱えている課題や背景を整理し、学校園を支援していく。																	

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	学校教育推進室
----	---------

実施計画事業名					特別支援教育推進事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					障害のある子どもたちが学校園生活を円滑に送れるよう多方面から支援する。						
指標①		対象者への巡回指導および巡回相談実施率(実施人数÷希望する対象者×100)			指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	100%	100%	100%	A	目標②						
実績①	100%	—	—		実績②						
事業実績 (平成29年度)		【特別支援教育支援員】スクールヘルパー85名の配置。幼稚園特別支援教育支援員11園での活用。 【巡回指導】…肢体不自由児訓練事業として、作業療法士、理学療法士、必要に応じ言語聴覚士と指導主事が学校園の訪問指導を行った。対象者61名に対し、延べ108回実施。 【巡回相談】…発達障害の診断がある園児・児童・生徒を対象とし、障害児者支援センター児童指導員と指導主事が授業・保育等の様子を参観。個別連絡票を参考に、学校園における指導や支援内容について指導・助言を行った。対象者34名に対し52回実施。巡回相談の回数は、要項で2年で3回(1年目2回、2年目1回)と規定。 【ケアアシスタント】…9校11名の配置。									
改善すべき点		・学校園において、支援を必要とする子どもが増加傾向にある状況から、人的支援の一層の充実が求められている。実情に応じたスクールヘルパーの配置や、各支援人材の資質向上を図る必要がある。 ・看護師(ケアアシスタント)、スクールヘルパーにおいて欠員が生じた場合、迅速に対応できる工夫が必要である。									
平成30年度に向けた改善策		・学校のニーズに応じたスクールヘルパー配置ができるよう、事業の充実に努める。 ・幼稚園・こども園における支援を必要とする園児の増加に対応できるよう、支援体制の充実を図る。 ・医療的ケアの必要な子どもに対して、確実に看護師(ケアアシスタント)を配置ができるよう、関係各所と連携し人材確保に努める。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
4	21	2

所属	学校教育推進室
----	---------

実施計画事業名					キャリア教育の推進事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					小学校での農業体験やモノづくり体験教室、中学校での職場体験学習を実施することにより、次代を担う子どもたちのモノづくりへの興味や関心を高めると共に、「生きる力」の育成を支援する。						
指標①		モノづくりに関する学習の実施率（小学校）				指標②		職場体験学習において、モノづくりに関する体験をした生徒の割合（中学校）			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	100%	100%	100%	A	目標②	7%	8%	9%	A		
実績①	100%	—	—		実績②	7%	—	—			
事業実績 （平成29年度）		【全般】 ・幼・こ・小・中が連携したキャリア教育計画の作成。 【小学校】 ・小学校において、キッズマートや農業体験などで、職業に関する学習を全学校で実施。 ・NPOと連携し「モノづくり体験教室」を実施。（平成29年度 52校中31校実施） 【中学校】 ・全25中学校において、職場体験を実施。									
改善すべき点		【小学校】 ・モノづくりに関する学習の一環として、「モノづくり体験教室」は定着してきている。今後も実施校が広がるように連携に努める。 【中学校】 ・職場体験学習に協力いただけるモノづくりに携わる事業所数の拡大。									
平成30年度に向けた改善策		・中小企業集積地であるメリットを活かし、経済部モノづくり支援室や地元企業との連携を強化。 ・東大阪の特色を活かしたキャリア教育の推進について、東大阪ええとこスクラム協議会やNPO等と情報交換などを行い、小中一貫を見据えた連携強化を図る。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	人権教育室
----	-------

実施計画事業名					いじめ防止対策推進事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					園児・児童・生徒・保護者および教職員を対象に、中学校区での研修会の開催や啓発リーフレット等を配布することで、人権感覚と人権意識を高揚させ、いじめの発生を未然に防ぐ。						
指標①		教職員、保護者を対象とした研修会の実施率				指標②		児童・生徒を対象とした学習会の実施率			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	100%	100%	100%	A	目標②	100%	100%	100%	A		
実績①	100%	—	—		実績②	100%	—	—			
事業実績 (平成29年度)		・中学校区教職員・保護者合同研修(2回実施・内1回は保護者参加) 学校園・家庭・地域が連携した取組みの中で、いじめへの気づきやいじめ問題における未然防止や早期発見・早期対応の重要性について共通理解を深めることができた。 ・各学校における児童生徒学習会(1回実施) 学習会を通して、自分の生き方を見つめなおすなど、いじめ問題と自分とのかかわりについて学んだ。 ・いじめ防止啓発リーフレット「おとなと子どものハートすくらむ」配布(年間2回、学校園に配布) 子どもたち一人ひとりが考えるきっかけになった。 ・いじめ防止ポスター配布・掲示 学校園の全クラスと市内公共施設に掲示した。									
改善すべき点		・児童生徒対象のアンケート「いじめは、どんな理由があってもいけない」を本事業の成果の表れの一端として把握を行っている。平成29年度の肯定的回答率は92.6%であり、昨年度より1.3%下降した。対象児童生徒が異なる点を考慮する必要はあるが、効果的な研修会・学習会の実施が求められる。そのため、学校園に対して引き続き計画的な実施に向けた支援を行うとともに、計画書・報告書・年間計画書の工夫が必要と考えられる。 ・いじめ防止啓発リーフレット「おとなと子どものハートすくらむ」の活用に関する学校園へのアンケートでは、「いじめ防止に効果がある」という回答は約90%、「使いやすい」という回答は約70%となった。前年度のアンケートと比較すると肯定的意見が増加した。これは、他課との連絡会において現状の把握に努め、それに基づいたリーフレットの作成に努めたことで、学校園のニーズに沿う内容に近づいたものと考えられる。 ・児童生徒対象のアンケートからうかがえる課題に対して、リーフレット・ポスターを活用した対策を検討する必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		・年間計画書のメリットを学校が理解し、具体的な個人人権課題に対する研修内容の提示を行う。また、学習会・研修会のめあてをより意識できる計画書・報告書の工夫を行う。 ・リーフレット・ポスターの内容や活用方法の検討を行い、いじめを「させない・見逃さない・許さない」、特に「いじめはどんな理由があってもいけない。」についての児童生徒の理解が進む取組みの一層の充実を図る。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	2

所属	学事課
----	-----

実施計画事業名		学校規模適正化事業				平成29年度 目標達成度		A			
事業概要		学校規模の適正化を図るため、「学校規模適正化基本方針」に定めている過小規模校8校(6小学校および2中学校)の統合を進め、よりよい教育環境と効果的な学校教育を実現する。									
指標①		市立小・中学校数			指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	77校	76校	－	A	目標②						
実績①	77校	－	－		実績②						
事業実績 (平成29年度)		統合新設校として使用する太平寺小学校のリニューアル整備工事、統合新設校の校歌作曲・校章等の製作委託をした。(平成30年4月1日 布施小学校開校) 学校規模適正化基本方針の具体的な統廃合は終了するが、今後については小中一貫教育の推移を見守っていく。									
改善すべき点		・特になし。									
平成30年度に向けた改善策		・特になし。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	2

所属	教育センター
----	--------

実施計画事業名		公共施設再編整備事業（教育センターその他整備）							
事業概要		「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき、旧永和小学校跡地に、教育センター、適応指導教室「ふれあいルーム」等が入居する複合施設を整備する。				平成29年度 目標達成度		A	
指標①		整備の進捗状況			指標②				
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	工事、移転	運用開始	－	A	目標②				
実績①	完成、移転	－	－		実績②				
事業実績 （平成29年度）		・H30年3月12日に教育センターに引き渡され、3月末までに移転を完了した。							
改善すべき点		・特になし。							
平成30年度に向けた改善策		・特になし。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	2

所属	教育センター
----	--------

実施計画事業名					ICT学習支援ツールの試験的導入					平成29年度 目標達成度		A
事業概要					ICT機器整備・システム構築し、キーワードミーティング(KWM)システムを導入し活用する事で、効率的に授業が進められる環境整備を図る。							
指標①		キーワードの定着率				指標②						
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度			
目標①	75%	80%	－	A	目標②							
実績①	97%	－	－		実績②							
事業実績 (平成29年度)		・市内の中学校を1校をモデル校として、キーワードミーティング(KWM)システムを導入し、1年生と3年生の社会科において、評価の可視化と授業改善の方策を研究した。										
改善すべき点		・KWMのシステムは生徒の形成的評価が可能である。その機能を利用し、更なる授業改善のための研究をする必要がある。										
平成30年度に向けた改善策		・平成29年度に引き続き、KWMの機能を利用して、授業改善のための研究を行っていく。										

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	教育センター
----	--------

実施計画事業名					教育相談・発達相談の充実					平成29年度 目標達成度	B
事業概要					教育や子どもの養育などに関する悩みを抱える、園児・児童・生徒および保護者や教職員に対し、来所相談、学校園派遣相談、電話相談を実施する。特に特別支援教育、いじめ防止および子どもの虐待防止に向けた取り組みを充実する。						
指標①		年間相談実施回数				指標②		学校園への相談員派遣に対する評価(事後アンケートで「おおむね効果があった」以上の回答の割合)			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	11,000件	11,500件	12,000件	B	目標②	100%	100%	100%	B		
実績①	10,031件	－	－		実績②	98%	－	－			
事業実績 (平成29年度)		・来所相談4,672回(教育相談1,840回・発達相談2,832回)、学校園派遣相談5,209回、電話相談150回									
改善すべき点		・来所相談の待ち時間については、業務の改善を図り、短縮をすることができた。一方、込み合う放課後の時間帯や土曜日については新教育センターの開設で部屋数も増えたことにより、より効率的な予約の取り方を確立していく必要がある。									
平成30年度に向けた改善策		・相談員の勤務体制を見直し、来所相談者が効果的な頻度で予約を取れるように努める。 また、部屋数が増えることから、相談者のニーズに合った相談活動を展開していく。 ・相談員の資質向上に向けての研修やスーパーバイザーによる事例検討会等を定期的に行う。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	10	3

所属	教育センター
----	--------

実施計画事業名					教育支援センター(適応指導教室)事業					平成29年度 目標達成度	B
事業概要					適応指導教室の取り組みを中心に、不登校または不登校傾向にある児童・生徒およびその学校への支援を充実し、学校復帰および社会的自立を図る。						
指標①		適応指導教室に通う児童・生徒の状況が改善した割合				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	80%	80%	－	B	目標②						
実績①	76%	－	－		実績②						
事業実績 (平成29年度)		・入室者21人のうち、完全に学校へ復帰した者2名、部分的に復帰した者14名。									
改善すべき点		・児童生徒の個別の学校復帰に向けた支援方法を探り、学校復帰へとつなげていくと共に、教育支援センター事業(適応指導教室)の取り組みとして、多様化・複雑化する不登校の要因への対応の実績を重ね、その結果を小・中学校に広めていくことで不登校対策の支援に努める。									
平成30年度に向けた改善策		・中学校区ブロック会議に積極的に参加し、学校や学校教育推進室生徒指導パート担当者と情報を共有し、話し合いながら生徒・児童の支援についての連携をはかる。 ・適応指導教室に通室する生徒・児童一人ひとりと一緒に、短期目標・長期目標をたてるなどしながら、学校復帰に向けての見通しをもたせていく。 ・SST、スポーツ、音楽等の支援プログラムなどを1週間に1度実施し、多様な経験を積み重ねる中で、人とかかわりへの苦手意識が軽減するよう支援していく。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	6	4

所属	社会教育課
----	-------

実施計画事業名		公共施設再編整備事業（新永和図書館の整備）				平成29年度 目標達成度		A			
事業概要		「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき、永和地域の にぎわい創出とモノづくりのまちを支える情報拠点となる図 書館を整備する。									
指標①		整備の進捗状況			指標②						
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	設計	整備工事	供用開始	A	目標②						
実績①	基本設計終了	－	－		実績②						
事業実績 （平成29年度）		・基本設計終了									
改善すべき点		・特になし									
平成30年度に向 けた改善策		・特になし									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	9	2

所属	社会教育課
----	-------

実施計画事業名		公共施設再編整備事業(貸館施設)				平成29年度 目標達成度		A			
事業概要		「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき、総合福祉センターの3・4階部分に貸館施設を整備する。									
指標①		建物の改修			指標②						
指標の説明・計算式					指標の説明・計算式						
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	実施	-	-	A	目標②						
実績①	実施	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		・平成29年4月3日 工事着手 ・平成30年3月16日 工事完了									
改善すべき点		・特になし									
平成30年度に向けた改善策		・特になし									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	9	3

所属	社会教育課
----	-------

実施計画事業名		生涯学習推進事業				平成29年度 目標達成度		-		
事業概要		「第三次東大阪市生涯学習推進計画」の3つの基本視点「まなびづくり・ひとづくり・まちづくり」に基づいて、市民の誰もがいつでもどこでも楽しく学べる環境を提供し、一人ひとりが充実した人生を送りながら学びを支える人を育て、自分のまちに誇りと愛着をもてるまちづくりをめざしていく。								
指標①		生涯学習事業への参加人数			指標②					
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	840,000人	845,000人	850,000人	-	目標②					
実績①	未	-	-		実績②					
事業実績 (平成29年度)		・生涯学習推進組織の運営(市民推進会議:2回開催、庁内推進本部幹事会1回開催) ・市町村広域連携生涯学習事業(おおさかふみんネット)の実施(11/8、11/15、11/22) ・生涯学習情報誌「まなびにトライ!」の発行(4月、10月) ・市ウェブサイト内「まなび・スポーツ」で生涯学習情報を集約								
改善すべき点		・各課において実施している講座やイベント等の事業が、生涯学習事業として認識されるように働きかける。また、市ウェブサイト内の学習支援サイト「まなび・スポーツ」への掲載がなされるよう、引き続き依頼していく。								
平成30年度に向けた改善策		・平成23年3月に策定した「第三次東大阪市生涯学習推進計画」に基づき、庁内各課に生涯学習への認識を深めてもらい、引き続き生涯学習推進に向けて積極的な取り組みを依頼していく。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	9	3

所属	社会教育課
----	-------

実施計画事業名					国際識字年推進事業					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					「よみかき教室」の開催や中国帰国者等を支援する日本語学習グループに対し日本語指導者を派遣するなど、よみかきに不自由している方々に学習する機会を提供するとともに、「国際識字デー・市民のつどい」「識字展」を通して識字に対する市民の理解を深める。						
指標①		国際識字デー・市民のつどい」、識字展等の来場者数				指標②					
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	900人	900人	900人	A	目標②						
実績①	1,327人	-	-		実績②						
事業実績 (平成29年度)		・東大阪市国際識字デー・市民のつどいの開催(来場者数198人) ・識字展の開催(来場者数697人) ※29年度は例年の市役所1階ロビーに加え、布施駅前市民プラザにて開催。また、大阪府教育委員会のパネル展も同時開催 ・平和と人権展＆識字展(人権文化部と共催)(来場者数432人)									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	11	1

所属	青少年スポーツ室
----	----------

実施計画事業名					「早寝・早起き・朝ごはん」運動の推進					平成29年度 目標達成度	A
事業概要					「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進するため、「東大阪市家庭教育支援に係る検討会議」を設置、家庭教育力向上のための施策を検討し、学力向上に結び付けていく。また、生活習慣や生活リズムの大切さについての啓発を行う。						
指標①		毎日朝食を食べている児童・生徒の割合 (全国学力・学習状況調査の結果) 小学校6年生				指標②		毎日朝食を食べている児童・生徒の割合 (全国学力・学習状況調査の結果) 中学校3年生			
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度		
目標①	85%	90%	95%	A	目標②	80%	85%	90%	A		
実績①	92%	—	—		実績②	86%	—	—			
事業実績 (平成29年度)		・「ダンスフェスタ」等、イベントのパンフレットや冊子などに「早寝・早起き・朝ごはん」運動の文言を記載。 ・市内医療機関の小児科などに、東大阪版チラシ(白黒)を配布。 ・「家庭教育手帳」に併せて呼びかけ。 ・地域教育協議会など、各地域のイベントでの呼びかけ。									
改善すべき点		・低予算の中、「早寝早起き朝ごはん」運動をどのように展開し、浸透を図るか ・「家庭教育手帳」をより活用してもらい、結果として「早寝・早起き・朝ごはん」運動がより定着するなどの工夫の必要性									
平成30年度に向けた改善策		・効果的な配布物の作成と、その配布方法の確立。									

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	12	1

所属	青少年スポーツ室
----	----------

実施計画事業名		東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地誘致事業				平成29年度 目標達成度		D	
事業概要		東京2020オリンピック・パラリンピックの事前キャンプを東大阪 市に誘致するよう関係機関への働きかけを行う。							
指標①		大阪府との協議回数				指標②			
指標の 説明・計算式						指標の 説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	2回	2回	2回	D	目標②				
実績①	0回	－	－		実績②				
事業実績 (平成29年度)		・東京2020オリンピック・パラリンピック(東京オリ・パラ)では、事前キャンプ地(練習会場)として、東大阪市花 園ラグビー場(ラグビーフットボール)、東大阪市立総合体育館・東大阪市立東体育館(水泳(競泳)・バレー ボール・バスケットボール・バドミントン)、花園中央公園多目的球技広場(陸上競技、サッカー)を申請してい る。そのうち、IF基準を満たしている東大阪市花園ラグビー場、花園中央公園多目的球技広場について事前 キャンプ地の紹介ガイドへの掲載準備を行っている。							
改善すべき点		・事業を推進するにあたり、宿泊施設、医療施設、各種スポーツ施設等と多部局にまたがる横断的な事業である ことから、関係部局と協議しながら進めていく必要がある。							
平成30年度に向 けた改善策		・公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会による事前トレーニング(キャンプ)候補 地ガイドに掲載するだけでなく、事前キャンプ誘致に向けたPRを行っていく。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	6	4

所属	文化財課
----	------

実施計画事業名		公共施設再編整備事業(文化関係複合施設再整備)								
事業概要		「東大阪市公共施設再編整備計画」に基づき東部地域仮設庁舎をリニューアルし、四条図書館・郷土博物館・埋蔵文化財センター・市史史料室を文化複合施設として整備する。				平成29年度 目標達成度		B		
指標①		整備の進捗状況			指標②					
指標の 説明・計算式					指標の 説明・計算式					
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	基本計画策定	事業手法検討	事業手法 検討提案 募集	B	目標②					
実績①	策定実施	－	－		実績②					
事業実績 (平成29年度)		・文化複合施設整備基本計画を策定するための同支援業務を担当する業者を選定し、基本計画の策定を進めた								
改善すべき点		・複数の施設を集約化するため、管理運営方法について十分な検討・調整が必要								
平成30年度に向けた改善策		・効率的な管理運営方法を検討し、整備事業を進める								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	7	2

所属	文化財課
----	------

実施計画事業名		河内寺廃寺跡史跡公園整備事業						平成29年度 目標達成度		A
事業概要		河内町に位置する飛鳥時代創建の古代寺院跡で、国史跡の指定を受けた「河内寺廃寺跡」を史跡公園として整備する。								
指標①		追加指定地の整備進捗状況				指標②				
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	初年度発掘調査完了	第2次発掘調査完了	実施設計完了	A	目標②					
実績①	初年度発掘調査完了	—	—		実績②					
事業実績 (平成29年度)		・平成28年追加指定地の整備に向けた発掘調査を行った。								
改善すべき点		・調査範囲では、古代寺院に伴う建物跡は検出されなかった。								
平成30年度に向けた改善策		・整備を見据えた発掘調査成果を得られるよう、河内寺廃寺跡整備委員会委員(外部有識者委員会)の指導を仰ぎ、調査区の設定を行う。								

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	7	2

所属	文化財課
----	------

実施計画事業名				鴻池新田会所整備事業				平成29年度 目標達成度				A			
事業概要				改修の必要がある国史跡・重要文化財鴻池新田会所について、専門家による現状の調査を行い、その結果に基づいて中長期の展望に立った史跡等保存管理計画を策定する。											
指標①		史跡等保存管理計画策定						指標②							
指標の説明・計算式								指標の説明・計算式							
	H29	H30		H31		H29達成度			H29	H30		H31		H29達成度	
目標①	調査	調査		策定		A		目標②							
実績①	調査実施	－		－				実績②							
事業実績 (平成29年度)		・平成29年度に国重要文化財建造物5棟及び国史跡内建造物10棟について、公益財団法人文化財建造物保存技術協会に委託の上、現況調査を実施した。													
改善すべき点		・史跡等保存管理計画等の策定が必要である。													
平成30年度に向けた改善策		・大阪府に対して、平成29年度に実施した現況調査の結果について報告した上で、平成31年度に予定している史跡等保存管理計画等の策定事業(国庫補助対象事業)に向けて、文化庁協議を開始し継続実施する。													

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	7	2

所属	文化財課
----	------

実施計画事業名		指定文化財保存事業				平成29年度 目標達成度		A	
事業概要		指定文化財所有者・管理者が行う修理に対し、補助金を交付することで文化財保存の取り組みを奨励し、文化財保護意識を高める。また、有形文化財等の調査を進める。							
指標①		充足率(補助件数/申請件数×100)				指標②			
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	100%	100%	100%	A	目標②				
実績①	100%	—	—		実績②				
事業実績 (平成29年度)		・吉原 石造地藏菩薩立像 保存施設(覆屋)建替え。 ・長栄寺所蔵の慈雲尊者関連の文物調査。							
改善すべき点		・文化財所有者及び管理者の指定文化財の要望を聞き、計画的に指定文化財の修理等を行いたい。							
平成30年度に向けた改善策		・老朽化した枚岡神社本殿の調査及び修理を行なう							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	7	3

所属	文化財課
----	------

実施計画事業名		文化財啓発事業				平成29年度 目標達成度		D	
事業概要		本市の歴史と文化財について理解と関心を高めるため、文化財啓発冊子を刊行するとともに、資料展示会を開催する。また、市内の文化財について調査を行い、新たな文化財の魅力を発信する。							
指標①		資料展示会の入場者数				指標②		文化財調査、パンフレット作成	
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式			
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度
目標①	800人	-	-	D	目標②	-	調査実施、パンフレット作成	調査実施、パンフレット作成	
実績①	316人	-	-		実績②	-	-	-	
事業実績 (平成29年度)		・市制施行50周年にちなんだ展示会を本庁舎1回の多目的ホールで行った。 ・近畿大学と共同で東大阪市の古社寺を紹介するパンフレットを制作した。							
改善すべき点		・展示会の内容を検討するための調査が必要である。							
平成30年度に向けた改善策		・展示会開催に向けた資料調査を実施する。							

平成29年度 事業管理報告書

第4次実施計画体系		
部	節	取り組みのあらまし
2	9	3

所属	社会教育センター
----	----------

実施計画事業名		東大阪市連携6大学公開講座						平成29年度 目標達成度		C
事業概要		大学の英知を結集して、旬のテーマで講座を開催し、市民が生涯を通じて自主的に学習に取り組む機会を提供する。								
指標①		公開講座延べ受講者数				指標②				
指標の説明・計算式						指標の説明・計算式				
	H29	H30	H31	H29達成度		H29	H30	H31	H29達成度	
目標①	1,100人	1,100人	1,100人	C	目標②					
実績①	844人	-	-		実績②					
事業実績 (平成29年度)		開催期間：平成30年2月3日～10日（計6日間・6講座） ①大阪樟蔭女子大学【健康食品に求められるリスク・コミュニケーションとは？】（講師体調不良により実施せず） ②大阪経済法科大学【歴史から見た東アジアと日本】 ③大阪産業大学【動脈硬化の予防について】 ④近畿大学【食生活からの健康へのアプローチ】 ⑤東大阪大学【古代の日本語と東アジアの漢字文化】 ⑥大阪商業大学【人生後半の生き方を見つめ直す ワークショップで探る「私」の目標―】								
改善すべき点		・ここ数年来、受講者数が減少しており、受講者数を増やすためには、引き続き、各大学と連携を図り、大学サイドにとってのメリットも考慮しつつ、よりいっそう魅力あるプログラムづくりに努める必要があります。 また、例年各大学担当者と協議・調整し、共通テーマを決定したうえで、各大学の講師及び講演テーマを決定しているところですが、各大学の併せ持つ学風や所管する学部学科の相違、候補に挙げた講師のスケジュール日程が合わない等の関係もあり、共通テーマの設定については制限されてしまう傾向にあります。平成30年度事業実施に向けて、共通テーマの設定、開催時間帯等について、各大学担当者と論点を絞り、協議・決定する必要があります。								
平成30年度に向けた改善策		・平成30年度事業実施へ向け、年度早々に、6大学の担当者の方々と社会教育センター担当職員間で会議の場を設け、開催曜日・時間帯等、共通テーマの設定等について、「平成29年度 受講者アンケート集約結果」等も含め、様々な角度から協議・議論をし、総合的に勘案し、決定していきたいと考えています。 また、より多くの市民の方々に参加いただけるよう、広告周知をよりいっそう徹底させていきたいと考えています。								